

(仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B)

(令和7・8年度)

図面目録

| 図面番号 | 図面名称 | 縮尺(A-1) | 縮尺(A-3) | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺(A-1) | 縮尺(A-3) | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺(A-1) | 縮尺(A-3) |
|------|------------------|----------|----------|------|---------------------|----------|----------|------|--------------------|----------|----------|
| A-01 | 表紙・図面目録 | No SCALE | No SCALE | A-24 | 展開図4 1階(脱衣室、玄関・ホール) | 1/30 | 1/60 | S-01 | 構造設計特記仕様書 | No SCALE | No SCALE |
| A-02 | 建築工事特記仕様書(その1) | No SCALE | No SCALE | A-25 | 展開図5 2階(LDK) | 1/30 | 1/60 | S-02 | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) | No SCALE | No SCALE |
| A-03 | 建築工事特記仕様書(その2) | No SCALE | No SCALE | A-26 | 展開図6 2階(洋室1、洋室2) | 1/30 | 1/60 | S-03 | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) | No SCALE | No SCALE |
| A-04 | 建築工事特記仕様書(その3) | No SCALE | No SCALE | A-27 | 展開図7 2階(洋室3、WC) | 1/30 | 1/60 | S-04 | 鉄筋コンクリート壁式構造 配筋標準図 | No SCALE | No SCALE |
| A-05 | 建築工事特記仕様書(その4) | No SCALE | No SCALE | A-28 | 展開図8 2階(脱衣室、玄関・ホール) | 1/30 | 1/60 | S-05 | ポーリング位置図・柱状図 | No SCALE | No SCALE |
| A-06 | 配置図・案内図 | 1/100 | 1/200 | A-29 | 1・2階建具キープラン | 1/50 | 1/100 | S-06 | 梁伏図 | 1/100 | 1/200 |
| A-07 | 求積図① | 1/100 | 1/200 | A-30 | 金属製建具表、木製建具表 | 1/50 | 1/100 | S-07 | 軸組図 | 1/100 | 1/200 |
| A-08 | 求積図② | 1/50 | 1/100 | A-31 | 各階天井伏図 | 1/50 | 1/100 | S-08 | 部材リスト | 1/30 | 1/60 |
| A-09 | 仕上表 | No SCALE | No SCALE | A-32 | 雑詳細図1 | 図示 | 図示 | S-09 | 構造スリット要領図 | No SCALE | No SCALE |
| A-10 | 1階平面図 | 1/50 | 1/100 | A-33 | 雑詳細図2 | 図示 | 図示 | | | | |
| A-11 | 2階平面図 | 1/50 | 1/100 | A-34 | 法規チェック図 1階 | 1/50 | 1/100 | C-01 | 土地利用計画平面図 | 1/125 | 1/250 |
| A-12 | R階平面図 | 1/50 | 1/100 | A-35 | 外構図 | 1/100 | 1/200 | C-02 | 造成計画平面図 | 1/100 | 1/200 |
| A-13 | 立面図 | 1/50 | 1/100 | A-36 | 仮設計画図 | 1/150 | 1/300 | C-03 | 計画縦断面図 | 1/100 | 1/200 |
| A-14 | A断面詳細図・B断面詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-37 | ユニットバス参考図1 | 1/10 | 1/20 | C-04 | 計画横断面図その1 | 1/100 | 1/200 |
| A-15 | C断面詳細図・D断面詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-38 | ユニットバス参考図2 | 1/10 | 1/20 | C-05 | 計画横断面図その2 | 1/100 | 1/200 |
| A-16 | E断面詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-39 | ユニットバス参考図3 | 1/20・1/2 | 1/40・1/4 | C-06 | 舗装工詳細図 | 1/25 | 1/50 |
| A-17 | 1階平面詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-40 | キッチン参考図 | 1/10 | 1/20 | C-07 | 擁壁配置平面図 | 1/100 | 1/200 |
| A-18 | 2階平面詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-41 | 磁気探査平面図 | 1/100 | 1/200 | C-08 | 擁壁展開図 | 1/100 | 1/200 |
| A-19 | R階平面詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-42 | 表層探査平面図 | 1/100 | 1/200 | C-09 | L型擁壁割付図 | 1/100 | 1/200 |
| A-20 | 階段詳細図 | 1/30 | 1/60 | A-43 | 経層探査平面図(1層目) | 1/100 | 1/200 | C-10 | 附帯工詳細図 | 1/25 | 1/50 |
| A-21 | 展開図1 1階(LDK) | 1/30 | 1/60 | A-44 | 経層探査平面図(2層目) | 1/100 | 1/200 | C-11 | 雨水流出量計画図 | 1/125 | 1/250 |
| A-22 | 展開図2 1階(洋室1、洋室2) | 1/30 | 1/60 | A-45 | 経層探査平面図(3層目) | 1/100 | 1/200 | C-12 | 伐開平面図 | 1/125 | 1/250 |
| A-23 | 展開図3 1階(洋室3、WC) | 1/30 | 1/60 | | | | | C-13 | 除根平面図 | 1/125 | 1/250 |

| | | | |
|------|-----------------------|-------|--|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 表紙・図面目録 |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 図面番号 | A-01 |
| 摘要 | | 名称 | 建築設計同人 匠才庵 |
| 検印 | 管理建築士 設計 製図 | 資格者氏名 | 落合 隆文 |
| | | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2094号 一級建築士大倉登録第263241号 |
| | | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 |

| 建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部 | | | |
|--|--------------|----------------|----------------|
| 令和6年7月改定版 | | | |
| 1 工事概要 | | | |
| (1) 工事名：(仮称)粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | | | |
| (2) 工事場所：沖縄県粟国村東527番地(外1)〔地域地区等：未指定地域〕 | | | |
| (3) 敷地面積：747 m ² | | | |
| (4) 工事種目：新築 | | | |
| ア 建築物 | | | |
| 建築物の名称 | 粟国村教員住宅(南棟B) | | |
| 主要用途 | 共同住宅 | | |
| 構造及び階数 | RC造・2階建て | | |
| 工事種別 | 新築 | | |
| 建築面積 | 174.22 | m ² | m ² |
| 延べ面積 | 264.32 | m ² | m ² |
| イ 工作物及び立木 | | | |
| 工作物等の名称 | 擁壁 | | |
| 数量 | 図示 | | |
| 2 本工事の設計時期 | | | |
| 本工事の設計書は、令和 7年 1月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。 | | | |
| 3 建築工事仕様 | | | |
| (1) 標準仕様 | | | |
| 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」〔令和4年版〕(以下「標準仕様書」という。)による。 | | | |
| (2) 特記仕様 | | | |
| ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 | | | |
| イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。 | | | |
| 「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。 | | | |
| 「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。 | | | |
| ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 | | | |
| エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。 | | | |
| 4 その他 | | | |
| (1) 公共事業労務費調査に対する協力 | | | |
| ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 | | | |
| イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 | | | |
| ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。 | | | |
| エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。 | | | |
| (2) 暴力団員等による不当介入の排除対策 | | | |
| 受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。 | | | |
| ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 | | | |
| イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行う | | | |
| ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行う。 | | | |
| (3) ウィークリースタンスの実施 | | | |
| 工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。 https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html | | | |
| (4) 工事監理業務への協力等 | | | |
| ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。 | | | |
| イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。 | | | |

| | |
|---|---|
| (4) 工事監理業務への協力等 | ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。 |
| エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。 | |
| (5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて | 本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。 |
| (6) 県産資材の優先使用 | 本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。 |
| (7) 下請業者の県内企業優先活用 | 請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。 |
| (8) 不発弾等発見時の処理について | 本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。 また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにもそのままの状態で見守ること。 なお、これについては、下請業者へも周知すること。 |
| (9) ダンプトラック等の過積載等の防止について | ア 工事用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。 イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。 ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。 エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。 オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。 カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。 キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。 |
| (10) 不正軽油の使用の禁止等について | ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。 イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。 |
| (11) 設計図書における資材等の取扱いについて | ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。 イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとおり品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等級以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。 ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。 |
| (12) ガイドライン等の遵守について | 設計変更等については、契約書18条から24条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。 |
| (13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について | ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。 また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積書の活用等の方法により適正に見積ることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。 |
| イ | 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf 【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】 ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業>不動産業>各団体が作成した標準見積書 https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const.tk2_000082.html |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|----------|------------------------|---|
| ① 一般共通事項 | ① 適用基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 建築工事監理指針(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会 ○ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) ○ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部 ○ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に關する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部 ○ 構造計画・施工計画・建設設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部 |
| | ② 工事実績情報の登録(1.1.4) | 登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。 |
| | ③ 工事の一時中止に関する事項(1.1.9) | 工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に關すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に關すること及び工事現場の維持・管理に關する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 |
| | 4 工事の余裕期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】 【以下から選択:発注者指定方式/任意着手方式/フレックス方式】 (1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増考慮しない。 (2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式-1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。 (3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。 |
| | 5 概成工期(1.2.1) | 図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。 |
| | ⑥ 品質計画等(1.2.2) | 建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1) 風速:V0= 46m/s(平12建築第1454号第2) (2) 地表面粗度区分: III (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.14.5)(23.5.4) |
| | ⑦ 施工図等(1.2.3) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 施工図等の著作権に關わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 (2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。 (3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。 |
| | ⑧ 工事の記録(1.2.4) | 沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。 |
| | ⑨ 電気保安技術者(1.3.3) | 電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。 |
| | ⑩ 施工条件(1.3.5) | 施工順序等の制約 ○ 無し <ul style="list-style-type: none"> ・ 有り【・現場説明書による・図示・】 工事車両の駐車場所：・ 図示○現場説明書による・ 資材、機材置場：・ 図示○現場説明書による・ 建設発生土の仮置場：・ 図示○現場説明書による・ その他の施工条件：・ 図示○現場説明書による・ |

| ⑪ 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.10) | 12 交通安全管理(1.3.8) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に關する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。 (2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kW) ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの) キ ローラ類 ク ホイールクレーン | | | | | | | | |
|----------------------------------|--------------------|--|--|----------------|------------|--|--------------------|--|----------------|--|
| | 13 発生材の処理等(1.3.11) | <ul style="list-style-type: none"> 国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号) (1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。 | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発生材の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発注者に引き渡すもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場において再利用を図るもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 発生材の種類 | 発注者に引き渡すもの | | 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法 | | 現場において再利用を図るもの | |
| | | 発生材の種類 | | | | | | | | |
| | 発注者に引き渡すもの | | | | | | | | | |
| | 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法 | | | | | | | | | |
| | 現場において再利用を図るもの | | | | | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> (2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。 (3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。 また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。 (4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいぐる材の認定を受けた施設又はゆいぐる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいぐる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。 (5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいた。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 (6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約でできるものとする。 「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に關する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPIに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。 イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知(平成24年3月28日付け土技第1257号))」に基づき、適正に処理すること。 ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。 | | | | | | | | |
| | 工事名称 | (仮称)粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和 7・8 年度 | | | | | | |
| | 工事場所 | 沖縄県粟国村東527番地(外1筆) | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その1) | | | | | | |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | | | | | | | | |
| 摘要 | | 図面番号 | A-02 | | | | | | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 | | | | | | | |
| | | | 設計者 名称(株)建築設計同人匠才庵 資格者 落合 隆文 登録番号 一級建築士登録第363341号 所在地 沖縄市山内3-23-15 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------------|---|-------------|--|------------------------|---|----------|--|-------------|---|--------------|--------------------|---------------------------------|----------------|------------|-----------|------------------------|------------------------------|--|--|---|---|---|-------------------------------|-------------------------------|--|---|--|--|---|--|---|--|---|
| ① 一般共通事項へ続き | ⑭ 主任技術者・監理技術者 | (1) 工事請負代金額が4,000万円以上(建築一式工事の場合8,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア 現場施工に着手するまでの期間 【現場施工に着手する日が確定している場合】 請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。 【現場施工に着手する日が確定していない場合】 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所設置、資機材の搬入又は仮設工事等)が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 (2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日以前に3か月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。 ・ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ○ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。 ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。 (2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。 | ⑮ 主任技術者等の資格 | (1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。 ・ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ○ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。 ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。 (2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。 | ⑯ 主任技術者の兼務(特例監理技術者の配置) | ※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。 ・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認めない。 | ⑰ 工事の保険等 | (1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。 【・火災保険 ・建設工事保険 ・組立保険 ・請負業者賠償責任保険】 (2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。 (3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア 掛金収納書を契約後原則1ヶ月以内(電子申請方式による場合にあっては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。 イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。 エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。 | ⑱ ゆいぐる材について | (1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいぐる材に限り、原則「ゆいぐる材」とする。それ以外を原材料とするゆいぐる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいぐる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいぐる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいぐる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。 (2) ゆいぐる材の品質管理 ア ゆいぐる材の品質管理にあつては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて行うこと。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいぐる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。 エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。 | ⑲ 技能士(1.5.2) | ⑳ 化学物質の濃度測定(1.5.9) | ㉑ 完成時の提出図書(1.7.1)(1.7.2)(1.7.3) | ㉒ 設計図CADデータの貸与 | ㉓ 情報共有システム | ㉔ 墜落制止用器具 | 25 「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事 | 26 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用について | ① 工事用水 ② 工事用電力 ③ 環境対策について ④ 足場その他(2.2.4) 5 監督員事務所(2.3.1) | ① 工事用水 ② 工事用電力 ③ 環境対策について ④ 足場その他(2.2.4) 5 監督員事務所(2.3.1) | ① 埋戻し及び盛土(3.2.3)(表3.2.1) ② 建設発生土の処理(3.2.5) | ① 埋戻し及び盛土の種類: 【・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所()】 建設発生土の処分は次による。 ※ 構外搬出適切処理 搬出先名称() 搬出先所在地() 運搬距離(2.7 km) 搬出先基準(条件)() ・ 構内堆積 ○ 構内敷きならし | ① 埋戻し及び盛土の種類: 【・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所()】 建設発生土の処分は次による。 ※ 構外搬出適切処理 搬出先名称() 搬出先所在地() 運搬距離(2.7 km) 搬出先基準(条件)() ・ 構内堆積 ○ 構内敷きならし | ① 載荷試験(4.2.3)(4.2.4) 2 杭地業 | ① 載荷試験(4.2.3)(4.2.4) 2 杭地業 | ① 杭地業の種類と工法(4.3.1)(4.4.4)(4.5.1) 杭地業の種類 工法 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ セメントミルク工法 ・ 特定埋設杭工法 ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ フレボールリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ()工法 ・ 鋼杭地業 ・ アースドリル工法 ・ 場所打ちコンクリート杭地業 ・ ()工法 (2) 杭の寸法等(4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4) 試験杭 杭径 杭長(m) 種類 継手数 先端部の形状 備考 位置は図示による 本杭 (3) 杭の品質等(4.3.4)~(4.3.8)(4.4.4)~(4.4.6) 設計支持力 推定支持力 水平方向の 継手工法 杭頭部の処理 算定方法 ずれ精度 (4) 支持層(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) 支持層の位置 支持層の種類 支持層への掘削深さ 支持層への根入れ深さ (5) 場所打ちコンクリートにおける材料等(4.5.4) ア 鉄筋 帯筋 鉄筋の最小かぶり厚さ 備考 【・(参-2.2)・図示】 イ セメントの種類 【・普通ポルトランドセメント・図示】 ウ コンクリート 設計基準強度 種別 備考 | ① 杭地業の種類と工法(4.3.1)(4.4.4)(4.5.1) 杭地業の種類 工法 ・ セメントミルク工法 ・ 特定埋設杭工法 ・ フレボールリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ()工法 ・ アースドリル工法 ・ ()工法 (2) 杭の寸法等(4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4) 試験杭 杭径 杭長(m) 種類 継手数 先端部の形状 備考 位置は図示による 本杭 (3) 杭の品質等(4.3.4)~(4.3.8)(4.4.4)~(4.4.6) 設計支持力 推定支持力 水平方向の 継手工法 杭頭部の処理 算定方法 ずれ精度 (4) 支持層(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) 支持層の位置 支持層の種類 支持層への掘削深さ 支持層への根入れ深さ (5) 場所打ちコンクリートにおける材料等(4.5.4) ア 鉄筋 帯筋 鉄筋の最小かぶり厚さ 備考 【・(参-2.2)・図示】 イ セメントの種類 【・普通ポルトランドセメント・図示】 ウ コンクリート 設計基準強度 種別 備考 | 5 鉄筋工事 1 鉄筋(5.2.1) 2 溶接金網(5.2.2) 3 継手及び定着(5.3.4) 4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5) 5 各部配筋(5.3.7) 6 機械式継手 | 5 鉄筋工事 1 鉄筋(5.2.1) 2 溶接金網(5.2.2) 3 継手及び定着(5.3.4) 4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5) 5 各部配筋(5.3.7) 6 機械式継手 | 6 コンクリート工事 1 コンクリートの強度 2 コンクリートの材料 3 コンクリートの強度試験 4 コンクリート打放し仕上げ(6.2.5)(6.8.1) 5 コンクリートの品質管理 6 打継ぎ(6.6.4) 7 型枠(6.8.1)(6.8.2) 8 軽量コンクリート(6.10.1)(6.10.2) 9 暑中コンクリート 10 品質確保 | 1 鉄筋(5.2.1) 2 溶接金網(5.2.2) 3 継手及び定着(5.3.4) 4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5) 5 各部配筋(5.3.7) 6 機械式継手 | 6 コンクリート工事 1 コンクリートの強度 2 コンクリートの材料 3 コンクリートの強度試験 4 コンクリート打放し仕上げ(6.2.5)(6.8.1) 5 コンクリートの品質管理 6 打継ぎ(6.6.4) 7 型枠(6.8.1)(6.8.2) 8 軽量コンクリート(6.10.1)(6.10.2) 9 暑中コンクリート 10 品質確保 | 種類の記号 呼び名(mm) 備考 網目の形状 寸法 鉄線の径 備考 (1) 継手の種類等 施工部位 継手の種類 備考(重ね継手の長さ等) (2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。 (3) 鉄筋の定着長さ(※図示による。) (1) 軽量コンクリートの場合の最小かぶり厚さ: (2) 塩害を受けるおそれのある部分等の位置及び最小かぶり厚さ: (3) 機械式継手及び溶接継手の場合のあきの寸法: 施工箇所 配筋の方法 その他特記すべき事項 【・(参-)による。○ 図示】 【・(参-)による。○ 図示】 機械式継手の種類: ・ 図示 気乾単位容積質量による種 類別等 設計基準強度(Fc) 施工部位 ○普通コンクリート ※Ⅰ類 ・ 軽量コンクリート ・Ⅱ類 ○普通コンクリート ※Ⅰ類 ・ 軽量コンクリート ・Ⅱ類 ○普通コンクリート ※Ⅰ類 ・ 軽量コンクリート ・Ⅱ類 (6.2.1)(6.2.2)(6.2.3)(6.10.1)(6.13.1)(6.14.1)(6.15.1) セメントの種類 【※普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種・フライアッシュセメントB種の適用箇所: 【・ 図示】 (3) 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A ・ B(6.3.1) 材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。 仕上りの種別 打増し厚さ 施工部位 備考 工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。 打継ぎ目地の寸法は、図示による。 (1) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 【○20mm ・ ()mm】 (2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。 (3) MCR工法の適用: ・有り【使用箇所: ・ 図示】 施工部位 種類 気乾単位容積質量 ・ 1種 ・ 2種 水又は土に接する軽量コンクリートの使用 ・有り【使用箇所: ・ 図示】 暑中コンクリートの適用は【八重瀬町】の年平均気温の平年値が25°Cを超える【5月 日】から【10月 日】までとする。 (注) 適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の平年値を確認し、【 】を記載すること。 レディミキストコンクリートの品質確保については、「レディミキストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建設第95号)及び「レディミキストコンクリートの品質確保について」の運用について(平成15年11月10日付け国営技第71号)を適用する。 | 工事名称 (仮称)栗国村教員住宅新築工事(南棟B) 工事年度 令和 7・8 年度 工事場所 沖縄県栗国村東527番地(外1筆) 図面名称 建築工事特記仕様書(その2) 発注機関 栗国村教育委員会 縮 尺 摘 要 図面番号 A-03 検 印 管理建築士 設 計 製 図 名 称 (株)建築設計同人 匠才庵 資 格 者 落 合 隆 文 登 録 番 号 一級建築士登録第363341号 所 在 地 沖縄県山内3-23-15 |
|-------------|---------------|---|-------------|--|------------------------|---|----------|--|-------------|---|--------------|--------------------|---------------------------------|----------------|------------|-----------|------------------------|------------------------------|--|--|---|---|---|-------------------------------|-------------------------------|--|---|--|--|---|--|---|--|---|

| | | |
|----------------------------|---|--|
| 鉄骨工事 | 1 鋼材(7.2.1) (表7.2.1) | 記号の種類 適用箇所 備考 形状及び寸法は、図示による。 |
| | 2 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2) (7.4.2)(7.4.7) | 種類 径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考 すべり係数試験：【・実施する ・実施しない】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理：【・図示 ・ |
| | 3 普通ボルト (7.2.3)(7.3.2) | 径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考 |
| | 4 アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) | ・ 構造用アンカーボルト 種類 縁端距離 間隔 ゲージ 形状及び寸法 保持及び埋込み工法 |
| | | ・ 建方用アンカーボルト 種類 縁端距離 間隔 ゲージ 形状及び寸法 保持及び埋込み工法 |
| | 5 デッキプレート (7.2.7)(7.7.8) | 施工部位 材質 形状 寸法 備考 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法：【・図示 ・ |
| | 6 スタッド (7.2.8) | 施工部位 材質 形状 寸法 備考 |
| | 7 柱底均しモルタル(7.2.9) | 材料 厚さ 種別 備考 |
| | 8 材料試験等 (7.2.10) | 引張りを受ける材料の試験等：・実施する【図示()】 |
| | 9 仮組(7.3.10) | 仮組の実施：【・実施する ・実施しない】 |
| | 10 溶接 (7.6.3)(7.6.4) (7.6.7)(7.6.12) | 開先の形状 エンドタブの有・無及び適用箇所 スカップの形状 溶接部の試験 |
| | 11 塗料の種類 (7.8.4) (表18.3.1) | 錆止め塗料の種類：【・A種 ・B種】 |
| | 12 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2)(7.9.3) | 種類 所要性能及び摘要箇所 |
| 13 その他(7.11.2) (7.12.5) | (1) 軽量形鋼構造におけるボルトの接合方法： (2) 溶融垂鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理： 【・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法： | |

| | |
|-----------------------------|--|
| 5 外壁パネル工法 (8.4.3)(8.5.3) | (1) 地震に対する安全性 設計用震度(K _H) 設計用震度 帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能 設計用水平震度(K _H) ※1.0 設計用鉛直震度(K _V) ※0.5 設計用鉛直震度(設計用鉛直震度)の性能 設計用鉛直震度(設計用鉛直震度)の性能 |
| | (2) 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能 ・1/100 ・1/200 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと |

| | |
|---|--|
| 9 防水工事 | ① 防水の種類 (9.2.2)(9.3.2)(9.4.2)(9.5.2)(9.6.1) 防水の種類 厚さ 施工箇所 ウレタン塗膜防水 X-2 3mm 屋根 |
| | (2) 防水層の種類 (9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)(9.6.3) 防水層の種類 工法 備考 - - - (表9.2.3)-(表9.2.9)(表9.3.1)-(表9.3.3) (表9.4.1)-(表9.4.3)(表9.5.1)(表9.5.2)(表9.6.2) |
| | (3) その他の材料等 ・ 押え金物 (材質) (寸法) ・ 絶縁用シート (材料) ・ 断熱材 (材質) (厚さ) ・ 立上り部保護 (材料) (工法等) ・ 脱気装置 (種類) (設置数) ・ 仕上げ塗料 (種類 アクリルウレタン樹脂エマル系) (使用量0.2kg/m ²) |
| ② シーリング (9.7.2)(9.7.3) (9.7.5) (16.14.5) (17.3.2) | (4) 施工 ・ 下地の処理方法等 () |
| | シーリング材の種類 施工箇所 試験等 MS-2 建具廻り ※簡易接着性試験 PU-2 打継目地 構造スリット ※簡易接着性試験 |
| ③ 保証 | (1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 (2) 保証期間は、工事完成後【 】年間とする。ただし、アスファルト防水は【 】年間とする。 |

| | | |
|--|---|--|
| 10 石工事 | ① 石材(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2) | (1) 天然石 施工箇所 種類 表面仕上げの種類 各住戸 玄関框 御影石 本磨き・糸面 |
| | (2) テラゾ 施工箇所 種石の種類、大きさ 形状及び寸法 表面仕上げの種類 | |
| | 2 壁の石張り工法 (10.3.2)(10.4.2) (10.5.2) | (1) 工法、加工等 工法 厚さ 石裏面処理 裏打ち処理 備考 |
| | (10.2.2) (10.2.3) | (2) 乾式工法の方式：【・スライド方式 ・ロッキング方式】 (3) あと施工アンカーの材質及び寸法： (4) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質： 厚さ 石裏面処理 目地幅 備考 |
| 3 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3) | 施工箇所 工法 石材の厚さ 石裏面処理 裏打ち処理 備考 | |
| 4 特殊部位の石張り(10.7.1) (10.7.2)(10.7.3) | 施工箇所 工法 石材の厚さ 石裏面処理 裏打ち処理 備考 | |

| | | |
|----------|--|---|
| 11 タイル工事 | ① タイル (11.2.2)(11.3.2) | (1) タイルの種類 施工箇所 形状・寸法 うわぐすり 吸水率 役物 色 耐滑り性 玄関床 150角 施釉 (2) タイルの試験張り：【・行う ・行わない】 (3) タイルの見本焼き：【・行う ・行わない】 |
| | 2 あと張り工法 (11.2.6)(11.3.7) (表11.2.3) (表11.3.2) | 壁タイル張りの工法等 タイルの種類 大きさ 工法 張付け材料の種類、塗厚等 モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理： 【・MCR工法 ・目荒らし工法】 |

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| 12 木工事 | ① 木材 (12.2.1) (表12.2.1) | (1) 木材(下地材)の含水率：※A種 ・B種 木材(造作材)の含水率：※A種 ・B種 |
| | (表12.2.2) | (2) 製材 ・ 「製材の日本農林規格」による ・ 「製材の日本農林規格」以外による ・ 下地用針葉樹製材 ・ 造作用針葉樹製材 ・ 広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 等級又は品質 含水率 防虫処理 図示 (3) 造作用集成材 【・「集成材の日本農林規格」による ・ 「集成材の日本農林規格」以外による】 【・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・ 化粧ばり構造用集成材 ・ |
| ② 土壌の防蟻処理 | (3) 造作用単板積層材 【・「単板積層材の日本農林規格」による ・ 「単板積層材の日本農林規格」以外による】 施工箇所 厚さ 表面の品質 含水率 防虫処理 (4) 合板等【・普通合板 ・構造用合板】 施工箇所 樹種 厚さ品質、等級等 接着の程度 防虫・強度等 図示 (5) パーティクルボード 施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤 難燃性 (6) 構造用パネル 施工箇所 厚さ 等級 | |
| | (1) 施工箇所：「防除施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行) I 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。 (2) 処理薬剤：(公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。 (3) 処理方法：「防除施工標準仕様書」 I 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。 | |
| ③ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2) | 木材処理(防蟻・防虫) (1) 施工箇所：合板、集成材等を除く全ての木材 (2) 処理方法：工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 (3) 性能区分：性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1+保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。 | |
| | (1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。 | |
| ④ 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証 | (1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。 | |

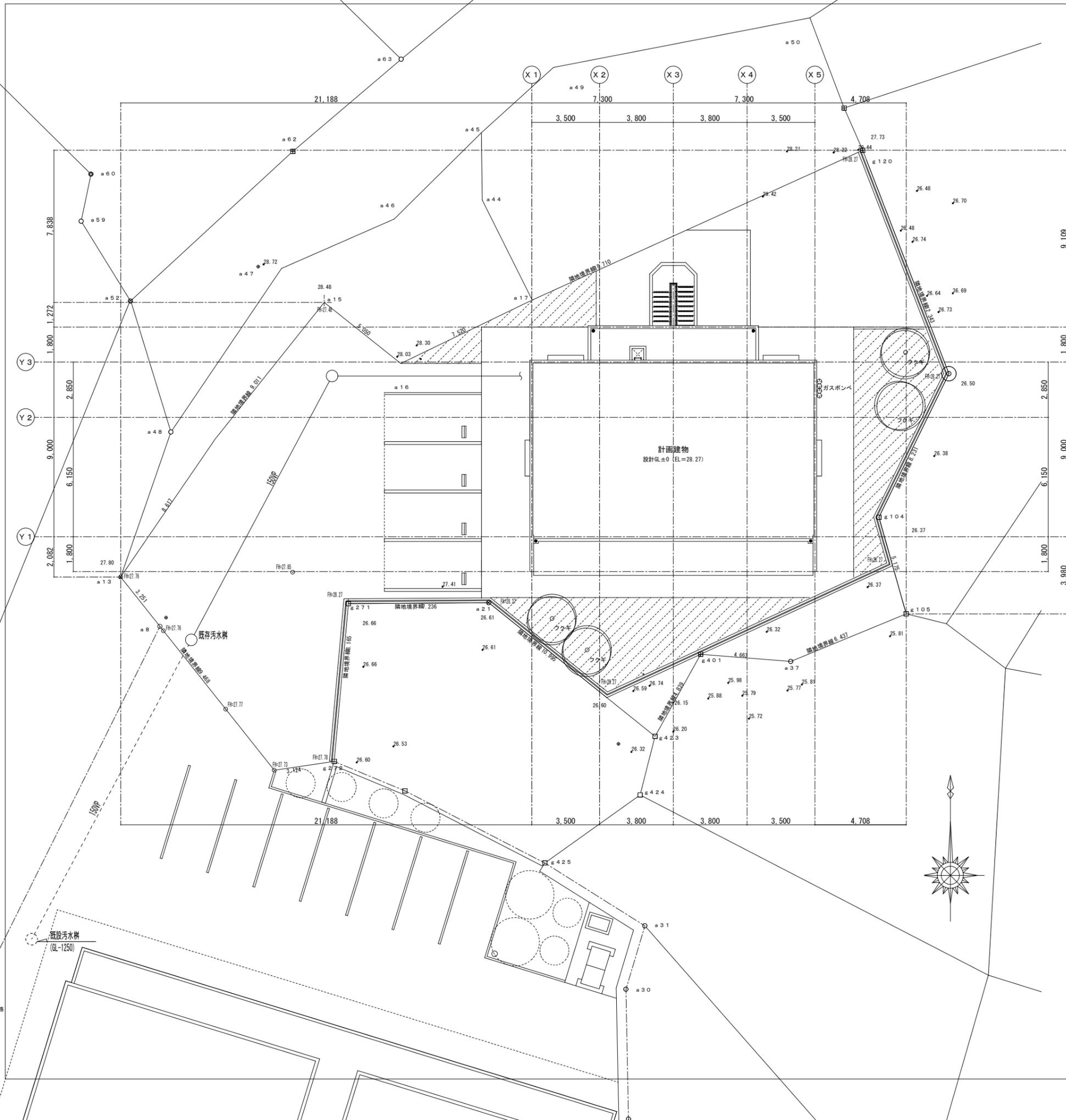
| | | |
|---------------------------|--|--|
| 13 屋根及びとい工事 | 1 長尺金属板葺 (13.2.2) | 施工箇所 屋根葺形式 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号 厚さ等 下葺材料：【・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング】 |
| | 2 折板 (13.3.2) | 施工箇所 形式の区分 山高・山ピッチ 耐力による区分 材料による区分 厚さ (1) 軒先面戸板の適用：【・有り ・なし】 (2) 断熱材張り【・実施する ・実施しない】 |
| ③ 県産瓦葺 | (1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。 (2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 【・1名以上配置 ・ 施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置】 | |
| | (1)瓦の緊結方法：(瓦棧 ステンレスビス) | |
| ④ 瓦 (13.4.3) | 材種 規格名称 材質 備考 硬質塩ビ管 φ75 VP | |
| ⑤ とい(13.5.2) (表13.5.1) | | |

| | | |
|--|--|--|
| 14 金属工事 | ① あと施工アンカー(14.1.3) | あと施工アンカーの引抜試験：【・実施する ・実施しない】 |
| | ② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(14.7.2)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.1) | 表面処理の種類をB-1種又はB-2種としたときの複合皮膜の種類：【・A1 ・A2】(JIS H 8602) |
| ④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.3)(14.4.4) | 施工箇所 種別 表面処理方法 (14.2.3)(表14.2.2) | 屋外の軽量鉄骨天井下地 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁の間隔 備考 ・補強方法等(図示による) |
| | 5 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3) | (1) 金属成形板の種類及び表面処理： (2) 長尺の場合における伸縮調整継手： |
| 6 アルミニウム製笠木(14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1) | (1) 構成部材による種類： (2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種類及び複合皮膜の種類は次による。 種別：【・A-1 ・B-1】 種別をB-1とした場合の複合皮膜の種類： 【・A1 ・A2】(JIS H 8602) (3) 固定金具の間隔及び固定方法： | |

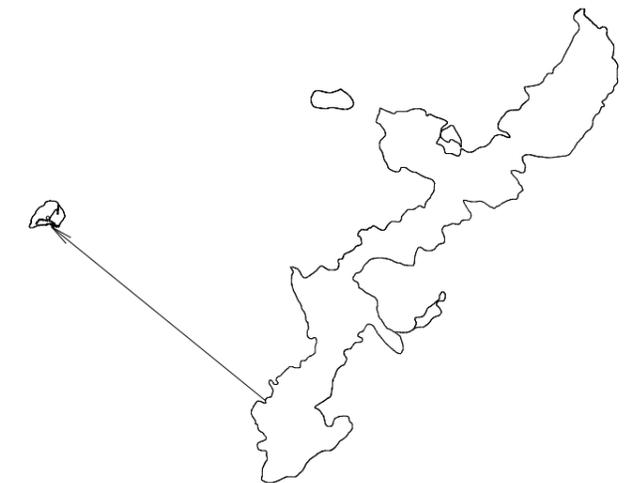
| | | |
|------------------------------|---|---|
| 15 左官工事 | 1 ラス系下地 (15.2.4) | (1) 種類：・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合() (2) 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある場合の下地の仕様() |
| | 2 せつこうボード その他のボード下地(15.2.5) | 材料 種類 厚さ |
| ③ モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5) | (1) モルタル：・現場調合材料 ・既調合材料() (2) 既製目地材の適用及び形状： (3) 床の目地の設置及び工法： (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験： 【・実施する ・実施しない】 | |

| | | | |
|------|----------------------|------|-----------------|
| 工事名称 | (仮称)栗国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和 7・8 年度 |
| 工事場所 | 沖縄県栗国村東527番地(外1筆) | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その3) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | |
| 摘要 | | 図面番号 | A-04 |
| 検印 | 管理建築士 設計 製図 | 名称 | (株)建築設計同人 匠才庵 |
| | | 資格者 | 落合 隆文 |
| | | 登録番号 | 一級建築士登録第363341号 |
| | | 所在地 | 沖縄市山内3-23-15 |

| | | | | | | | | |
|-------------------|---|---|---|--|---|--|--|---|
| 15 左官工事 へ続き | 4 仕上塗材仕上げ(15.6.2) (表15.6.1) | 種類 呼び名 仕上げの形状・工法等 図示による | 10 鍵(16.8.4) | (1) マスターキー: (○)製作する ・ 製作しない (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。 | 5 フローリングボードの特殊張り | 体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。 | 2 側塊、排水枡等(21.2.1) | (3) グレーチング 材質 用途 適用荷重 メインバーピッチ 備考 |
| | 5 マスチック塗料塗り(表15.7.2) | 工程 種別 塗料その他 | 11 自動ドア開閉装置(16.9.3) (表16.9.4) | (1) 戸の開閉方法:【 ・ 引戸 ・ 開き戸 ・ 折戸】 (2) センサーの種類: | 6 畳敷き(19.6.2) | (1) 畳の種類【 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種(種別:)】 (2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。 | 3 基床(21.2.2) | (4) 地業の材料:【 】 基床の厚さ及び種類:図示による。 |
| | 6 せっこうプラスター塗り(15.8.2)(15.8.3) | (1) 下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター ・ 既調合プラスター(下塗り用) ・ 現場調合プラスター(下塗り用) (2) 上塗り: ・ 既調合プラスター(上塗り用) ・ しっくい塗り | 12 シャッター(16.11.2)(16.12.2)(16.12.4) | (1) シャッターの種類:【 ・ 重量() ・ 軽量】 (2) 耐風圧強度: (3) 開閉機能:【 ・ 手動式 ・ 電動式】 (4) 重量シャッターの場合のシャッターケース:【 ・ 設ける ・ 設けない】 (5) スラットの形式:【 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形】 | 7 せっこうボード、その他ボード及び合板張り(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.5) | (1) せっこうボード 規格名称 種類の記号 厚さ 施工箇所 目地工法の種類 図示 図示 図示 図示 継目処理工法 | 4 街きよ、緑石及び側溝(21.3.1) | 22 舗装工事 ① 路床(22.2.2)(22.2.3)(22.2.5)(表22.2.1) |
| | 7 しっくい塗り(15.10.2) | (1) しっくい: ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料() | 13 オーバーヘッドドア(16.13.2) | (1) 耐風圧性能の区分: (2) 開閉機能:【※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式】 (3) 収納形式による区分: | 8 壁紙張り(19.8.2) | (2) 合板の種類 合板の名称 施工箇所 その他の仕様 図示 図示 図示 ※図示(Aー)による。 | | (1) 路床の種類等 層の種類 厚さ 盛土の材料 路床安定処理 試験 クラッシャー 150- |
| | 8 ロックウール吹付け(15.12.3) | 仕上げ厚さ: | 14 ガラス(16.14.2)(16.14.4)(16.14.5) | (1) ガラスの種類及び厚さ等 ガラスの種類 厚さ等 備考 図示 図示 図示 | 9 断熱及び防露(19.9.3)(19.9.4) | (3) 合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。 (3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【 ・ 】 品質及び防火性能:【 】 断熱材の種類及び厚さ:【 図示 】 | | (2) 路盤(22.3.2)(22.3.5) |
| 16 建具工事 | 1 防火戸等(16.1.3)(16.1.6) | (1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (2) 防犯建物部品の適用は、図示による。 | 17 カーテンウォール(17.2.2)(17.2.3)(17.2.6)(17.3.2)(17.3.3)(17.3.6) | (1) カーテンウォールの種類:【 ・ メタル ・ PC】 (2) 性能 耐風圧性能 耐震性能 水密性能 気密性能 耐火性能 耐温度性能 遮音性能 断熱性能 | 20 ユニット及びその他工事 | 1 フリーアクセスフロア(20.2.2) | ② 植栽及び屋上緑化工事 1 植栽地の確認(23.1.3)(23.2.2)(23.2.3) | (1) 路盤の厚さ:【 150mm 】 (2) 締固め度試験:【 】 |
| | 2 見本の製作等(16.1.4) | (1) 建具見本の製作:【 ・ 行う ・ 行わない】 (2) 特殊な建具の仮組:【 ・ 実施する ・ 実施しない】 | 18 塗装工事 ① 塗装の種類及び種別(18.1.7)(18.2.2)(18.13.2) | (3) 熱線反射ガラスの映像調整: (4) ガラスブロックの材料及び工法 表面形状呼び寸法 厚さ 壁用金属材料 補強材 色 金属製化粧カバー | 3 移動間仕切(20.2.4) | 2 移動間仕切(20.2.3) | 2 植樹(23.3.2)(23.3.4)(23.3.6) | (1) 植栽地の土壌試験: (2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。 (3) 土壌改良材: (4) 植込み用土: |
| | 3 アルミニウム製建具(16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表14.2.1)(表16.2.1) | (1) 建具の性能等 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み寸法 施工箇所 C種 S-6 A-4 W-5 70mm.100mm 図示 | ② 保証 | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 4 トイレブース(20.2.5) | 4 移動間仕切(20.2.4) | 3 芝張り等(23.4.2) | (1) 植栽地の種類等 樹木の種類 樹高(m) 有効土層の厚さ(cm) 支柱の形 備考 フクギ 0.5m 2脚鳥居 |
| | 4 樹脂製建具(16.3.2)(16.3.3)(16.3.4)(16.3.5)(表16.3.1)(表16.3.2)(表16.3.3)(表16.3.4) | (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・ 防音ドアセット ・ 断熱ドアセット ・ 耐震ドアセット | 19 内装工事 ① ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (3) 材料の種類 金属材料 シーリング材 耐火目地材 断熱材 構造ガasket | 5 手すり(20.2.6) | 5 移動間仕切(20.2.4) | 4 屋上緑化(23.5.2)(23.5.3)(23.5.4) | (2) 新植樹木の枯補償の期間:【※1年 ・ ()年】 (3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年 ・ ()年】 |
| | 5 鋼製建具(16.4.1)(16.4.2) | (3) 外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類 種別: B-1 複合皮膜の種類: (○)A1 ・ A2(JIS H 8602) (4) 結露水の処理方法: (5) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 | ② ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (4) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 6 階段滑り止め(20.2.6) | 6 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | 6 鋼製軽量建具(16.5.2)(16.5.3)(表16.2.1) | (3) 表面色: (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ③ 保証 | (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 7 ブラインド(20.2.14) | 7 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | 7 ステンレス製建具(16.6.2)(16.6.3) | (1) 建具の性能等 施工箇所 気密性 水密性 耐風圧性 備考(材料等) | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 8 ロールスクリーン(20.2.15) | 8 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | 8 木製建具(16.7.2)(16.7.4) | (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・ 簡易気密型ドアセット | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 9 カーテン(20.2.16) | 9 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | 9 建具用金物(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1) | (3) 表面色: (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 10 間知石及びコンクリート間知ブロック積み(20.4.2)(20.4.3) | 10 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 11 くつふきマット | 11 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 12 流し台ユニット | 12 移動間仕切(20.2.4) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 21 排水工事 1 排水管(21.2.1) | 21 排水工事 1 排水管(21.2.1) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | 2 側塊、排水枡等(21.2.1) | 21 排水工事 2 側塊、排水枡等(21.2.1) | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・ 三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】 | ④ ビニル床シート等(19.2.2)(19.2.3) | (5) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 仕様等については、図示による。】 (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け: | | | | (1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 |
| | | (4) 水切り及びびせん | | | | | | |

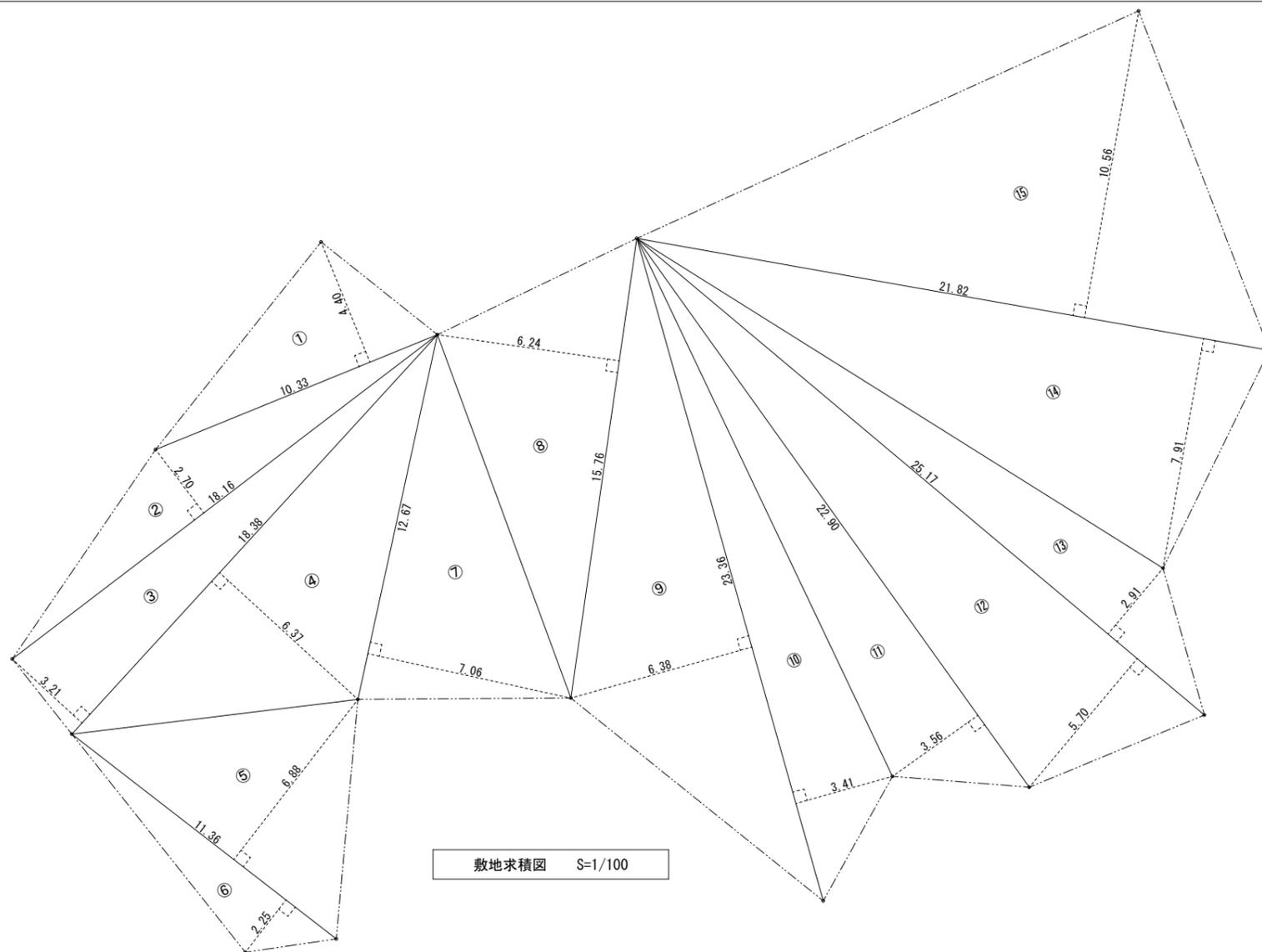


工事場所: 栗国村字東527番地(外1筆)



案内図 NOT TO SCALE

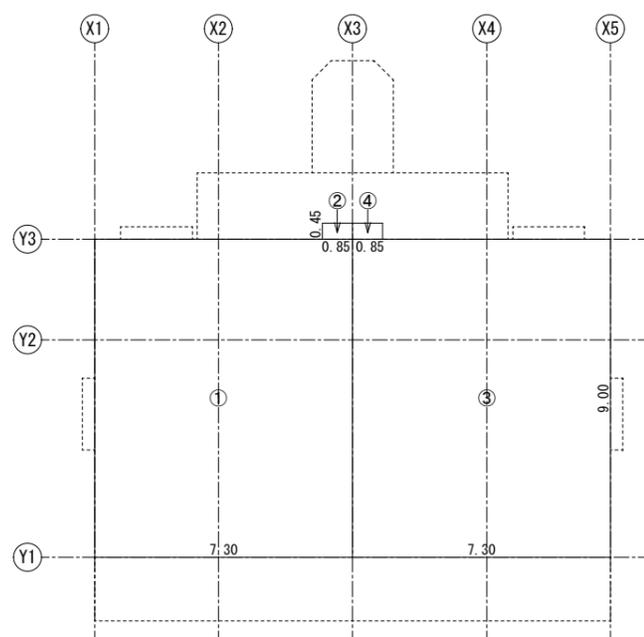
| | | | |
|------|-----------------------|--|-------------------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 縮尺 | 配置図・案内図 1/100 (A1) 1/200 (A3) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 図面番号 | A-06 |
| 摘要 | | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 栗建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉登輝 263241号 | |
| | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | |



敷地求積図 S=1/100

| ■敷地面積求積表 | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 符号 | 計算式 | 倍面積 (㎡) |
| ① | 10.33 × 4.40 | 45.4520 |
| ② | 18.16 × 2.70 | 49.0320 |
| ③ | 18.38 × 3.21 | 58.9998 |
| ④ | 18.38 × 6.37 | 117.0806 |
| ⑤ | 11.36 × 6.88 | 78.1568 |
| ⑥ | 11.36 × 2.25 | 25.5600 |
| ⑦ | 12.67 × 7.06 | 89.4502 |
| ⑧ | 15.76 × 6.24 | 98.3424 |
| ⑨ | 23.36 × 6.38 | 149.0368 |
| ⑩ | 23.36 × 3.41 | 79.6576 |
| ⑪ | 22.90 × 3.56 | 81.5240 |
| ⑫ | 25.17 × 5.70 | 143.4690 |
| ⑬ | 25.17 × 2.91 | 73.2447 |
| ⑭ | 21.82 × 7.91 | 172.5962 |
| ⑮ | 21.82 × 10.56 | 230.4192 |
| 倍面積合計 | | ㎡ 1,492.0213 |
| 面積 (倍面積 ÷ 2) | | ㎡ 746.01065 |
| 敷地面積 (端数処理) | | ㎡ 746.01 |

| ■建築面積 (㎡) | |
|-----------|---|
| 建築面積 | 174.22 |
| ■延床面積 (㎡) | |
| 階数 | 各階床面積 |
| 2階 | 132.16 |
| 1階 | 132.16 |
| 合計 | 264.32 |
| ■建蔽率・容積率 | |
| 建蔽率 | $179.40 \div 746.01 \times 100 = 24.05\%$ |
| 容積率 | $264.32 \div 746.01 \times 100 = 35.43\%$ |

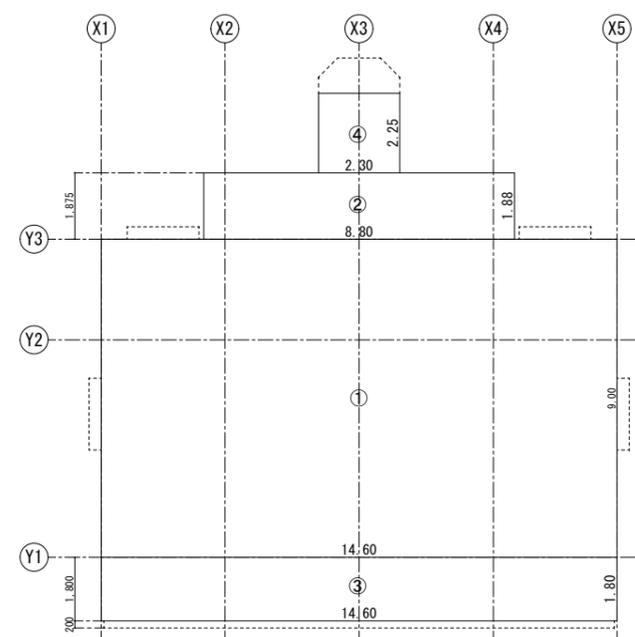


1、2階床面積求積図 S=1/100

| ■1、2階床面積求積表 | | | |
|-------------|-------------|------------|---------|
| 符号 | 計算式 | 面積 (㎡) | 世帯別合計 |
| ① | 7.30 × 9.00 | 65.7000 | 66.0825 |
| ② | 0.85 × 0.45 | 0.3825 | 66.08 |
| ③ | 7.30 × 9.00 | 65.7000 | 66.0825 |
| ④ | 0.85 × 0.45 | 0.3825 | 66.08 |
| 合計 | | ㎡ 132.1650 | |
| (端数処理) | | ㎡ 132.16 | |

(端数処理)
(端数処理)

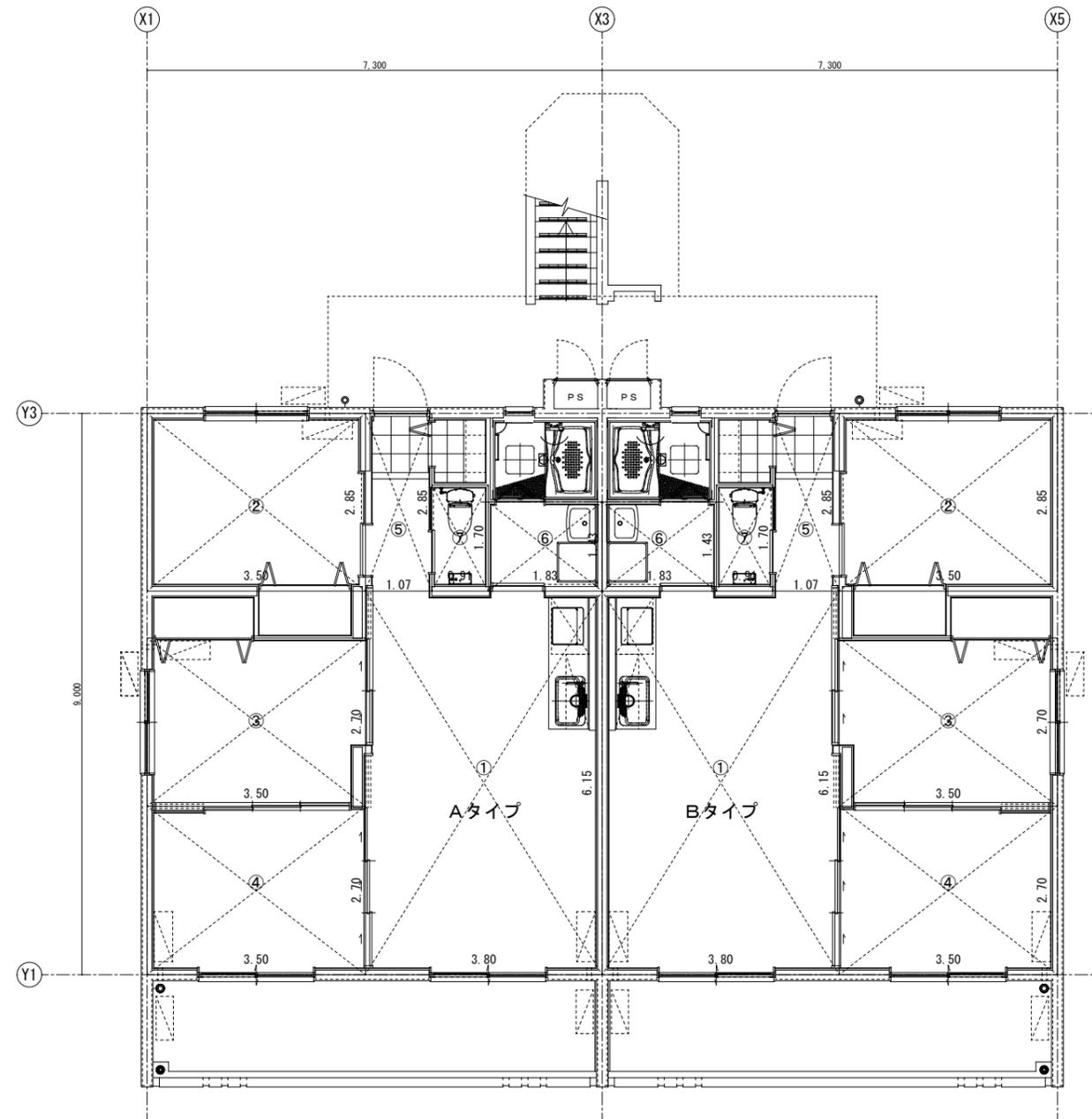
※ 世帯住戸面積 ①・③ : 66.08㎡



建築面積求積図 S=1/100

| ■建築面積求積表 | | |
|----------|--------------|------------|
| 符号 | 計算式 | 面積 (㎡) |
| ① | 14.60 × 9.00 | 131.4000 |
| ② | 8.80 × 1.88 | 16.5440 |
| ③ | 14.60 × 1.80 | 26.2800 |
| ④ | 2.30 × 2.25 | 5.1750 |
| 合計 | | ㎡ 179.3990 |
| (端数処理) | | ㎡ 179.40 |

| | | | |
|------|------------------------|---|----------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗園村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗園村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 求積図① |
| 発注機関 | 栗園村教育委員会 | 縮尺 | A1・1/100 A3・1/200 |
| 摘要 | 図面番号 A-07 | | |
| 設計者 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (知事) 登録第124-2004号 一級建築士大臣登録第363241号 | |
| | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | |



| ■Aタイプ 各室床面積求積表 | | | |
|----------------|----|-------------|-----------|
| 室名 | 符号 | 計算式 | 面積 (㎡) |
| LDK | ① | 3.80 × 6.15 | 23.3700 |
| 洋室1 | ② | 3.50 × 2.85 | 9.9750 |
| 洋室2 | ③ | 3.50 × 2.70 | 9.4500 |
| 洋室3 | ④ | 3.50 × 2.70 | 9.4500 |
| 玄関ホール | ⑤ | 1.07 × 2.85 | 3.0495 |
| 洗面・脱衣 | ⑥ | 1.83 × 1.43 | 2.6169 |
| WC | ⑦ | 0.91 × 1.70 | 1.5470 |
| 合計 | | | ㎡ 59.4584 |
| (端数処理) | | | ㎡ 59.45 |

| ■Bタイプ 各室床面積求積表 | | | |
|----------------|----|-------------|-----------|
| 室名 | 符号 | 計算式 | 面積 (㎡) |
| LDK | ① | 3.80 × 6.15 | 23.3700 |
| 洋室1 | ② | 3.50 × 2.85 | 9.9750 |
| 洋室2 | ③ | 3.50 × 2.70 | 9.4500 |
| 洋室3 | ④ | 3.50 × 2.70 | 9.4500 |
| 玄関ホール | ⑤ | 1.07 × 2.85 | 3.0495 |
| 洗面・脱衣 | ⑥ | 1.83 × 1.43 | 2.6169 |
| WC | ⑦ | 0.91 × 1.70 | 1.5470 |
| 合計 | | | ㎡ 59.4584 |
| (端数処理) | | | ㎡ 59.45 |

| | | | |
|------|-----------------------|---|---------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 求積図② |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | A1・1/50 A3・1/100 |
| 摘要 | | 図面番号 | A-08 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉登 263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

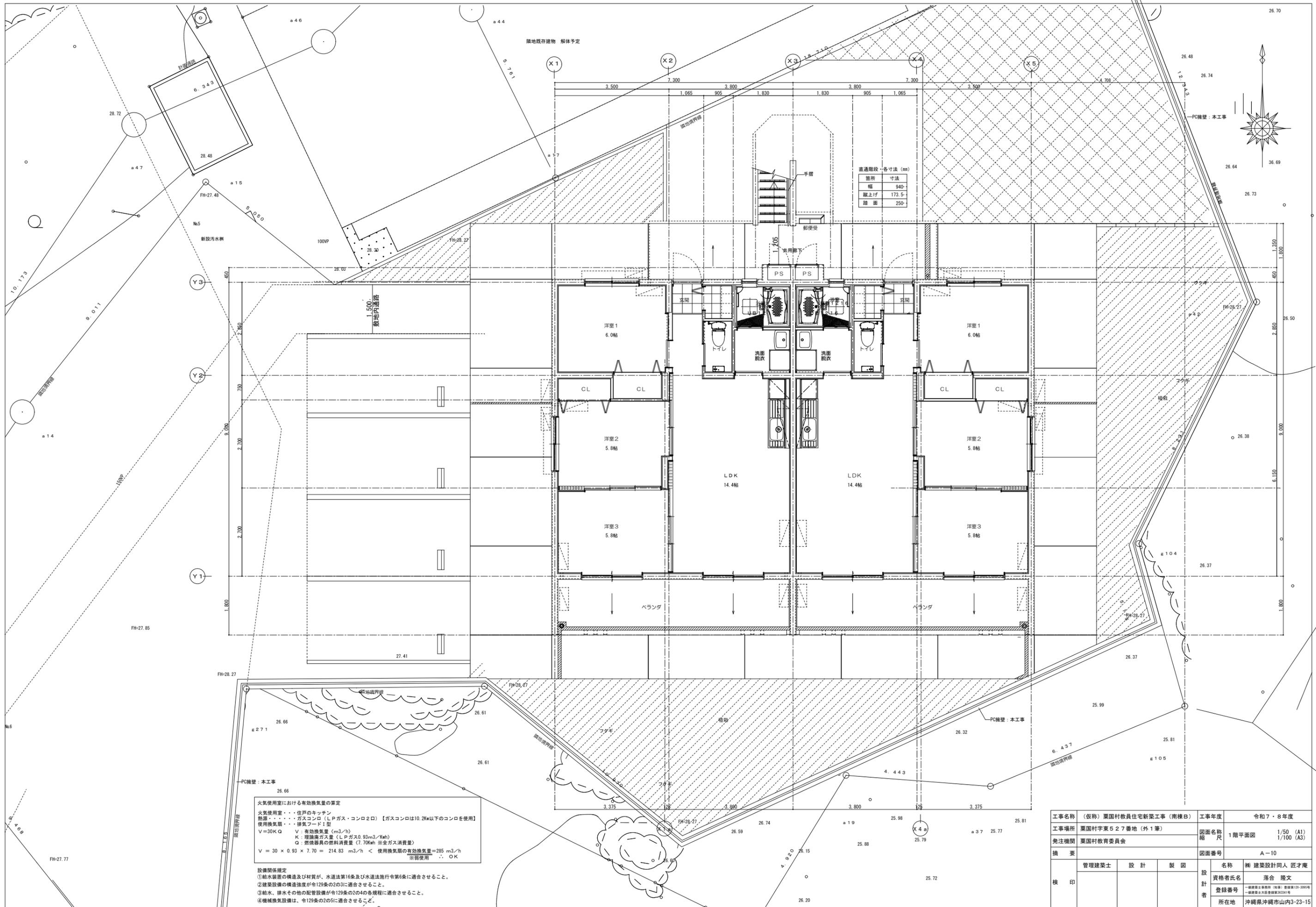
| ■外部仕上表 | | | | ■その他 | |
|--------------|---|--------------|--|---------------|--|
| 屋根 | コンクリート直均し仕上げ | ドレイン | 鋳鉄製タテ引き（ルーフ・中継）※呼径100φ | 最上階屋根 スラブ下 | 押出法ポリスチレンフォーム断熱材打込 t=30 3種 b-A F4等級 熱伝導率0.028以下 |
| | 平面：ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）厚さ3mm MOCA無配合（遮熱断熱仕様） 立上り：ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）厚さ2mm MOCA無配合（遮熱断熱仕様） | 縦樋 | 硬質塩化ビニール管 DP塗装 VP100φ 1階部分/各カ所掃除口 | 階段手摺 | アルミ製鋼管34.0φ コーナー部分、及び端部は、曲面処理とする。 |
| 屋外廊下 | コンクリート直均し仕上げ | 雨水埋設管 集水樹 | 雨水埋設管VP100φ コンクリート製集水樹（呼び）400×400 H600 鋼製グレーチング樹蓋：400角、枠付、普通目、T-2 | カーテンレール | ステンレスカーテンレール ダブル（各洋室・LDK：開口幅+片側150mm） |
| バルコニー | コンクリート直均し仕上げ 物干金物（キョーワナスター：KS-1000AF-M 同等品以上） | タラップ | ステンレス製 φ19.0・w400×d300（7本） | 屋上点検口 | ステンレス製600角 |
| 1階ポーチ | 土間コンクリート直均し仕上げ、カッター目地@3m以下 | オーバーフロー管 | 樹脂製50φ | 造作材 | 特記なき造作材は、メラピとする |
| 外壁 | コンクリート打放し（B種）補修のうえ複層塗材Si 手摺、パラペット天端等はトップのみ | | | | |
| 軒天 | コンクリート打放し補修の上 E P - G | | | | |
| 外壁 クラック目地 | 外壁の開口部は上下方向にクラック目地w20x10を施す。 シーリングPU-2 | | | | |
| 打継目地 | ※打継目地、クラック誘発目地、化粧目地等は、目地底でフカシ | | | | |
| 化粧目地 | コンクリートを10mm以上確保する事。目地 w20×10、シーリングPU-2 | | | | |

| ■内部仕上表 | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------|---|--|--|----------------|------------------------|--|----------------------|---------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|
| 階 | 室名 | 天井高 | レベル (FL+) | 床 | 巾木 (H) | 下地 | 壁 | 廻縁(1階) | 天井(1階) | 廻縁(2階) | 天井(2階) | 備考 |
| 共通 | 玄関 | 2350 | -150 | 下地：モルタル t=30 | タイル立上 | LGS 65型 | 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 上框：御影石本磨き 25×100（糸面付） |
| | | | | 仕上：150角磁器質タイル貼り | 木製 CL 15×60 | RC GL工法 | | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | 可動棚板・棚柱 |
| | 玄関ホール | 2200 | ±0 | 下地：置き床組t=25 | 木製 CL | LGS 65型 | 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | |
| | | | | 仕上：複合フローリング t=12 （ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上） | 15×60 | RC GL工法 | | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | |
| | LDK | 1F：2550 2F：2314(min) 2F：2770(max) | ±0 | 下地：置き床組t=25 | 木製 CL | LGS 65型 | 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス 流し台前：耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル （準不燃以上） | 木製CL | 下地：コンクリート打放補修 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 流し台 B.L品（L=2100）、吊り戸棚 |
| | | | | 仕上：複合フローリング t=12 （ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上） | 15×60 | RC GL工法 | | 9×30 | 仕上：複層塗材（小粒） | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | ステンテス製2段水切棚（L=1200） |
| | 各洋室 | 1F：2550 2F：2314(min) 2F：2500(max) | ±0 | 下地：置き床組t=25 | 木製 CL | LGS 65型 | 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス | 木製CL | 下地：コンクリート打放補修 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | |
| 仕上：複合フローリング t=12 （ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上） | | | | 15×60 | RC GL工法 | 9×30 | | 仕上：複層塗材（小粒） | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | | |
| CL | 1F：2450 2F：2500 | ±0 | 下地：置き床組t=25 | 木製 CL | LGS 65型 | 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス | 木製CL | 下地：コンクリート打放補修 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 枕棚・SUSハンガーパイプ | |
| | | | 仕上：複合フローリング t=12 （ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上） | 15×15 | RC GL工法 | | 9×30 | 仕上：複層塗材（小粒） | 見切縁 | 仕上：化粧石膏ボード t=9.5 張り | | |
| 洗面脱衣 | 2200 | ±0 | 下地：置き床組t=25（t=9耐水合板下地） | ソフト巾木 | LGS 65型 | ケイカル板 t=6 E P - G | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | | |
| | | | 仕上：ビニール床シート貼り t=2.5 | H=60 | RC | コンクリート打放補修 E P - G | 見切縁 | 仕上：ケイカル板 t=6 E P - G | 見切縁 | 仕上：ケイカル板 t=6 E P - G | | |
| WC | 2200 | ±0 | 下地：置き床組t=25（t=9耐水合板下地） | ソフト巾木 | LGS 65型 | 耐水石膏ボード t=12.5 ビニールクロス | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | 塩ビ | 下地：LGS 19型 | | |
| | | | 仕上：ビニール床シート貼り t=2.5 | H=60 | RC GL工法 | | 見切縁 | 仕上：ケイカル板 t=6 E P - G | 見切縁 | 仕上：ケイカル板 t=6 E P - G | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------------|-------------|
| 石膏ボード t=12.5 | 不燃 NM-8619 |
| シーリング石膏ボード t=12.5 | 不燃 NM-9639 |
| 珪酸カルシウム板 t=6 | 不燃 NM-8578 |
| 化粧石膏ボード t=9.5 | 準不燃 QM-0524 |
| | |
| | |
| | |

| | |
|----|--|
| 特記 | ※内装仕上材は全てF☆☆☆☆とする。 ※建築材料の品質は法第37条（構造部材の耐久）に適合させ、完了検査時にミルシート及びコンクリート強度証明資料等を提出する。 ※水廻り・外部等の珪酸カルシウム板 目透かし張りは全てシール打ちとする。 ※コンクリートとボード・合板類の突付けカ所はシーリング(10x10)処理を行う。 ※壁/石膏ボードのジョイント目地は、グラスメッシュテープを施し、パテ処理を行う。 ※壁/石膏ボードの出隅及び入角部分は、コーナービート、ジョイントテープ、パテ処理を行う。 ※住戸界壁のコンセントボックス等の位置は、背中合わせとしてはならない。 |
|----|--|

| | | | |
|------|-----------------------|---|-----------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事（南棟B） | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地（外1筆） | 図面名称 縮尺 | 仕上表 A1/A3 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 図面番号 | A-09 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 榊 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (昭和) 登録第125-2095号 一級建築士大臣登録第243241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



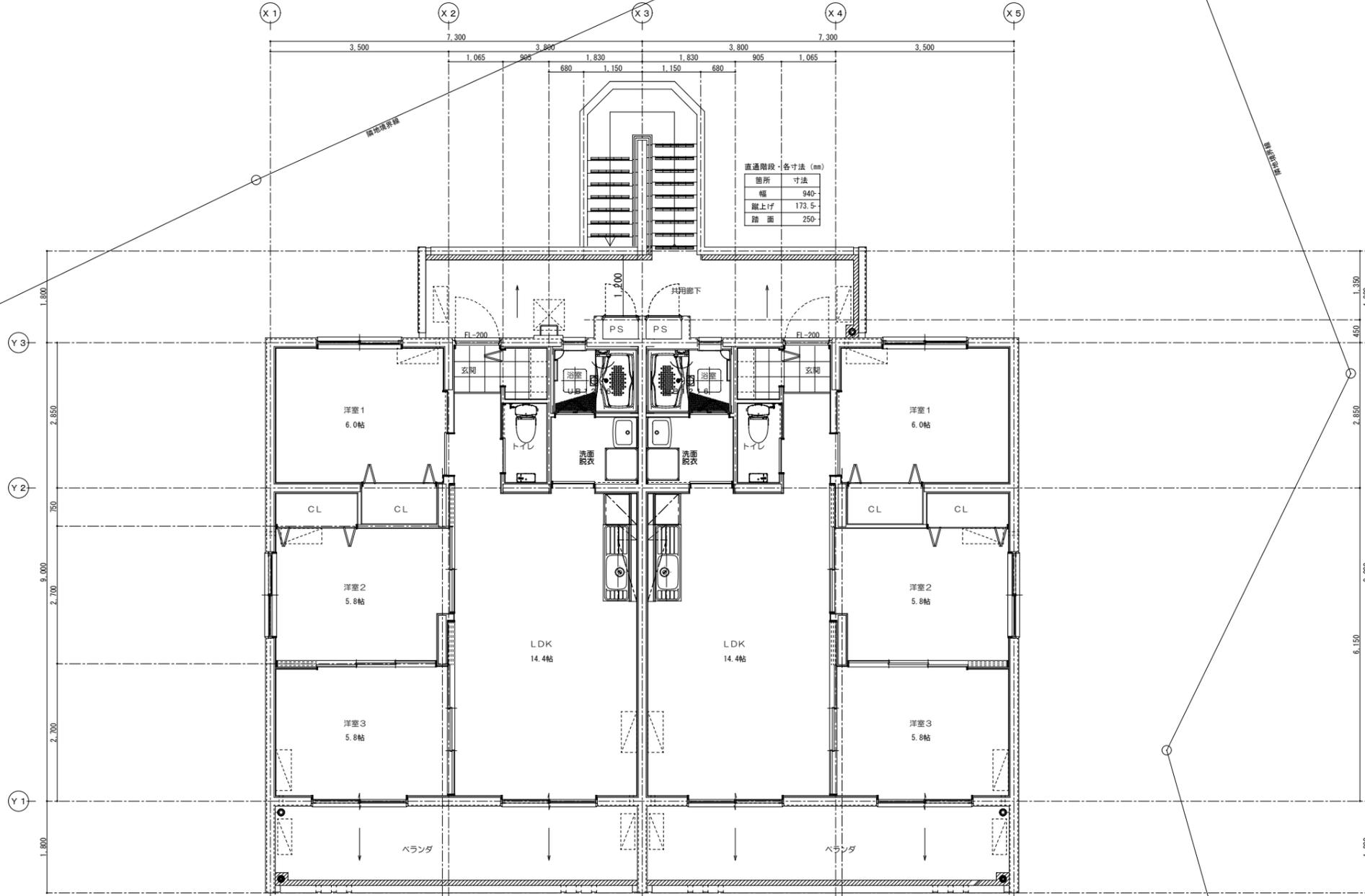
直通階段・各寸法 (mm)

| | |
|-----|-------|
| 面所 | 寸法 |
| 幅 | 940 |
| 蹴上f | 173.5 |
| 踏面 | 250 |

火気使用室における有効換気量の算定
 火気使用室・・・住戸のキッチン
 熱源・・・ガスコンロ (LPGガス・コンロ2口) 【ガスコンロは10.2kw以下のコンロを使用】
 使用換気量・・・排気フード1型
 $V = 30KQ$ V: 有効換気量 (m³/h)
 K: 理論換気量 (LPGガス0.93m³/Kwh)
 Q: 燃焼器具の燃料消費量 (7.70kwh ※金ガス消費量)
 $V = 30 \times 0.93 \times 7.70 = 214.83 \text{ m}^3/\text{h} < \text{使用換気量の有効換気量} = 285 \text{ m}^3/\text{h}$
 ※留使用 ∴ OK

- 設備関係規定
 ①給水装置の構造及び材質が、水道法第16条及び水道法施行令第6条に適合させること。
 ②建築設備の構造強度が令129条の2の3に適合させること。
 ③給水、排水その他の配管設備が令129条の2の4の各規程に適合させること。
 ④機械換気設備は、令129条の2の5に適合させること。

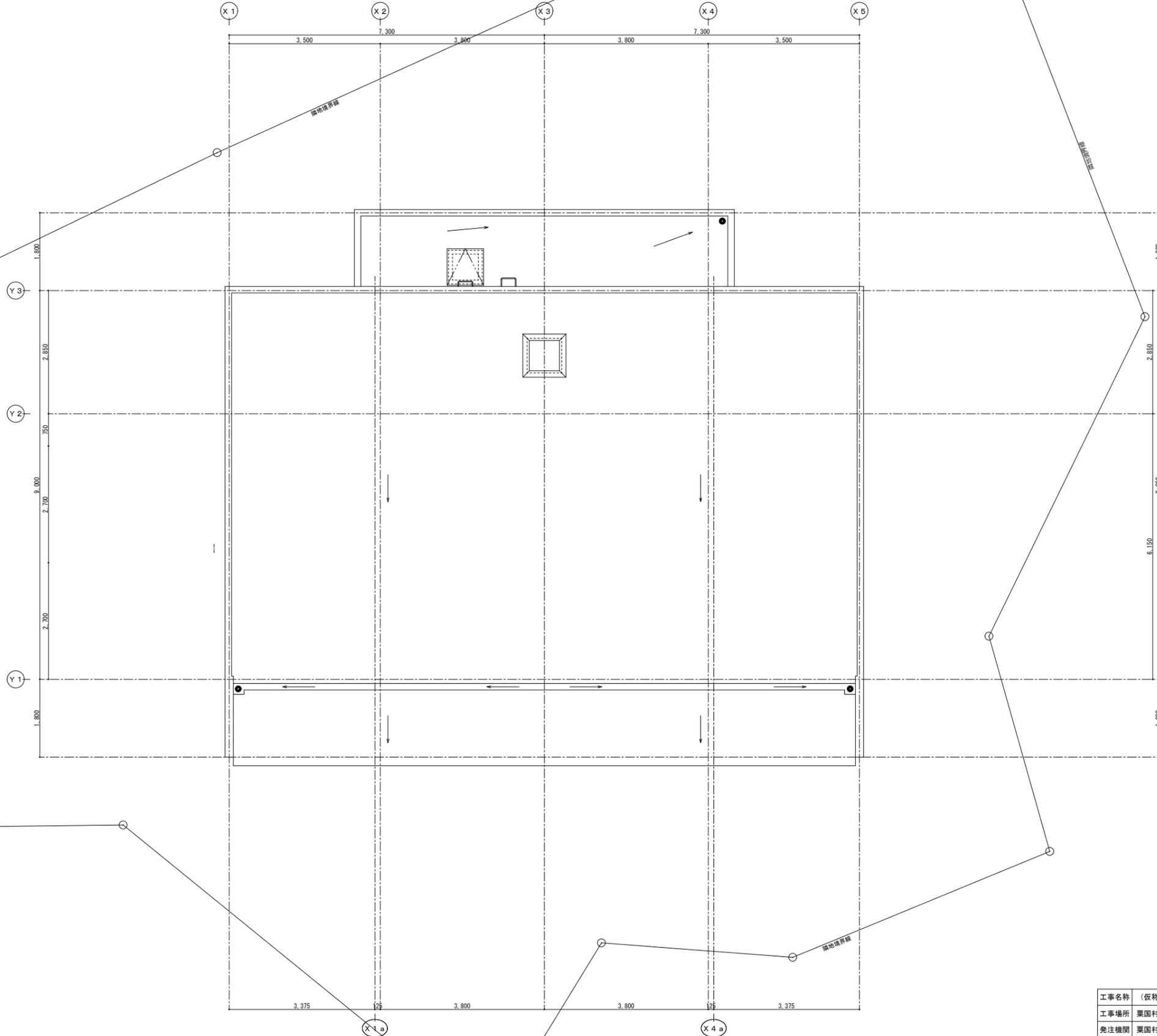
| | | | |
|------|------------------------|---|-------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗園村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗園村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 1階平面図 |
| 発注機関 | 栗園村教育委員会 | 縮尺 | 1/50 (A1) 1/100 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-10 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 榊 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (昭和) 登録第125-3095号 一級建築士大臣登録第243241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



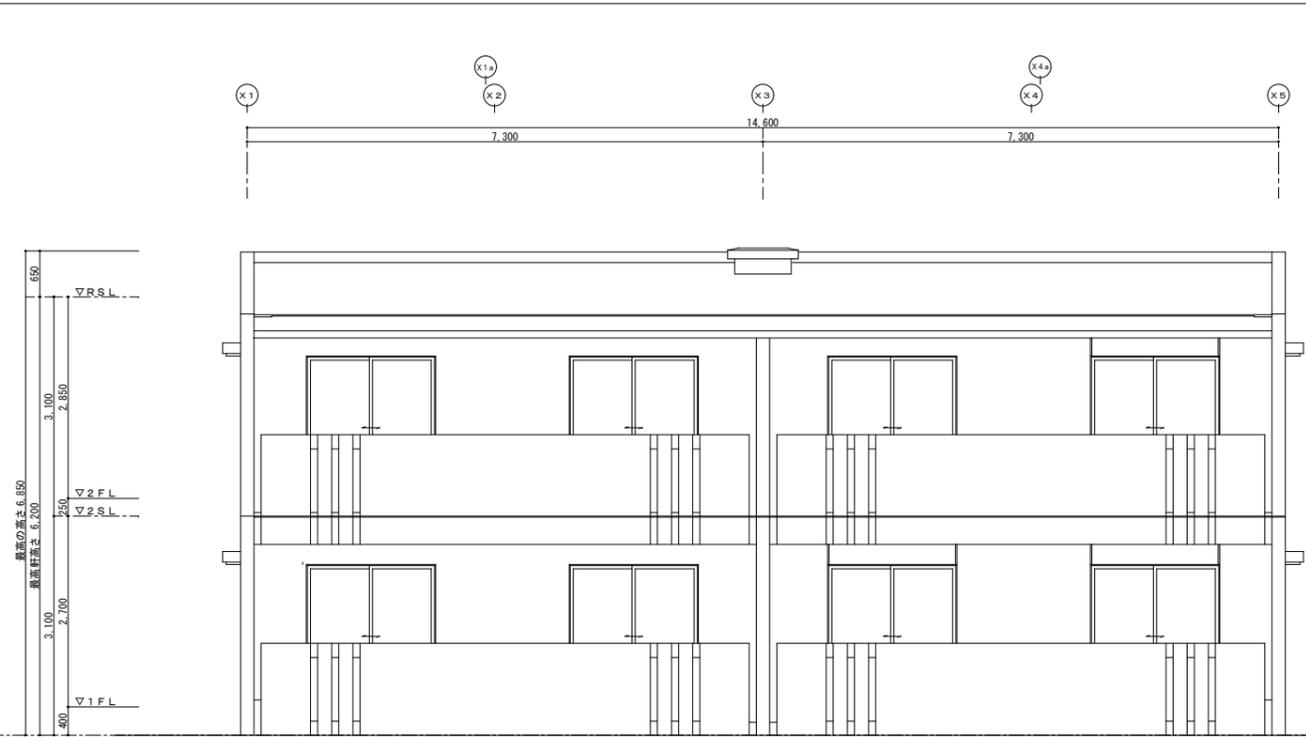
火気使用室における有効換気量の算定
 火気使用室・・・住戸のキッチン
 燃焼・・・ガスコンロ (LPGガス・コンロ2口) 【ガスコンロは10.2kw以下のコンロを使用】
 使用換気扇・・・排気フードI型
 $V = 30 K Q$ V: 有効換気量 (m³/h)
 K: 理論換気量 (LPGガス0.93m³/Kwh)
 Q: 燃焼器具の燃料消費量 (7.70Kwh ※全ガス消費量)
 $V = 30 \times 0.93 \times 7.70 = 214.83 \text{ m}^3/\text{h} < \text{使用換気扇の有効換気量} = 285 \text{ m}^3/\text{h}$
 ※弱使用 ∴ OK

- 設備関係規定
 ①給水装置の構造及び材質が、水道法第16条及び水道法施行令第6条に適合させること。
 ②建築設備の構造強度が令129条の2の3に適合させること。
 ③給水、排水その他の配管設備が令129条の2の4の各規程に適合させること。
 ④機械換気設備は、令129条の2の5に適合させること。

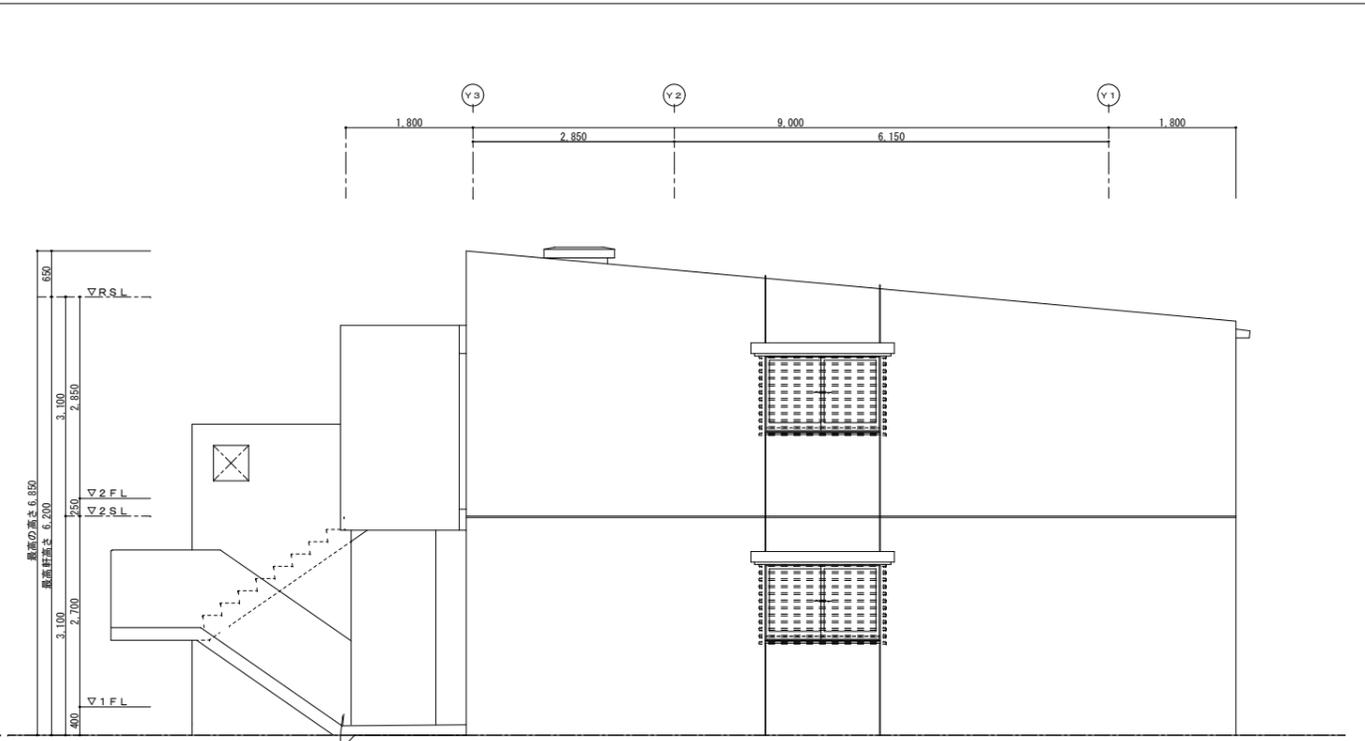
| | | | |
|------|------------------------|---|-------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 2階平面図 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/50 (A1) 1/100 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-11 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 設計者 | 名称 | 株式会社 匠才庵 |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉俊雄 20241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



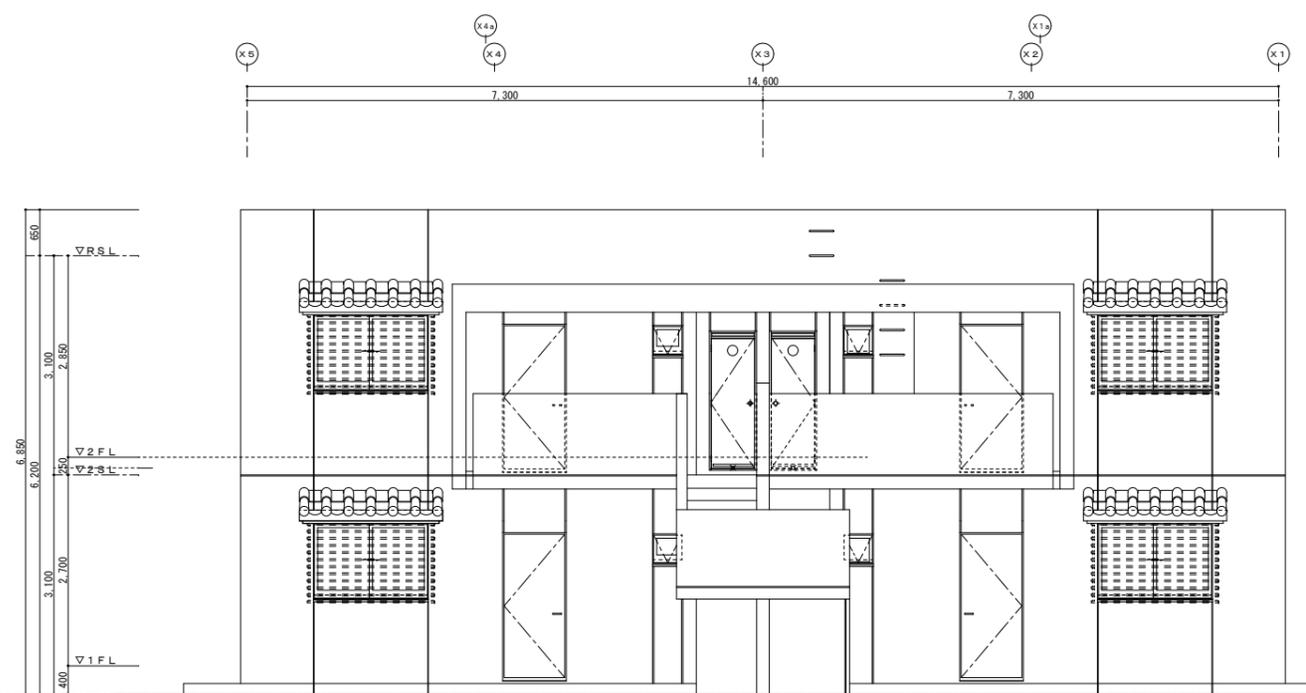
| | | | |
|------|------------------------|-------|--|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | R階平面図 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/50 (A1) 1/100 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-12 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 設計者 | 名称 | 聯 建築設計同人 匠才庵 |
| | 設計者 | 資格者氏名 | 落合 隆文 |
| | 設計者 | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大格登録第263241号 |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



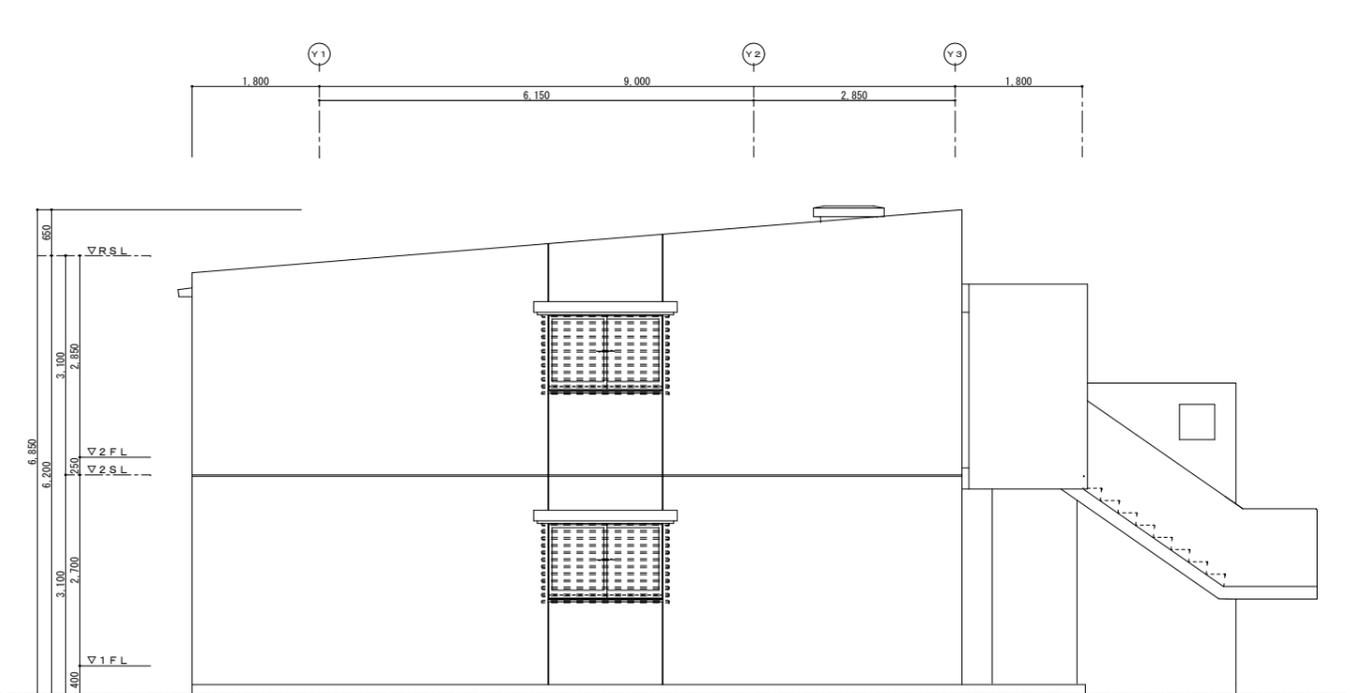
南立面図 S=1/50



西立面図 S=1/50



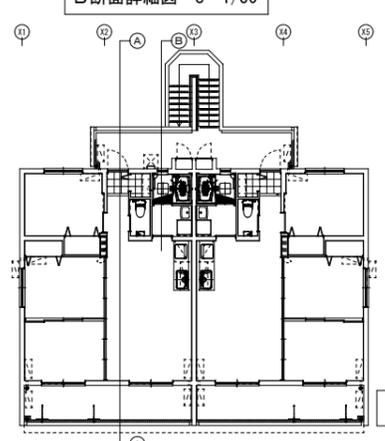
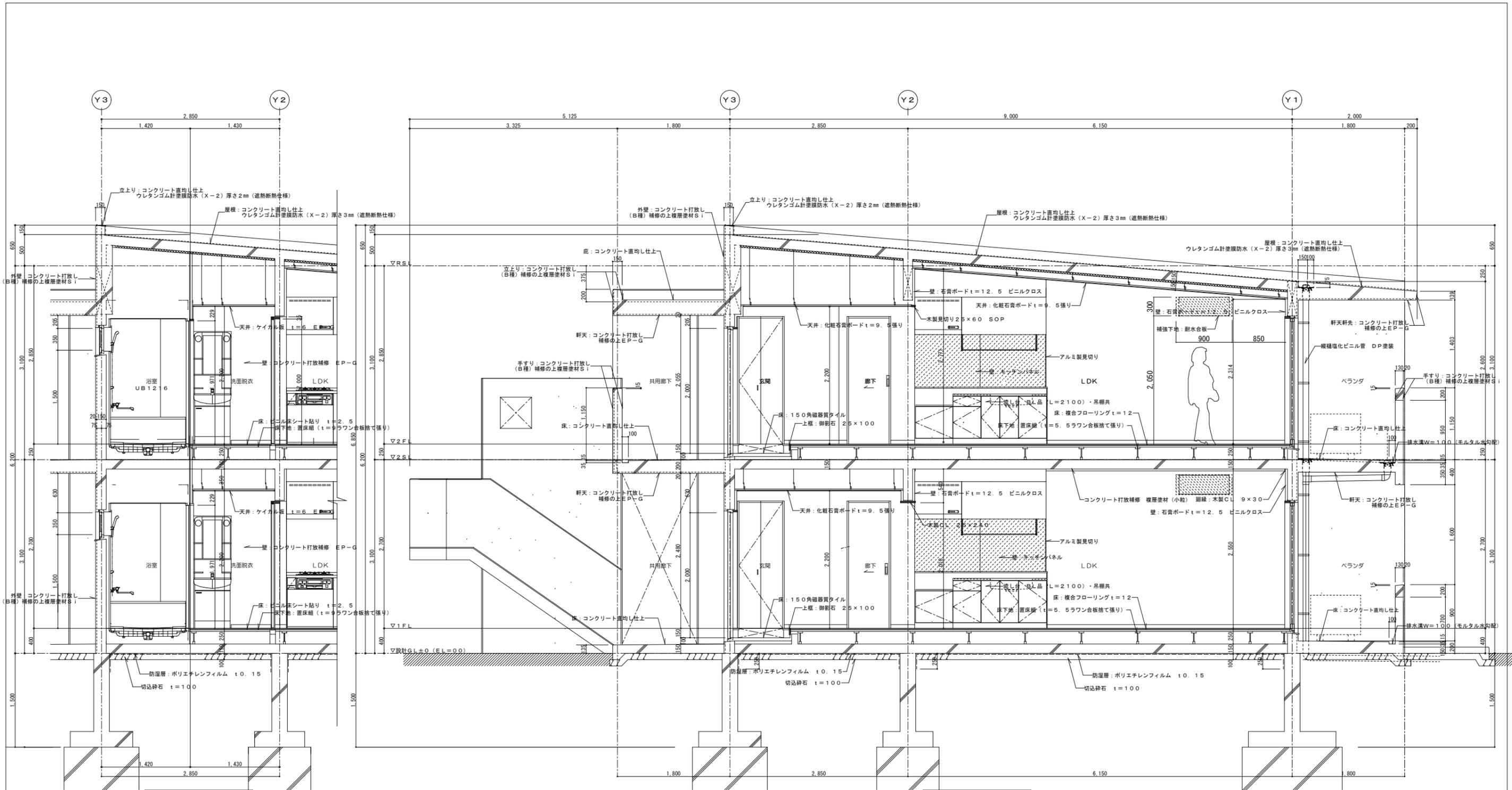
北立面図 S=1/50



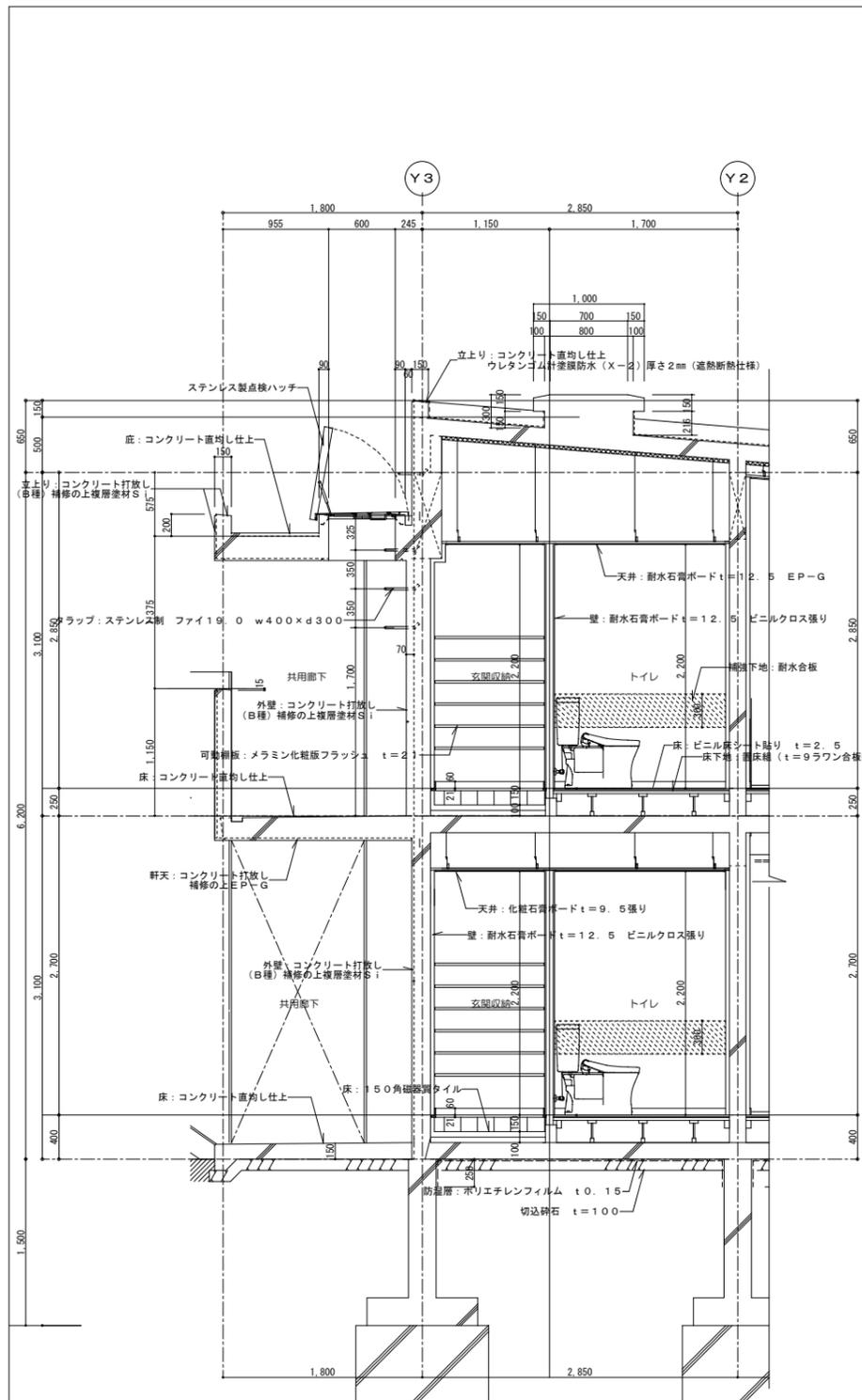
東立面図 S=1/50

| 凡例 | 種別 | 比率% |
|----|-----------------|-----|
| □ | 基調色 : 2.5Y9/1.5 | 100 |
| | | |
| | 計 | 100 |

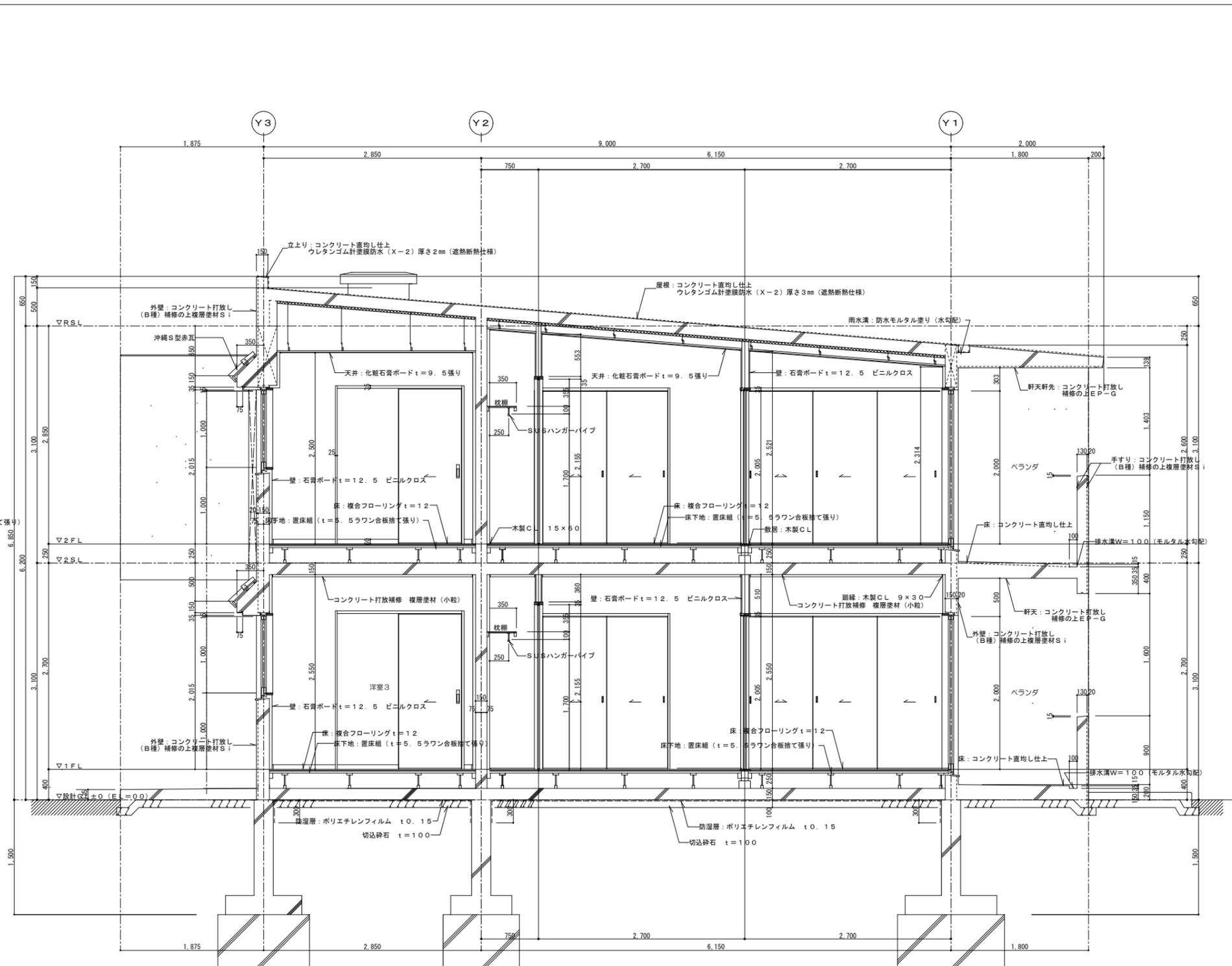
| | | | |
|------|------------------------|---|------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 1/50 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/100 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-13 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 榊 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (昭和三十九年) 登録第125-3099号 一級建築士大臣登録第243341号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



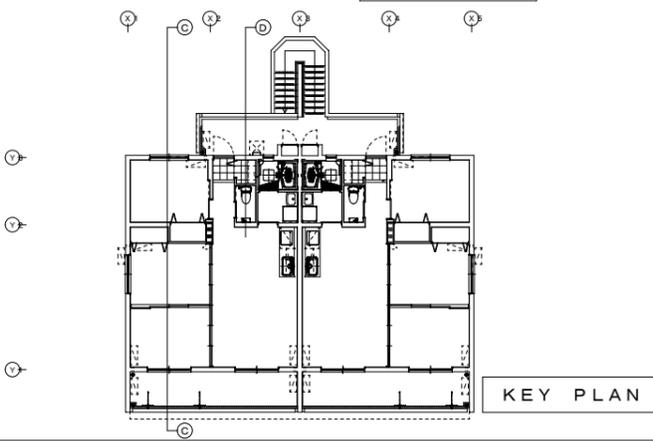
| | | | |
|------|------------------------|---|------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | A断面詳細図・B断面詳細図 |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1/30 (A1) 1/60 (A3) |
| 摘要 | A-14 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 榊 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (国事) 登録第125-3095号 一級建築士大臣登録第243341号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



D断面図 S=1/30

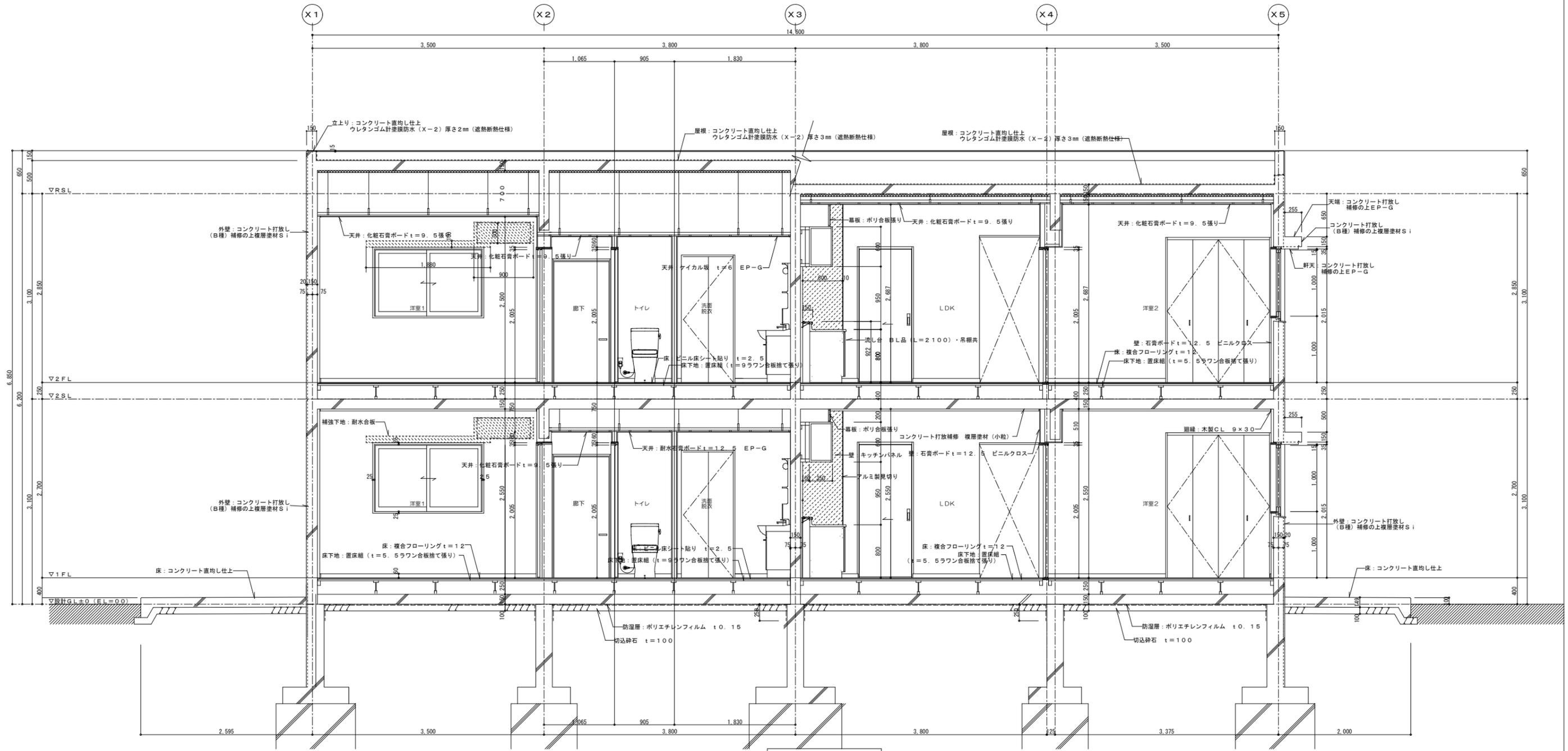


C断面図 S=1/30

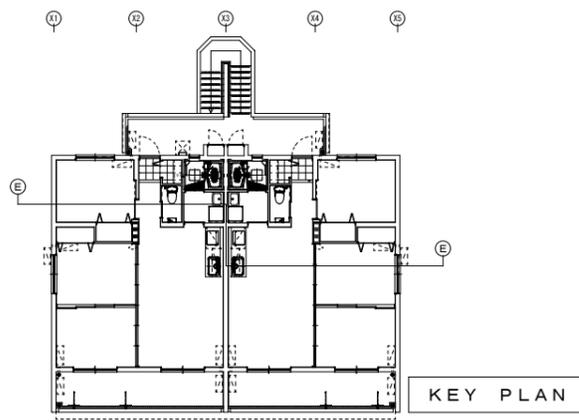


KEY PLAN

| | | | |
|------|------------------------|---|------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | C断面詳細図・D断面詳細図 |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1/30 (A1) 1/60 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-15 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 設計者 | 名称 | 栗 建築設計同人 匠才庵 |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (130番) 登録第123-2095号 一級建築士大倉 隆文 登録第203241号 | |
| | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | |

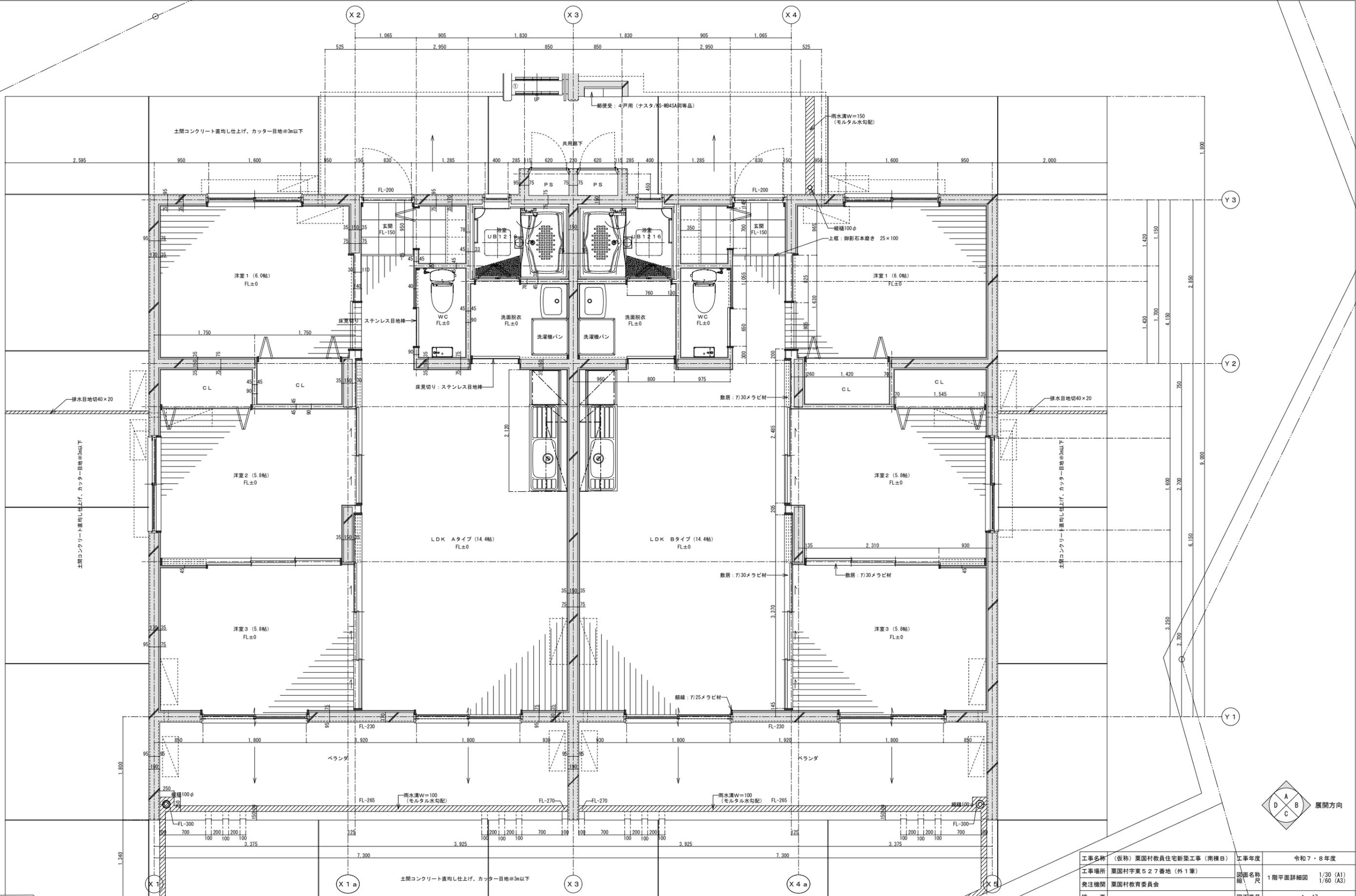


E断面詳細図 S=1/30

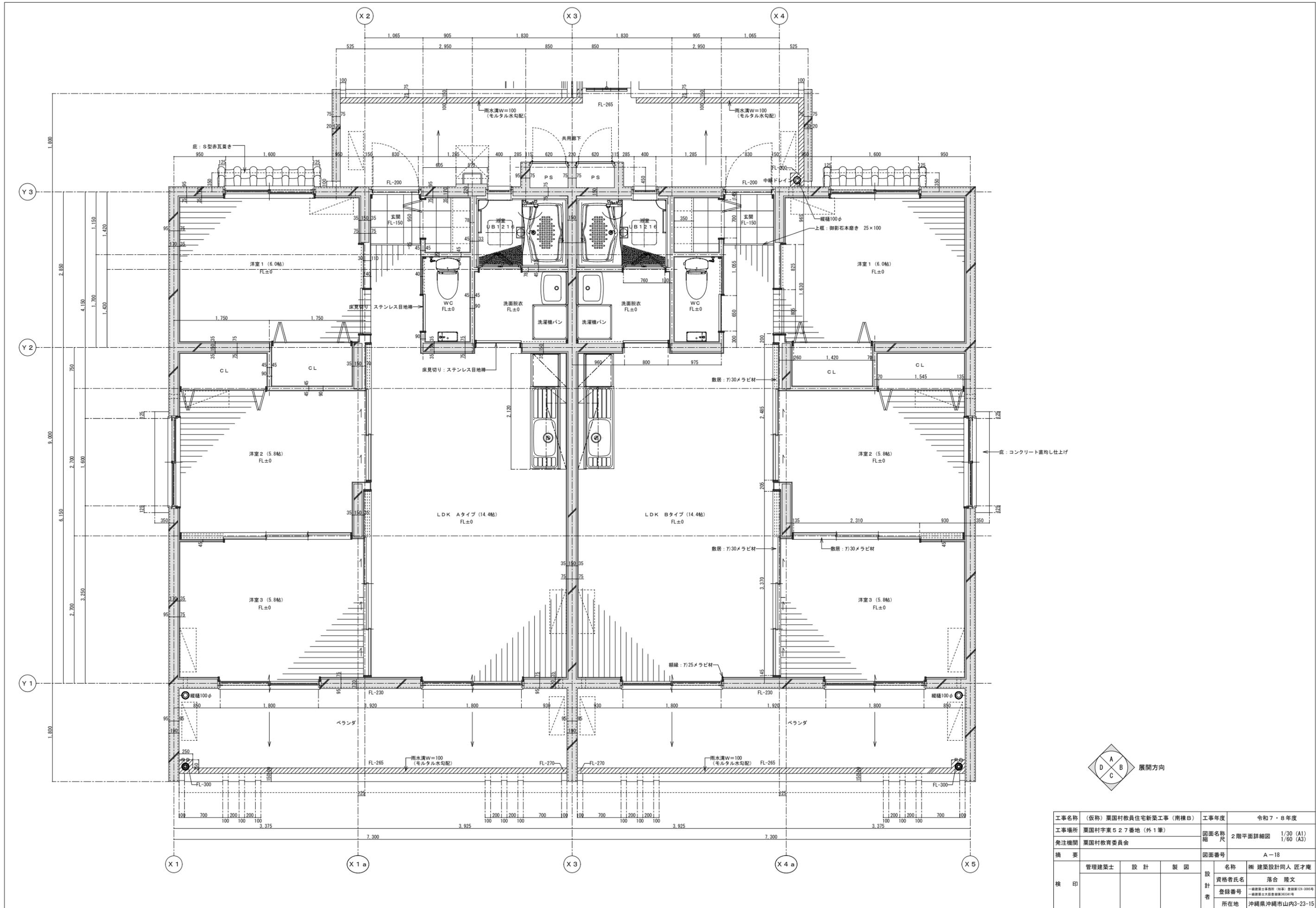


KEY PLAN

| | | | |
|------|------------------------|--|------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | E断面詳細図 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/30 (A1) 1/60 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-16 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 資格者氏名 | 名称 株式会社 匠才庵 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 登録番号 一級建築士事務所 (130番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉 隆文 20241号 | |
| | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | |

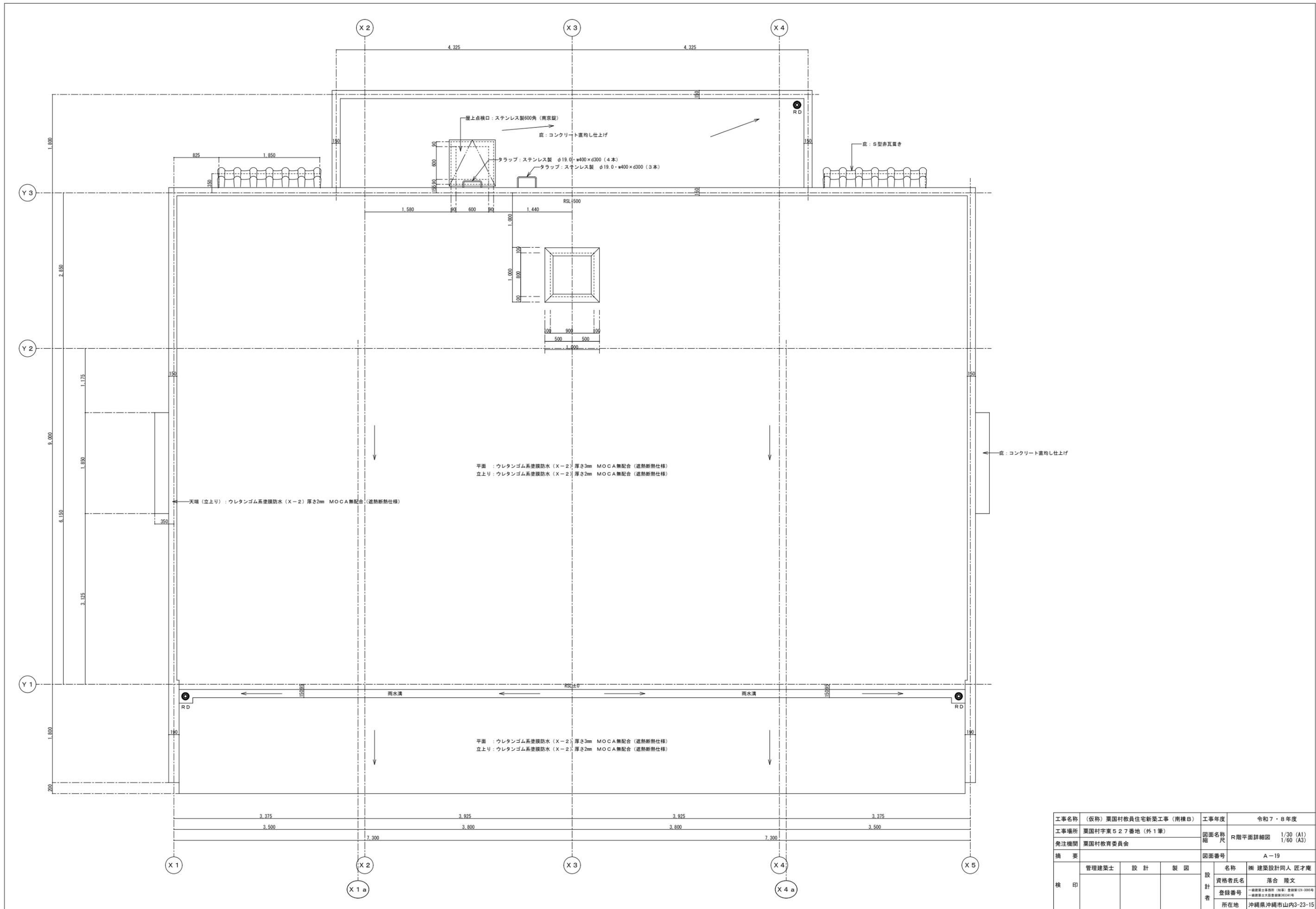


| | | | |
|-------|------------------------|------|---|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 1階平面詳細図 |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1/30 (A1) 1/60 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-17 | | |
| 管理建築士 | 設計 | 製図 | 名称 建築設計同人 匠才庵 |
| 設計者 | 資格者氏名 落合 隆文 | 登録番号 | — 登録建築士事務所 (10番) 登録証123-2004号 — 登録建築士大人数登録第303241号 |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

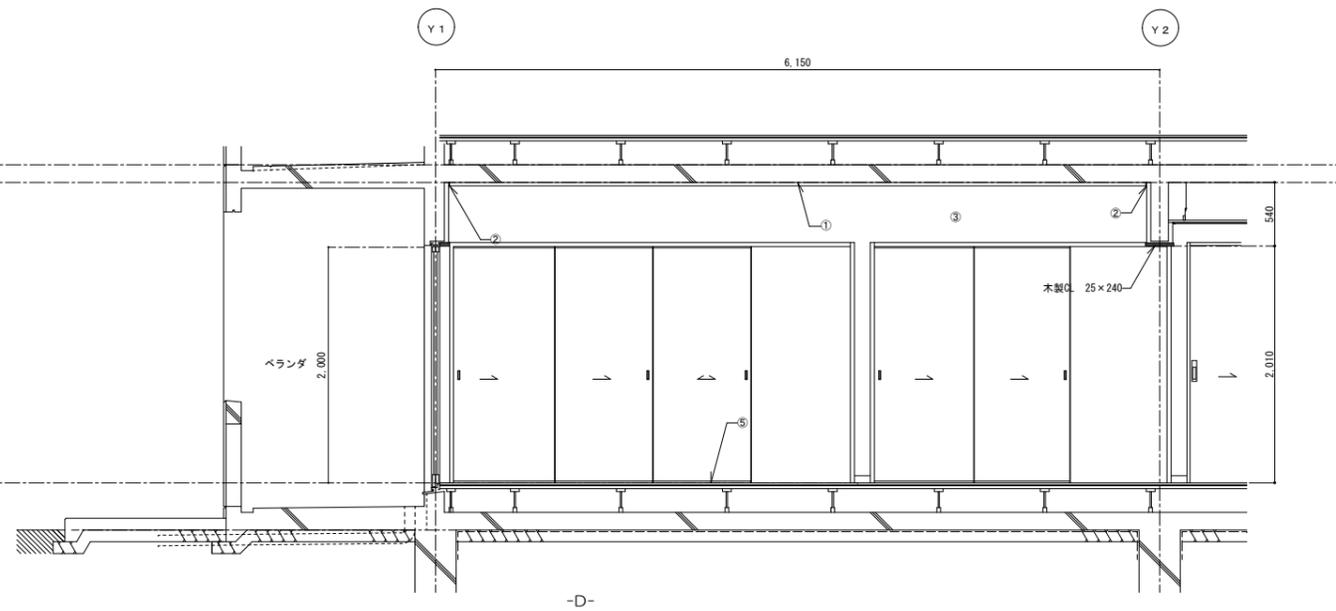
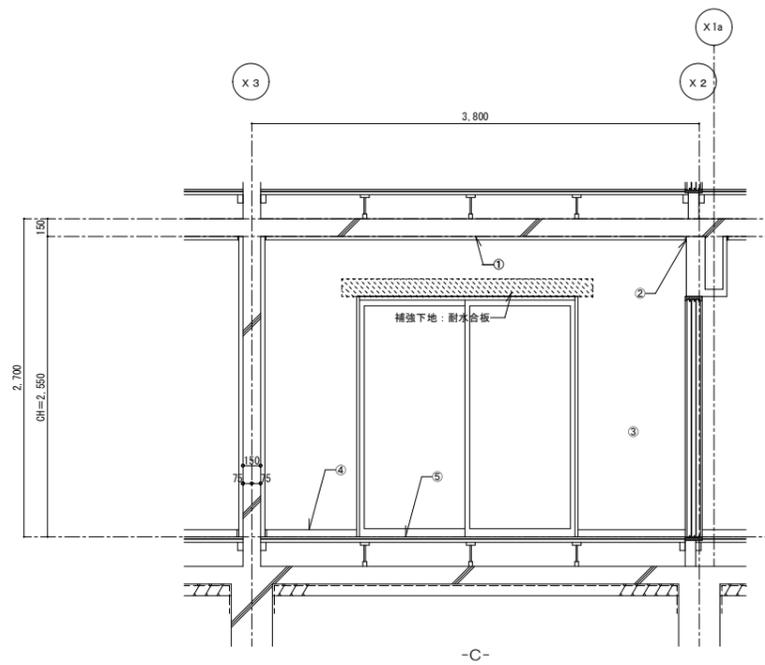
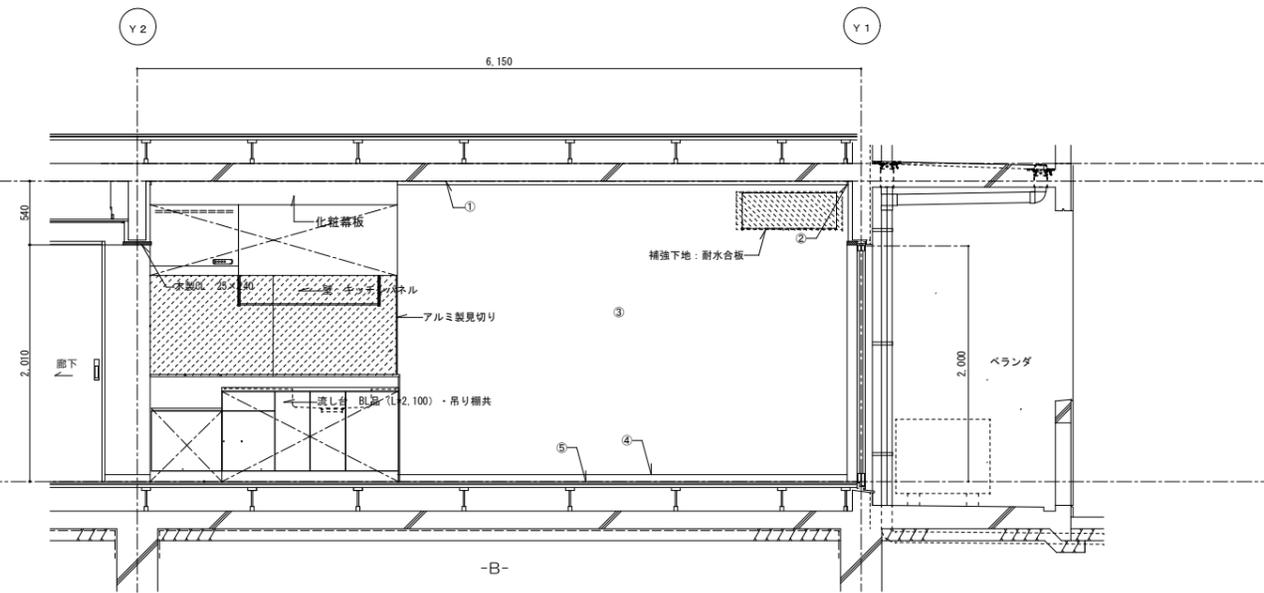
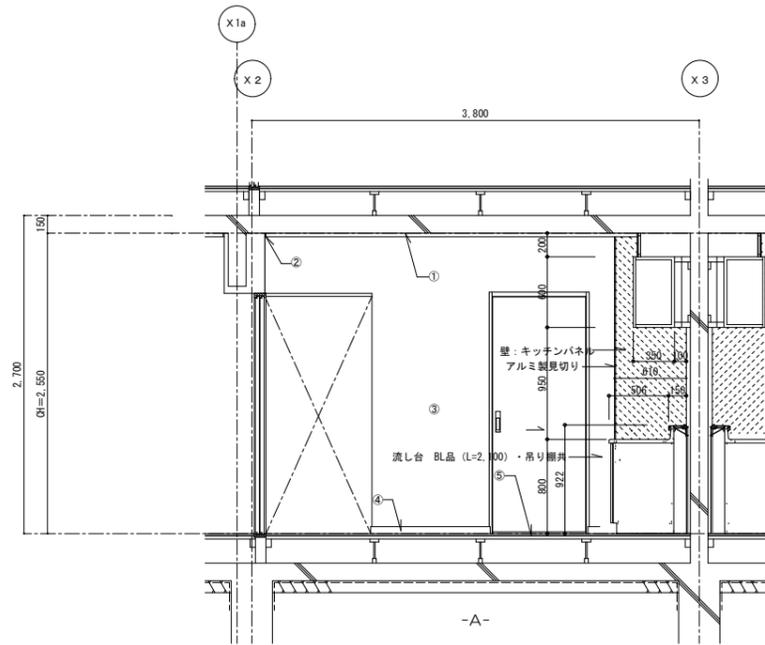


展開方向

| | | | | | |
|------|-----------------------|------|------------------------|-------|--|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 | | |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 2階平面詳細図 | | |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/30 (A1) 1/60 (A3) | | |
| 摘要 | | | 図面番号 | A-18 | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 | 名称 | 建築設計同人 匠才庵 |
| | | | | 資格者氏名 | 落合 隆文 |
| | | | | 登録番号 | 一級建築士事務所 (18第) 登録第128-2004号 一級建築士大抵登録第363241号 |
| | | | | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 |

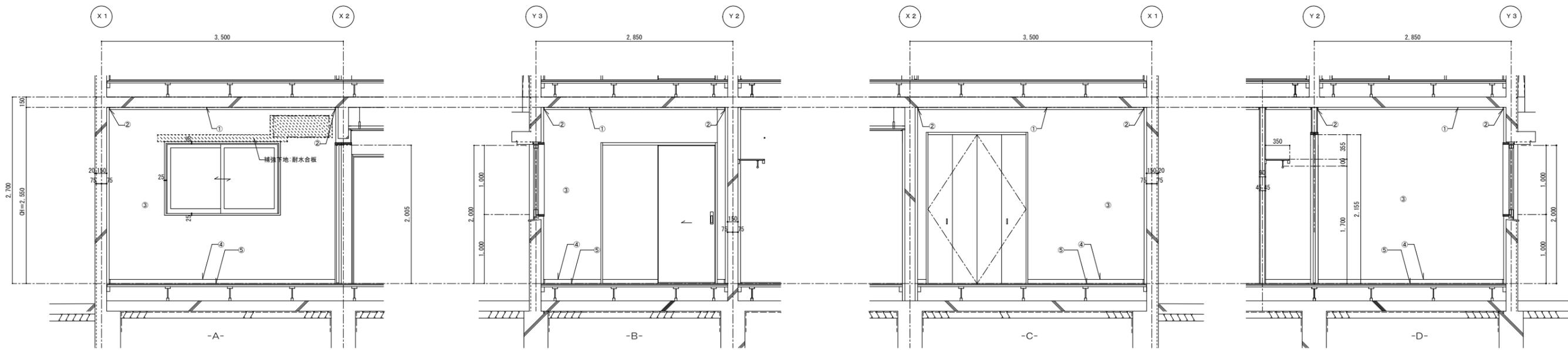


| | | | |
|------|------------------------|--|------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | R階平面詳細図 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/30 (A1) 1/60 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-19 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 設計者 | 名称 | 株式会社 匠才庵 |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (000) 登録証124-2004号 一級建築士大抵登録第303241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



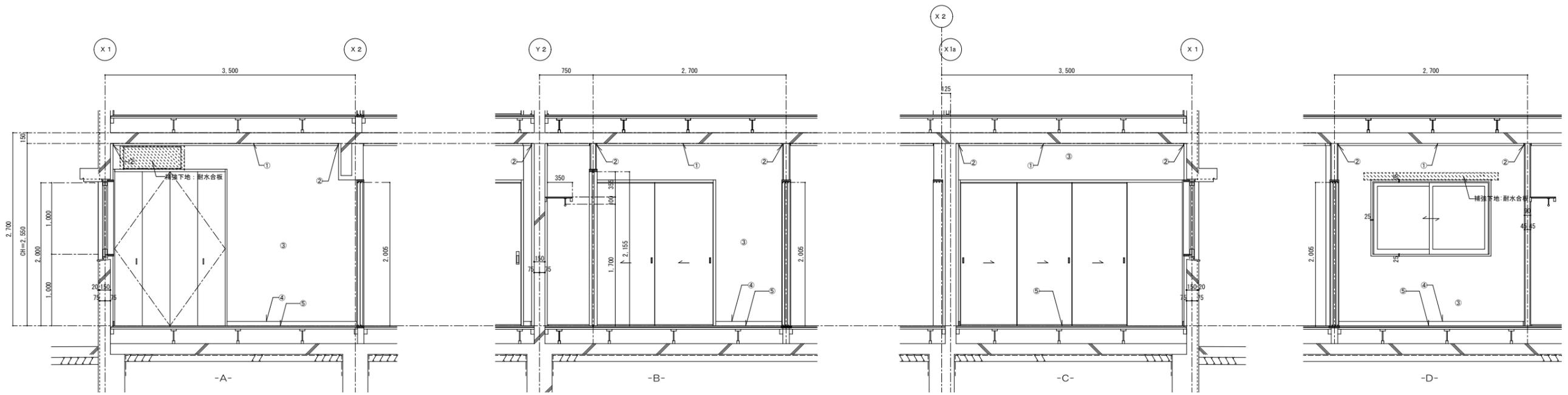
| LDK 仕上表 | |
|---------|----------------------|
| ① | コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒) |
| ② | 木製C.L. 9x30 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15x60 木製C.L仕上 |
| ⑤ | 7)12 複合フローリング |

| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 展開図1 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1階 (LDK) 1/60 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-21 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 睦 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



洋室1 仕上表

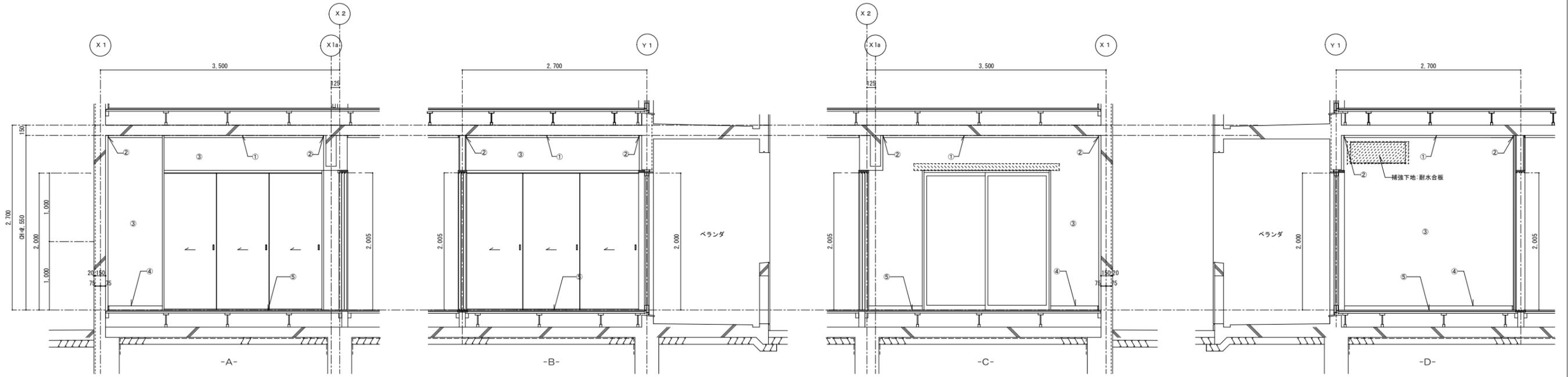
| | |
|---|----------------------|
| ① | コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒) |
| ② | 木製C.L 9×30 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15×60 木製C.L仕上 |
| ⑤ | 7)12 複合フローリング |



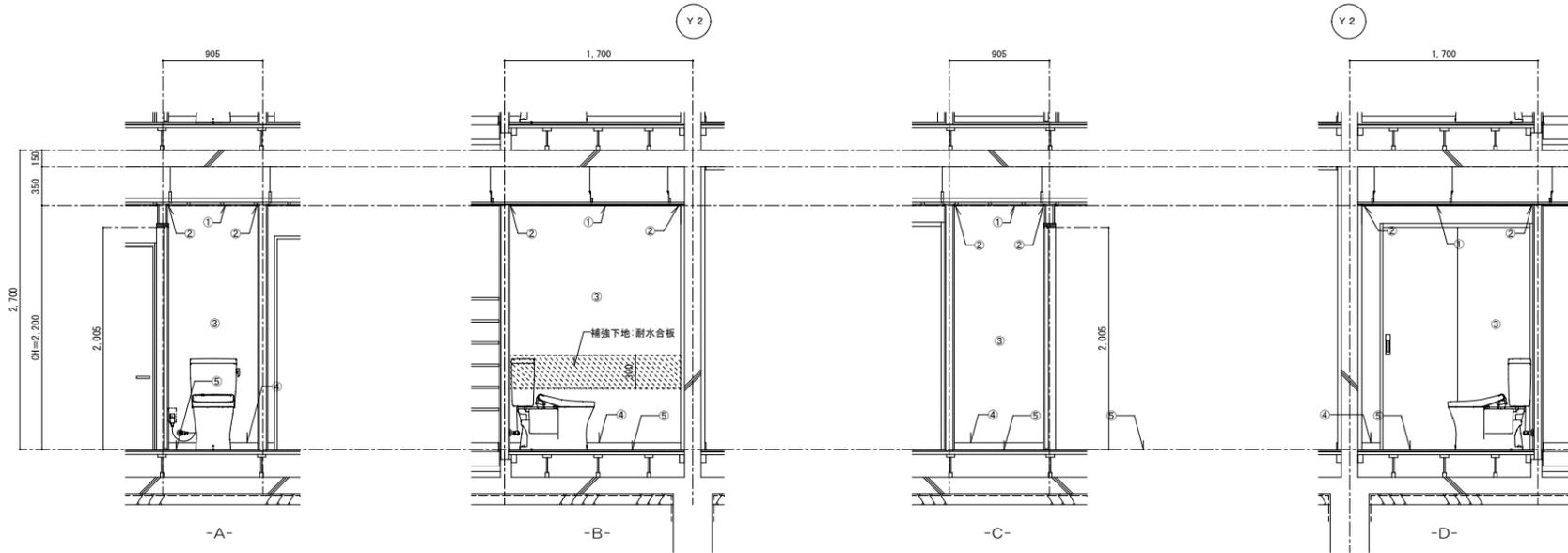
洋室2 仕上表

| | |
|---|----------------------|
| ① | コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒) |
| ② | 木製C.L 9×30 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | H=60 木製C.L仕上 |
| ⑤ | 7)12 複合フローリング |

| | | | |
|------|------------------------|--|------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 展開図2 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1階 (洋室1・洋室2) 1/60 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-22 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 睨 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第123-2054号 一級建築士大倉建設業263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

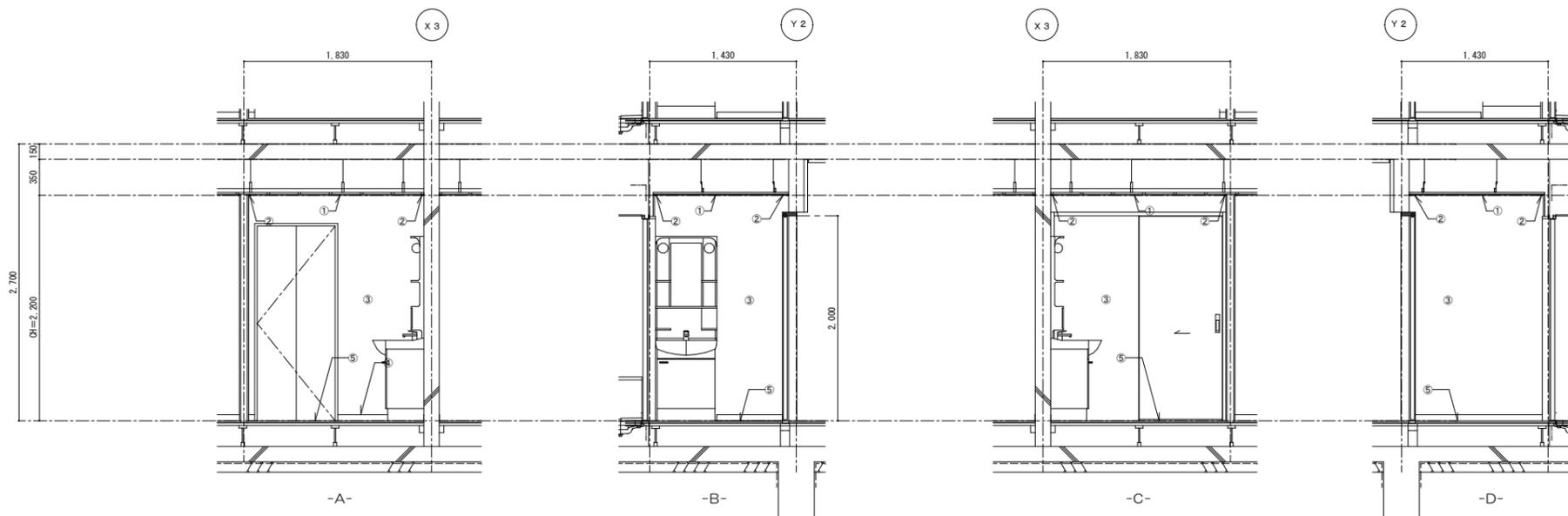


| 洋室 仕上表 | |
|--------|----------------------|
| ① | コンクリート打放補修 様層造材 (小粒) |
| ② | 木製CL 9×30 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15×60 木製CL仕上 |
| ⑤ | 7)12 横合フローリング |

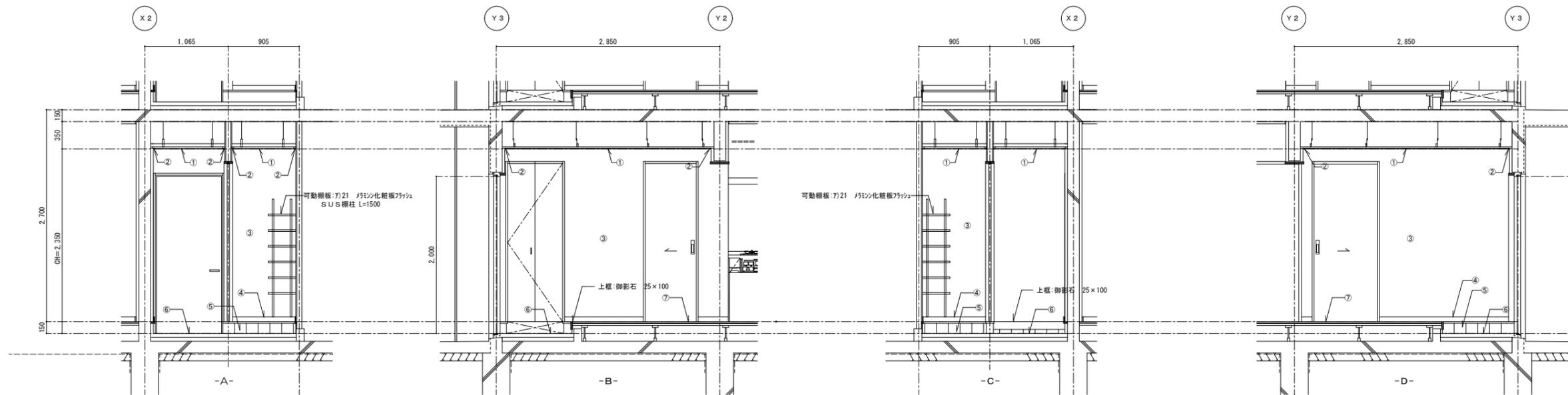


| WC 仕上表 | |
|--------|-----------------------|
| ① | 7)6 ケイカル板 EP-G |
| ② | 塩ビ見切縁 |
| ③ | 7)12.5 耐水石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | H=60 ソフト巾木 |
| ⑤ | 7)2.5 ビニル床シート貼り |

| | | | |
|------|------------------------|--|-----------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 展開図 3 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1階 (洋室3.WC) 1/60 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-23 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第123-2005号 一級建築士大粒登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

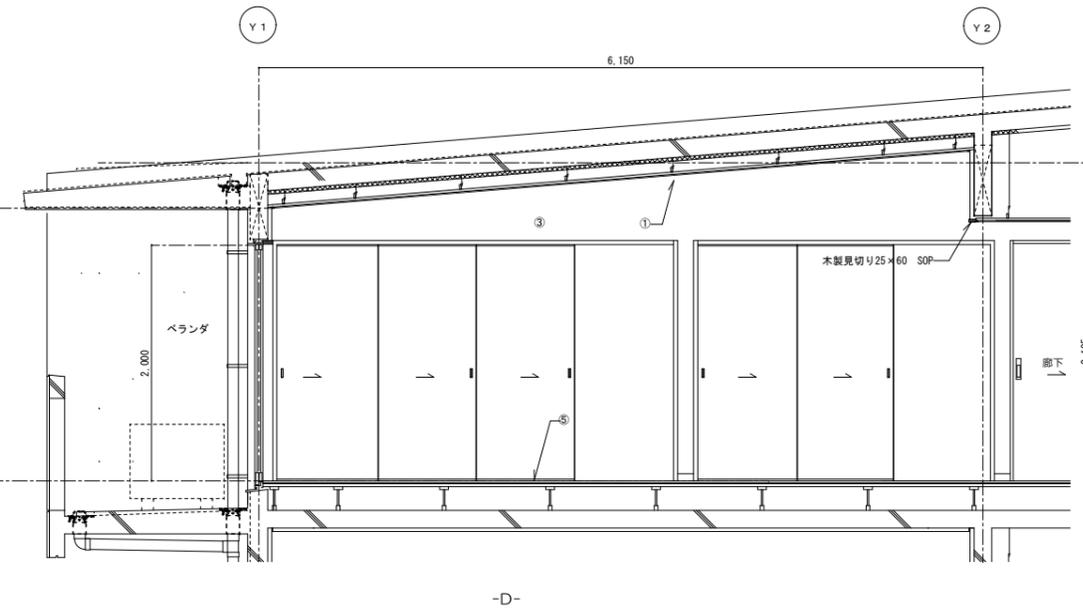
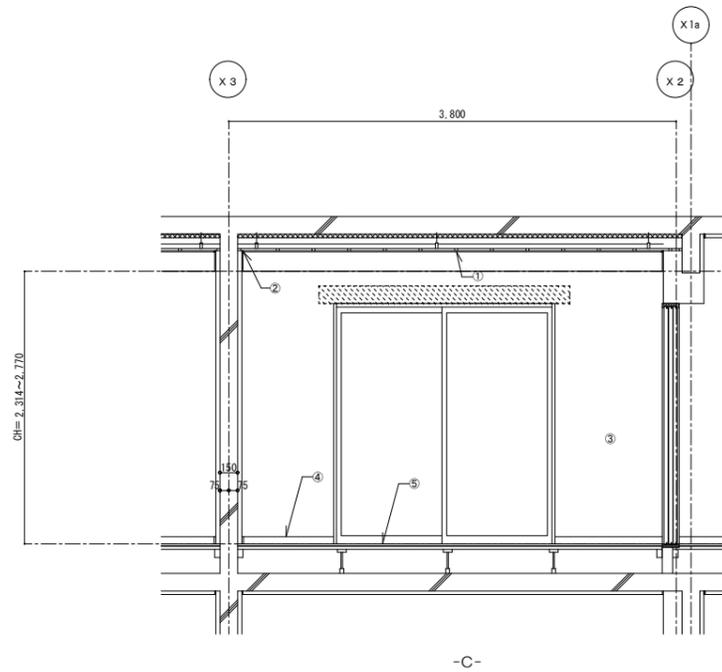
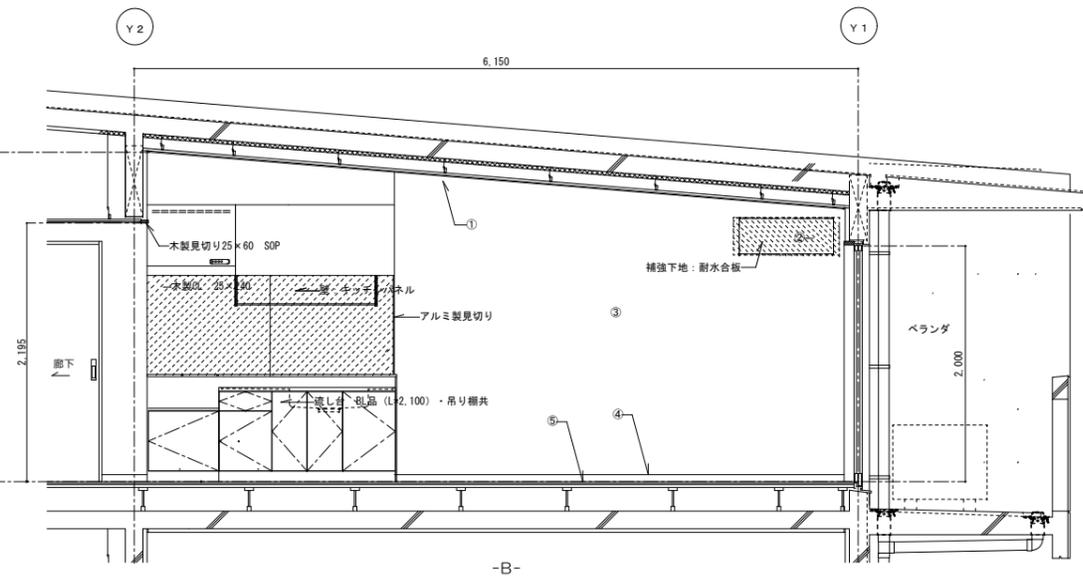
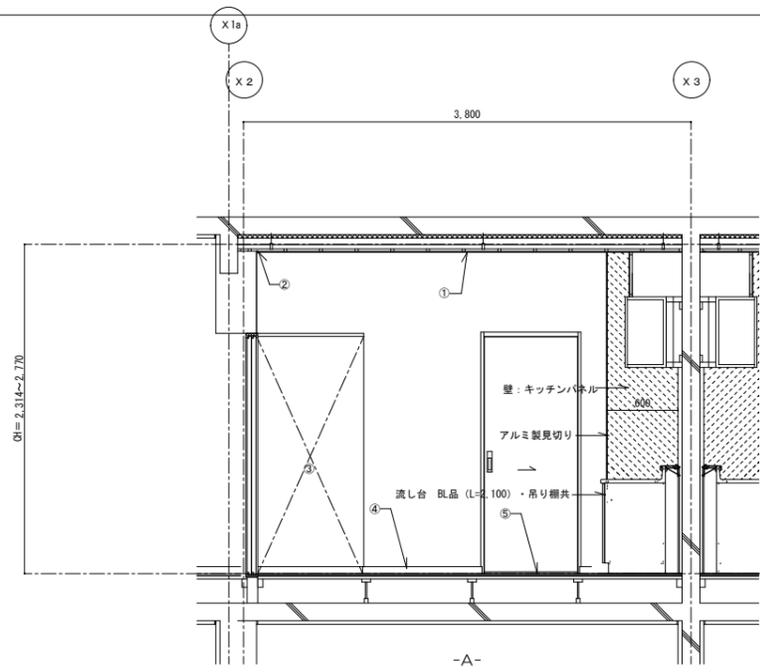


| 洗面脱衣室 仕上表 | |
|-----------|------------------|
| ① | 7)6 ケイカル板 EP-G |
| ② | 塩ビ見切縁 |
| ③ | コンクリート打放補修 EP-G |
| ④ | H=60 ソフト巾木 |
| ⑤ | 7)2.5 ビニール床シート貼り |



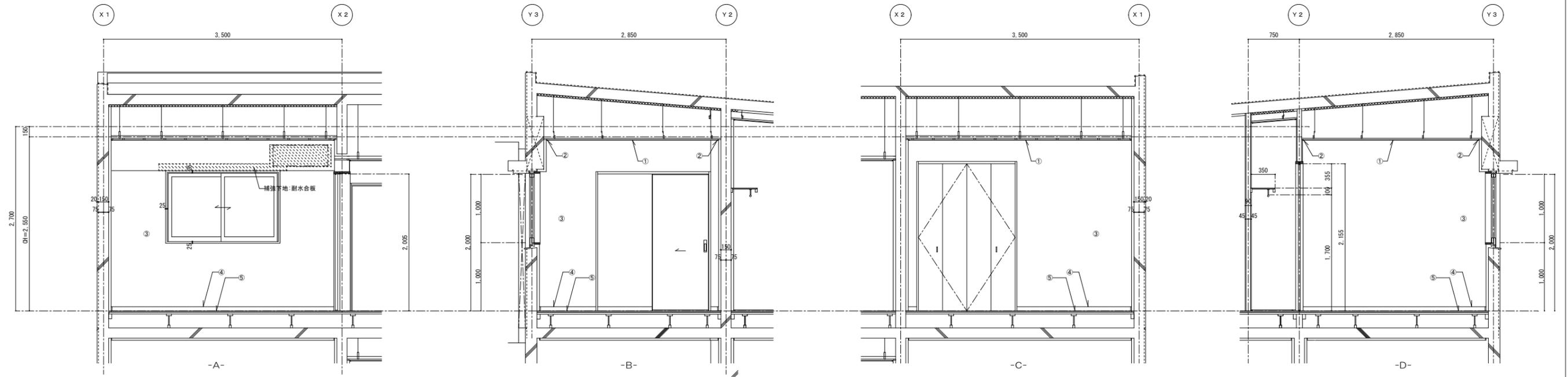
| 玄関・ホール 仕上表 | |
|------------|---------------------|
| ① | 7)9.5 化粧石膏ボード |
| ② | 塩ビ見切縁 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15x60木製 CL |
| ⑤ | 150角陶器質タイル貼り |
| ⑥ | 150角磁器質タイル貼り |
| ⑦ | 7)12 複合フローリング |

| | | | |
|------|----------------------|--|-------------------------|
| 工事名称 | (仮称)粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 展開図4 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1階(脱衣室 玄関1/60 (A3) ホール) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-24 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 聯 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2094号 一級建築士大倉豊雄 263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

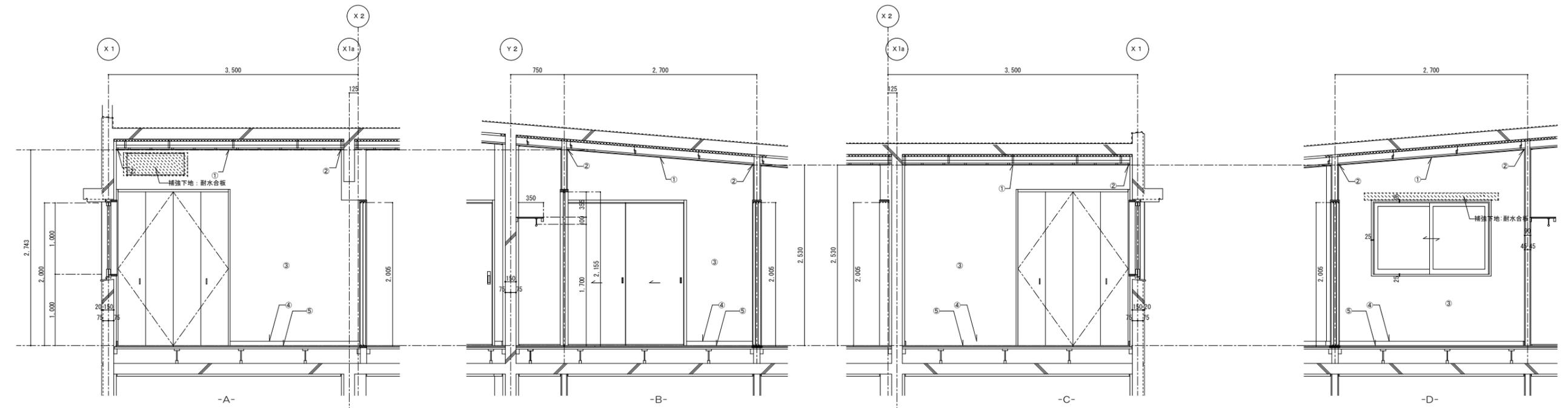


| LDK 仕上表 | |
|---------|---------------------|
| ① | 7)9.5張り化粧石膏ボード |
| ② | 塩ビ見切縁 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15x60 木製CL仕上 |
| ⑤ | 7)12 複合フローリング |

| | | | |
|------|----------------------|--|-------------------|
| 工事名称 | (仮称)粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 展開図5 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 2階(LDK) 1/60 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-25 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2094号 一級建築士大倉登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

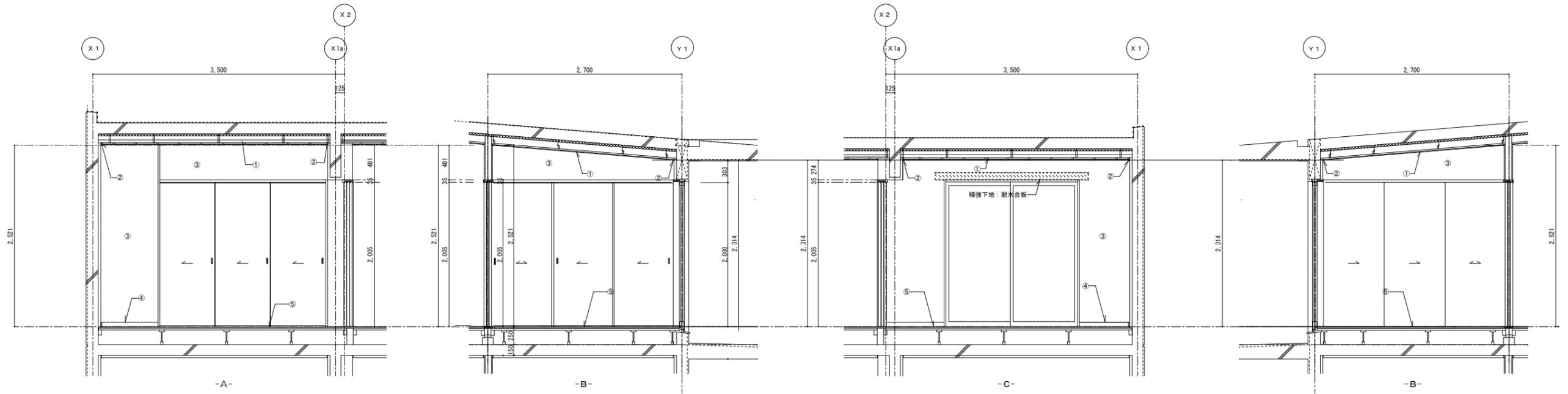


| 洋室1 仕上表 | |
|---------|--------------------|
| ① | 7)9.5張り化粧石膏ボード |
| ② | 塩ビ見切り縁 |
| ③ | 7)12.5石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15×60 木製C/L仕上 |
| ⑤ | 7)12 横合フローリング |

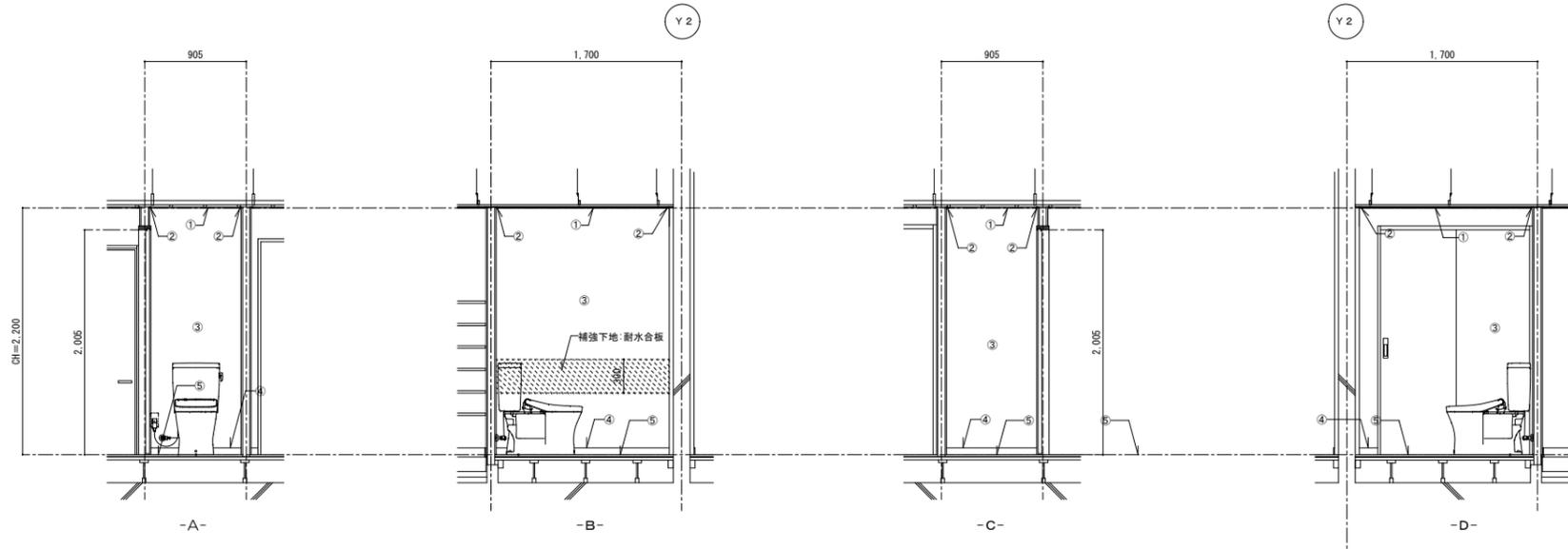


| 洋室2 仕上表 | |
|---------|--------------------|
| ① | 7)9.5張り化粧石膏ボード |
| ② | 塩ビ見切り縁 |
| ③ | 7)12.5石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | H=60 木製C/L仕上 |
| ⑤ | 7)12 横合フローリング |

| | | | |
|------|-----------------------|---|-----------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 展開図6 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 2階(洋室1・洋室2) 1/60 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-26 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 睨 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第123-2095号 一級建築士大倉登録第26241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

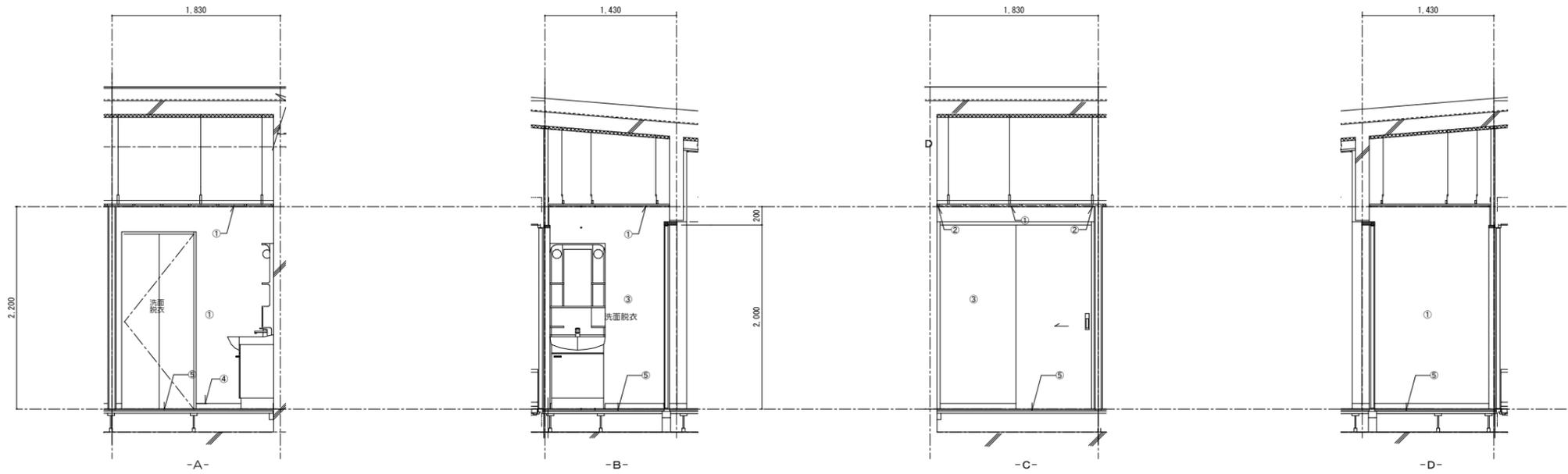


| 洋室3 仕上表 | |
|---------|---------------------|
| ① | 7)9.5張り化粧石膏ボード |
| ② | 塩ビ見切り縁 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15×60 木製C/L仕上 |
| ⑤ | 7)12 複合フローリング |

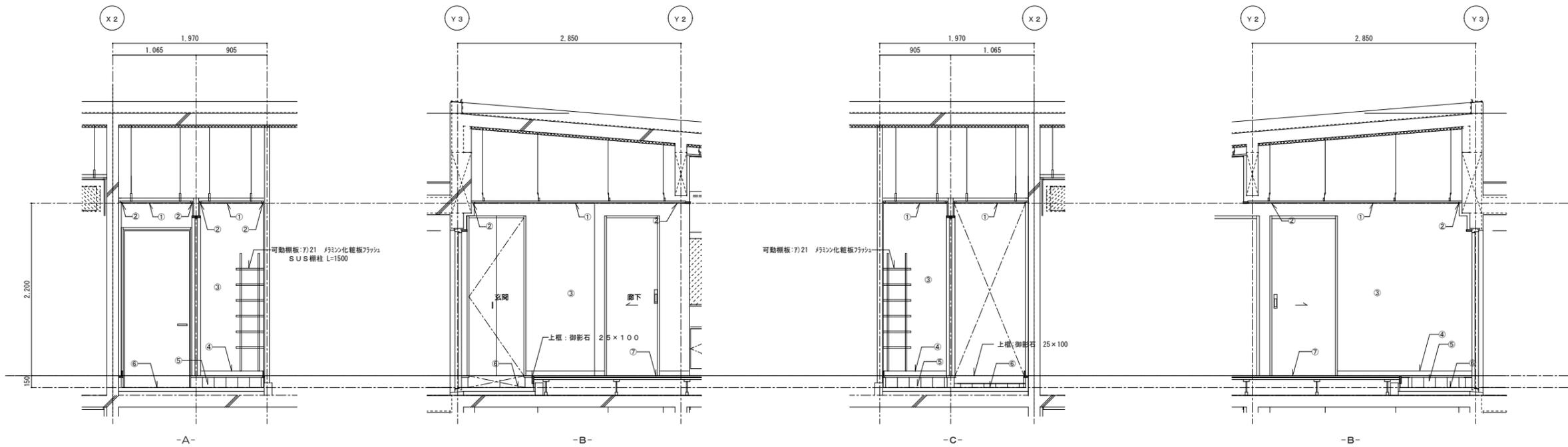


| WC 仕上表 | |
|--------|-----------------------|
| ① | 7)6 ケイカル板 EP-G |
| ② | 塩ビ見切り縁 |
| ③ | 7)12.5 耐水石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | H=60 ソフト巾木 |
| ⑤ | 7)2.5 ビニル床シート貼り |

| | | | |
|------|------------------------|--|-----------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 展開図7 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 2階 (洋室3.WC) 1/60 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-27 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉豊 登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

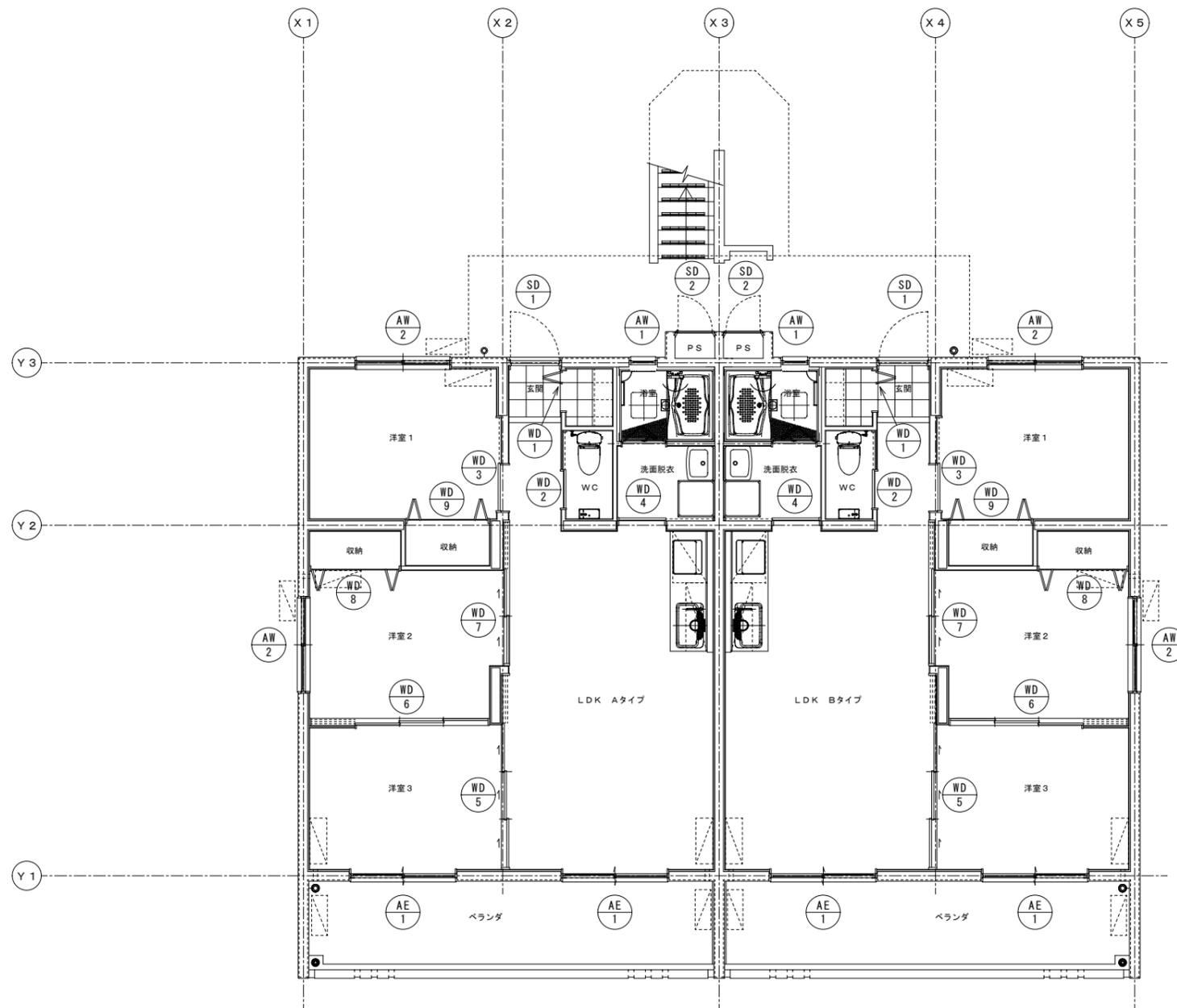


| 洗面脱衣室 仕上表 | |
|-----------|------------------|
| ① | 7)6 ケイカル板 EP-G |
| ② | 塩ビ 見切縁 |
| ③ | コンクリート打放補修 EP-G |
| ④ | H=60 ソフト巾木 |
| ⑤ | 7)2.5 ビニール床シート貼り |



| 玄関・ホール 仕上表 | |
|------------|---------------------|
| ① | 7)9.5 化粧石膏ボード |
| ② | 塩ビ見切縁 |
| ③ | 7)12.5 石膏ボード ビニルクロス |
| ④ | 15×60木製 CL |
| ⑤ | 150角陶器質タイル貼り |
| ⑥ | 150角磁器質タイル貼り |
| ⑦ | 7)12 複合フローリング |

| | | | |
|------|-----------------------|--|-------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 展開図B 1/30 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 2階(脱衣室 玄関1/60 (A3) ホール) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-28 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 藤合 隆文 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | — 建築士事務所 (13) 第 123-2054号 — 建築士大会登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 1・2階 1/50 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 建具キープラン 1/100 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-29 |
| 検印者 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大格登録第263241号 | |
| | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | |

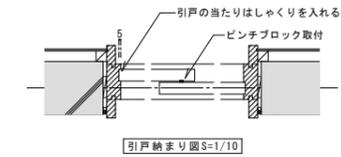
※特記事項：クレセント等の開放装置は床より80cmから180cm未満に設置

| 符号・室名 | SD 1 玄関 | 1F 2 4カ所 2F 2 | SD 2 PS | 1F 2 4カ所 2F 2 | AW 1 浴室 (UB) | 1F 2 4カ所 2F 2 | AW 2 洋室1、洋室2 | 1F 4 8カ所 2F 4 | AE 1 LDK、洋室3 | 1F 4 8カ所 2F 4 |
|-------|---|------------------|---------------------------------------|------------------|----------------|------------------|-------------------------------|------------------|------------------------------|------------------|
| 姿 図 法 | | | | | | | | | | |
| 形式見込 | ステンレス製片開きフラッシュ戸 | 75 | ステンレス製片開きフラッシュ戸 | 70 | アルミ製外倒し窓 | 70 | アルミ製引違い窓 | 70 | アルミ製引違い窓 | 70 |
| 仕 上 | 室外：ステンレス化粧鋼板、室内：化粧鋼板 | | ステンレス焼付塗装 (扉・枠共) | | アルマイト処理 (シルバー) | | アルマイト処理 (シルバー) | | アルマイト処理 (シルバー) | |
| ガラス | — | | — | | ア) 6mmスリガラス | | ア) 5mmフロートガラス | | ア) 5mmフロートガラス | |
| 建具金物 | レバーハンドル錠 ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 | | ケースハンドル ワイヤー式あおり止め、軸吊ヒンジ 付属金物一式 | | フック棒 付属金物一式 | | クレセント 付属金物一式 | | クレセント 付属金物一式 | |
| 備考 | LIXIL クレージュ QRF-10同等品以上 | | | | 片開き網戸、アルミ水切り | | 可動網戸、面格子、アルミ水切り・カーテンレール (ダブル) | | 可動網戸、雨戸、アルミ水切り・カーテンレール (ダブル) | |

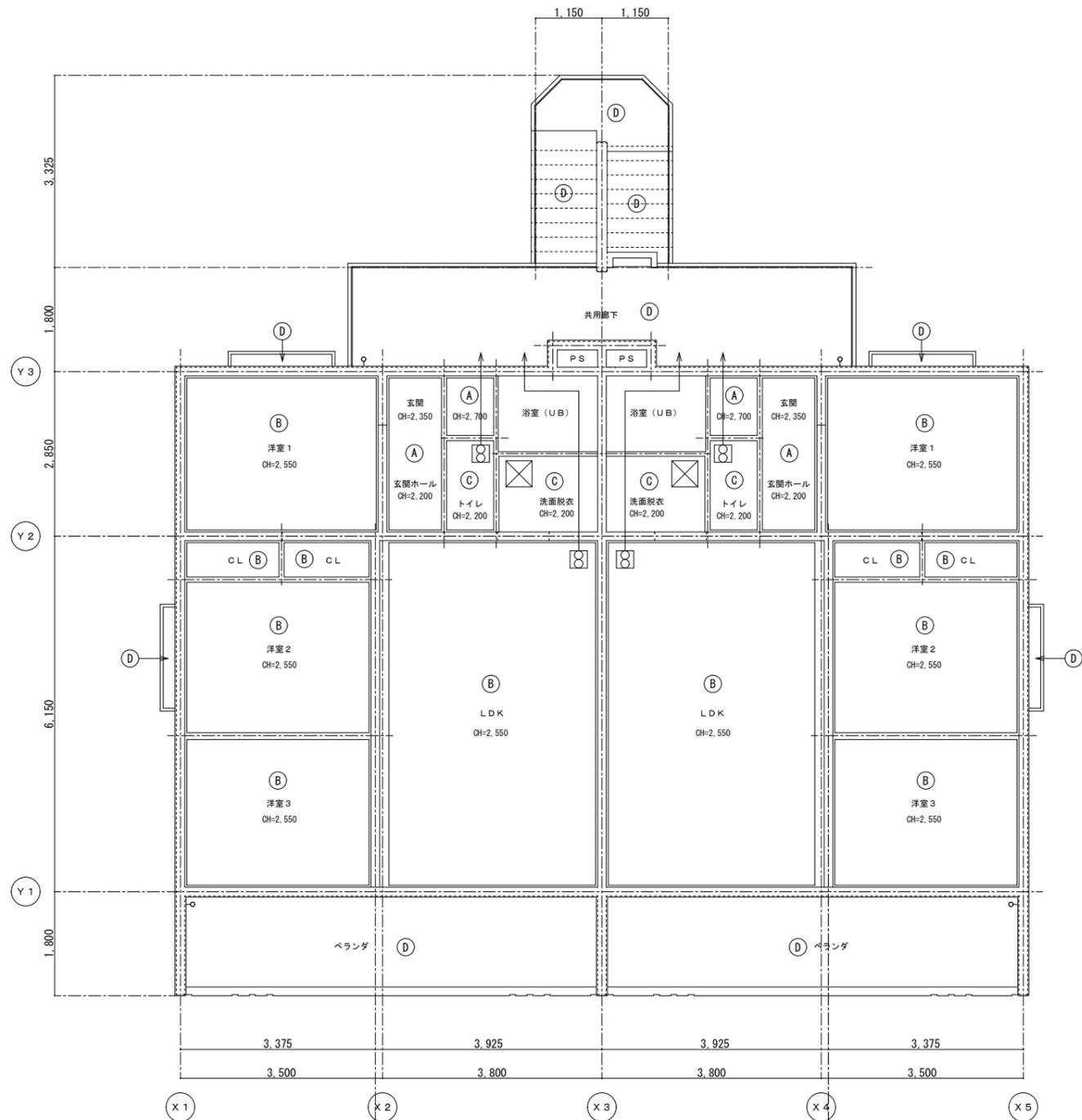
- 金属製建具 特記事項
1. 本建具表の寸法は、全て基準を示す。施工に關しては現場寸法を正確にだして施工図を提出の上、係員の承認を得た後に施工を施すこと。ガラス厚については、風圧計算の再確認を行うこと。
 2. サッシアンカーは400ピッチ以内とする。
 3. 金物は表示製品又は同等品以上とする。
 4. スクリーン戸はグラスファイバー製とする。
 5. サッシ廻りは周囲10×10コーキング充填とする。
 6. ガラス押さえはシリコンとする。
 7. アルミアングル15×15付きとする。
 8. 本建具表の裏面は内観図を基本とする。
 9. 突出し縁窓の開放角度は45°以上とする。
 10. H=1,200以上の引違い戸、引違い窓のクレセントは、1カ所あたり2個とする。
 11. 以上の他に疑義のある場合は係員との打合せを綿密に行い決定すること。
 - 12.

| 符号・室名 | WD 1 玄関 | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 2 トイレ | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 3 洋室1 | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 4 洗面脱衣 | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 5 洋室3 | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 6 洋室2 | 1F 2 4カ所 2F 2 |
|-------|------------------------------|------------------|---|------------------|---|------------------|---|------------------|---|------------------|---|------------------|
| 姿 図 法 | | | | | | | | | | | | |
| 形式見込 | 木製フラッシュ片開き折れ戸 | 36 | 木製片引きフラッシュ戸 | 36 | 木製片引きフラッシュ戸 | 36 | 木製片引きフラッシュ戸 | 36 | 木製3枚引きフラッシュ戸 | 36 | 木製3枚引きフラッシュ戸 | 36 |
| 仕 上 | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | |
| ガラス | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| 建具金物 | 上吊金物、彫込レール 引手金物 付属金物一式 | | 上吊式引戸金物 (ソフトクローズ)、彫込レール 戸当り、引手金物、ステンレス鎌錠 (表示錠) 付属金物一式 | | 上吊式引戸金物 (ソフトクローズ)、彫込レール 戸当り、引手金物、ステンレス鎌錠 付属金物一式 | | 上吊式引戸金物 (ソフトクローズ)、彫込レール 戸当り、引手金物、ステンレス鎌錠 付属金物一式 | | ステンレス戸車、ステンレスVレール ピンチブロック、戸当り、引手金物 付属金物一式 | | ステンレス戸車、ステンレスVレール ピンチブロック、戸当り、引手金物 付属金物一式 | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | |

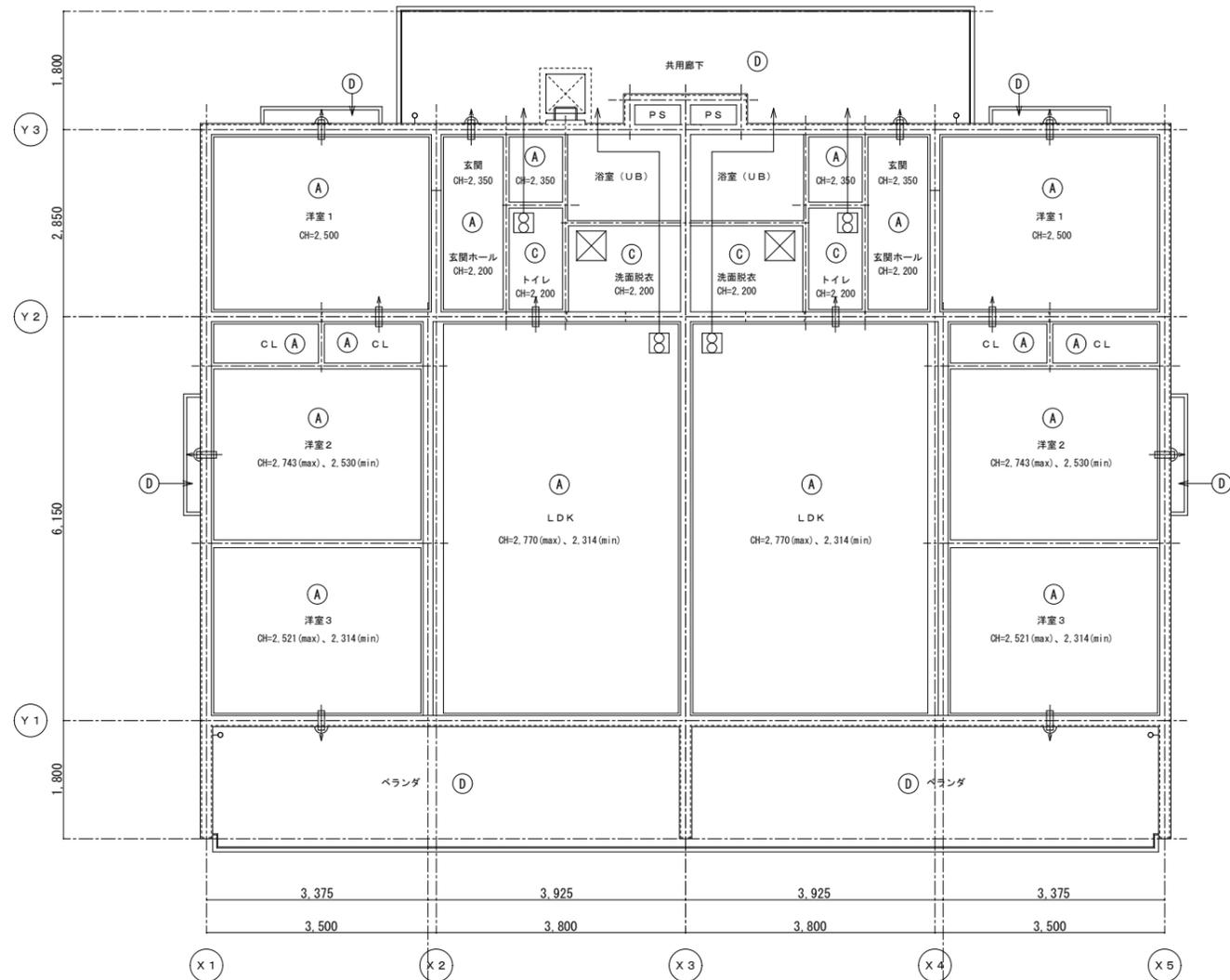
| 符号・室名 | WD 7 洋室2 | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 8 洋室2 | 1F 2 4カ所 2F 2 | WD 9 洋室1 | 1F 2 4カ所 2F 2 |
|-------|---|------------------|------------------------------|------------------|------------------------------|------------------|
| 姿 図 法 | | | | | | |
| 形式見込 | 木製2枚引きフラッシュ戸 | 36 | 木製フラッシュ両開き折れ戸 | 36 | 木製フラッシュ両開き折れ戸 | 36 |
| 仕 上 | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | | 銘木合板 C L 塗装 | |
| ガラス | — | | — | | — | |
| 建具金物 | ステンレス戸車、ステンレスVレール ピンチブロック、戸当り、引手金物 付属金物一式 | | 上吊金物、彫込レール 引手金物 付属金物一式 | | 上吊金物、彫込レール 引手金物 付属金物一式 | |
| 備考 | | | | | | |



| | | | |
|------|------------------------|-------|--|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 金属製建具表 1/50 (A1) 木製建具表 1/100 (A3) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 図面番号 | A-30 |
| 摘要 | 管理建築士 設計 製図 | 名称 | 栗 建築設計同人 匠才庵 |
| 検 印 | | 資格者氏名 | 落合 隆文 |
| | | 登録番号 | — (建築士事務所) (30番) 登録第124-2054号 — (建築士大会登録) 第26241号 |
| | | 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 |



1階天井伏図 S=1/50



2階天井伏図 S=1/50

| 凡例 | |
|--|-------------------------------|
| (A) 下地: LGS 19型 仕上: 化粧石膏ボード t=9.5張り | 天井点検口 450×450 ※設置場所は現場にて調整 |
| (B) 下地: コンクリート打放補修 仕上: 複層塗装 (小粒) | 天井通気口 φ75 ※設置場所は現場にて調整 |
| (C) 下地: LGS 19型 仕上: ケイカル板 t=6 EP-G | ステンレスフード φ75 防虫網付き |
| (D) コンクリート打放し補修の上、EP-G | 換気扇 ※ルートは現場にて調整 |

| | | | |
|------|------------------------|---|--------------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 縮尺 | 各階天井伏図 1/50 (A1) 1/100 (A3) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 図面番号 | A-31 |
| 摘要 | 管理建築士 設計 製図 | | |
| 検印 | 名称 | 榑 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (特選) 登録第125-3095号 一級建築士大臣登録第243241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

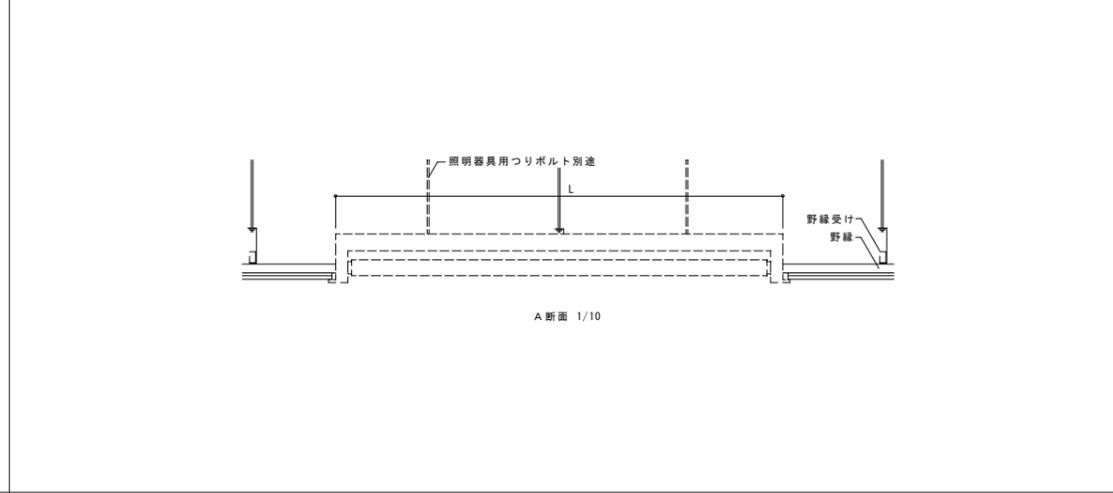
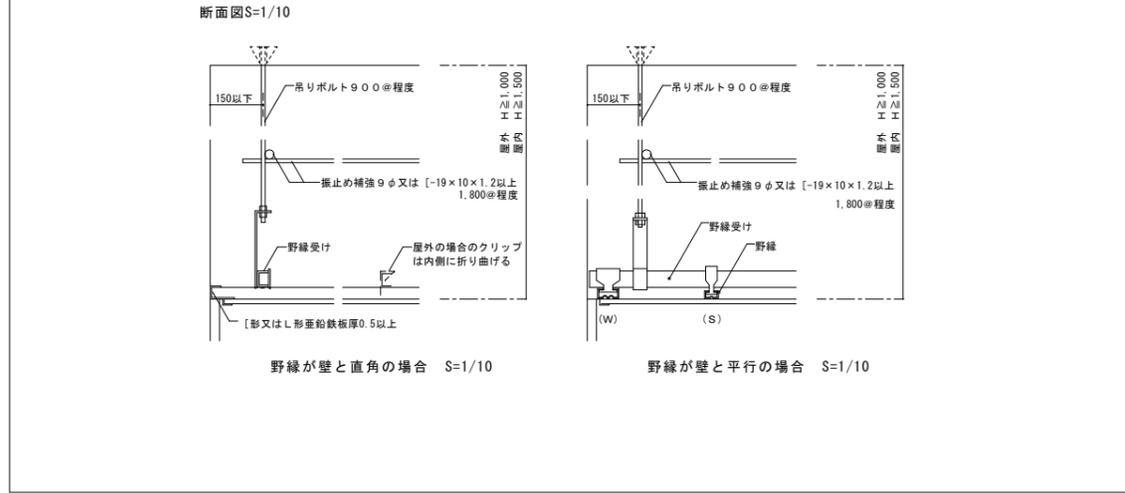
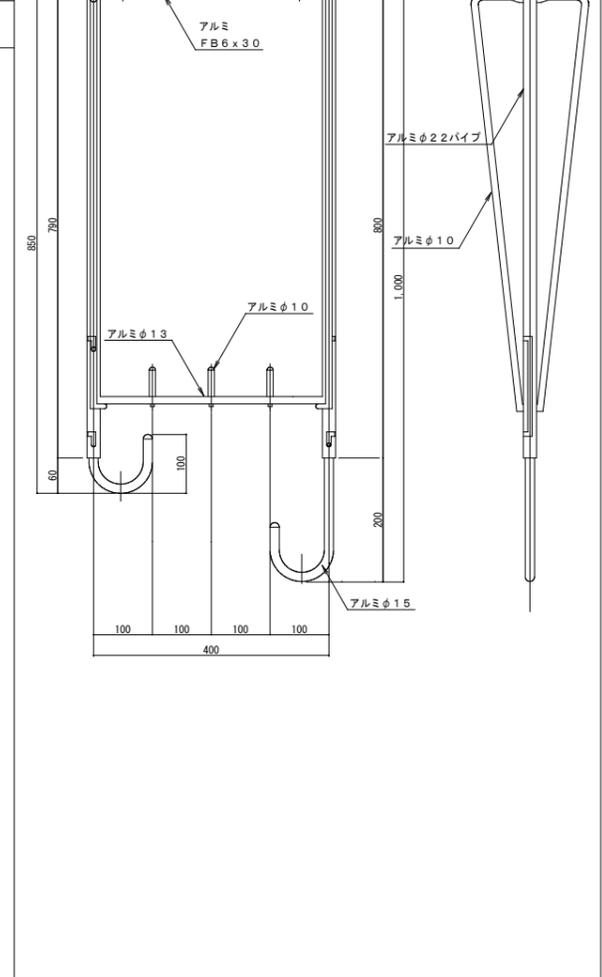
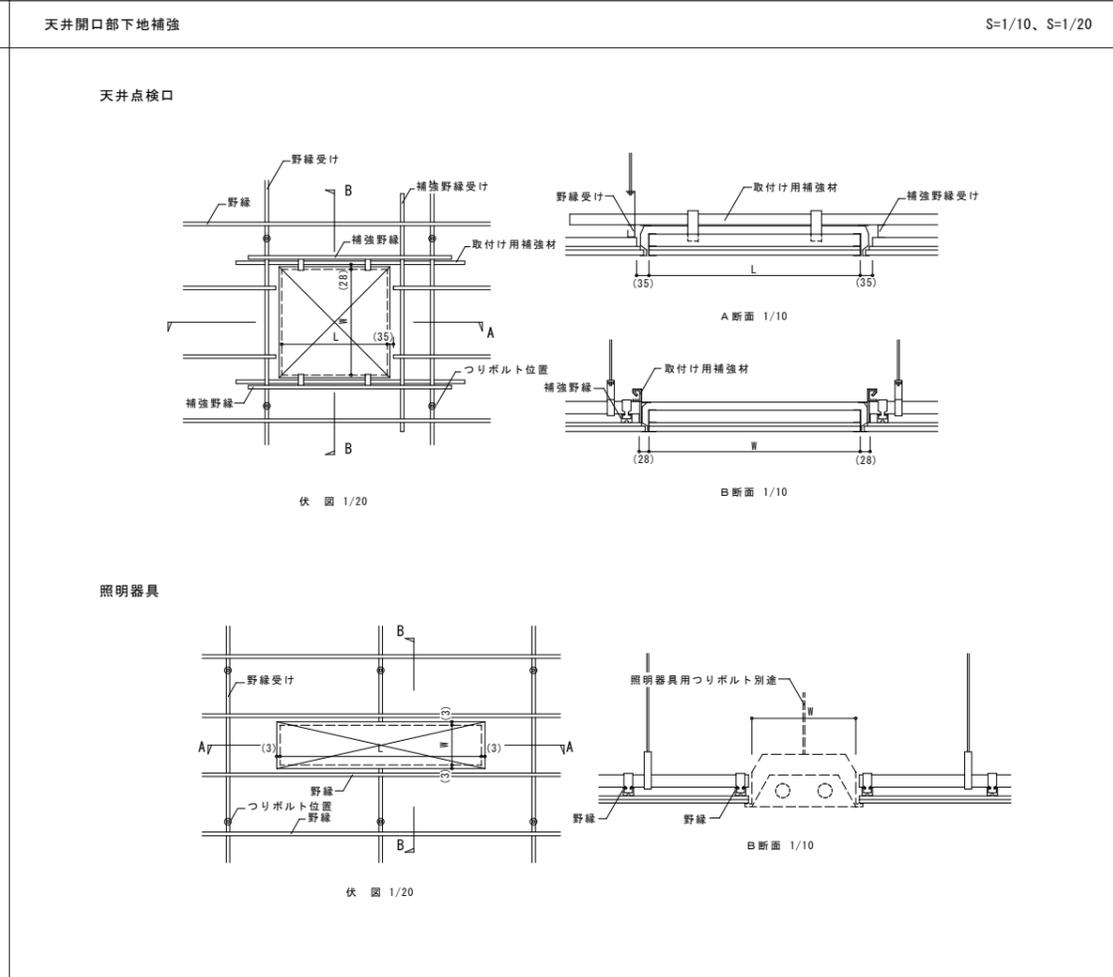
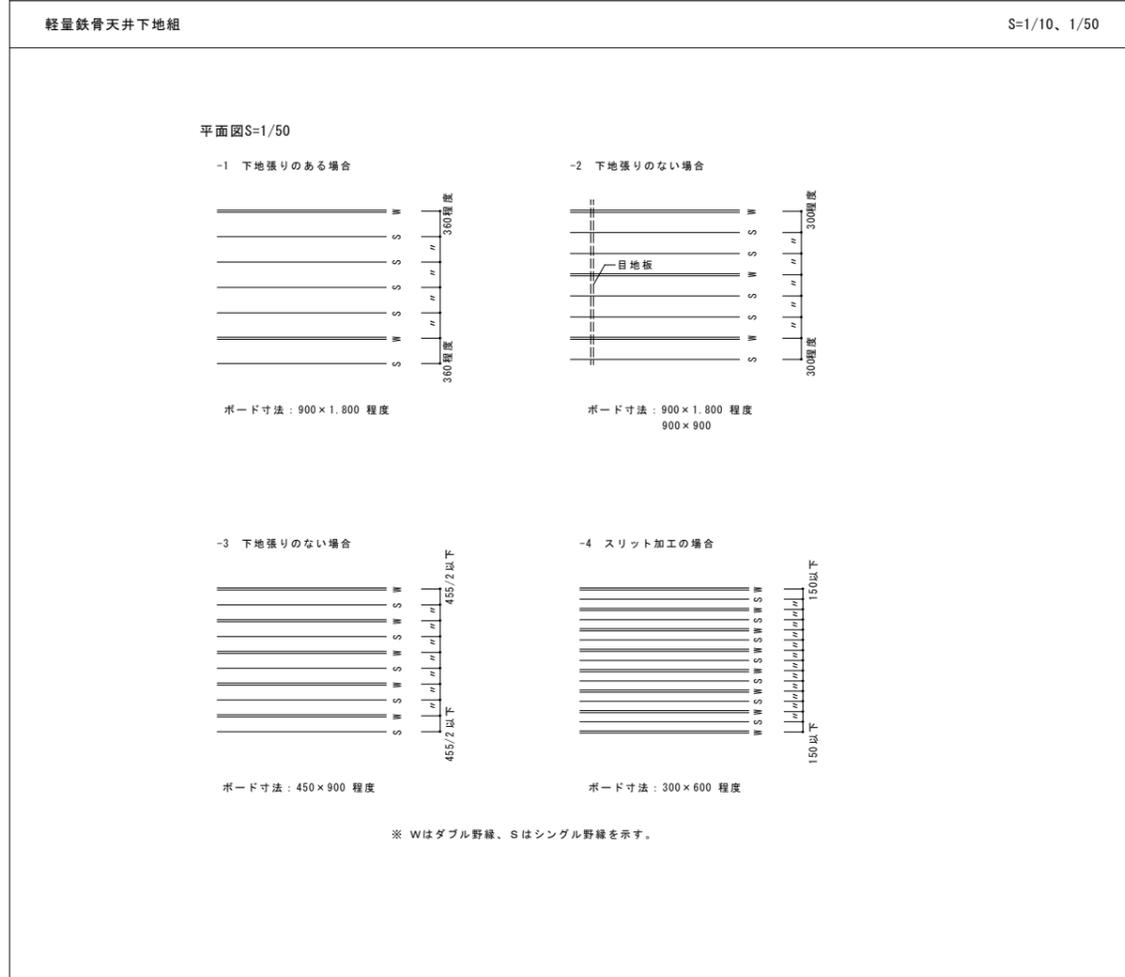
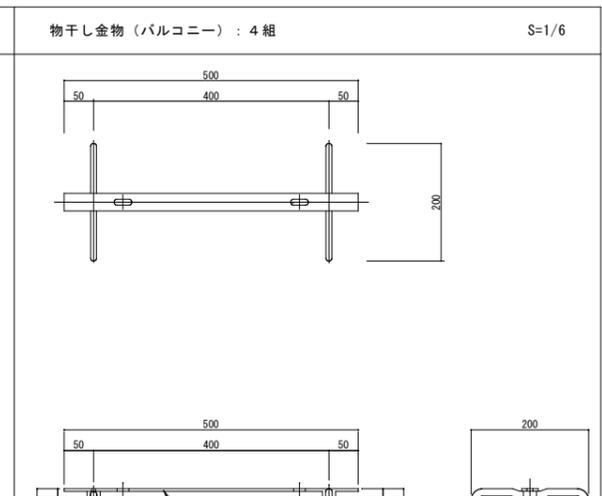
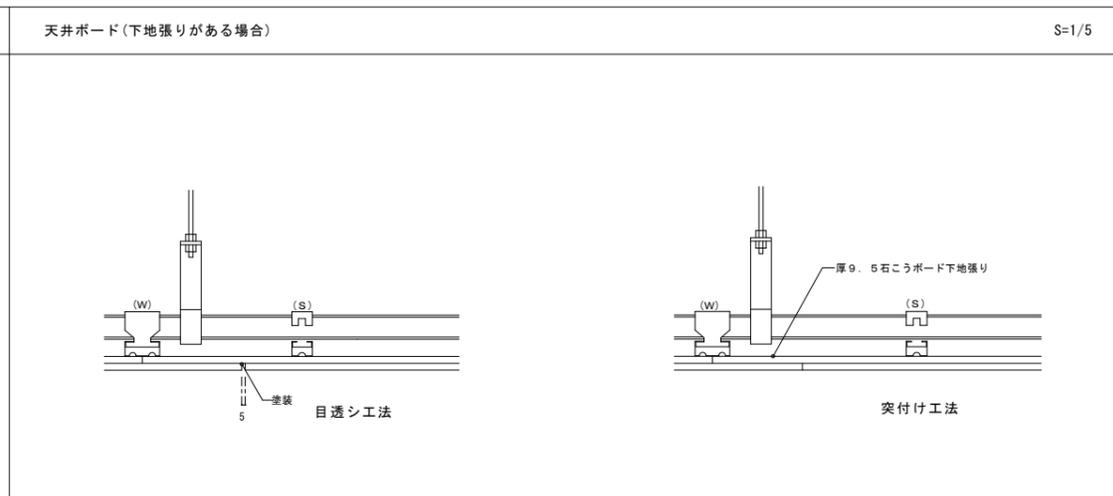
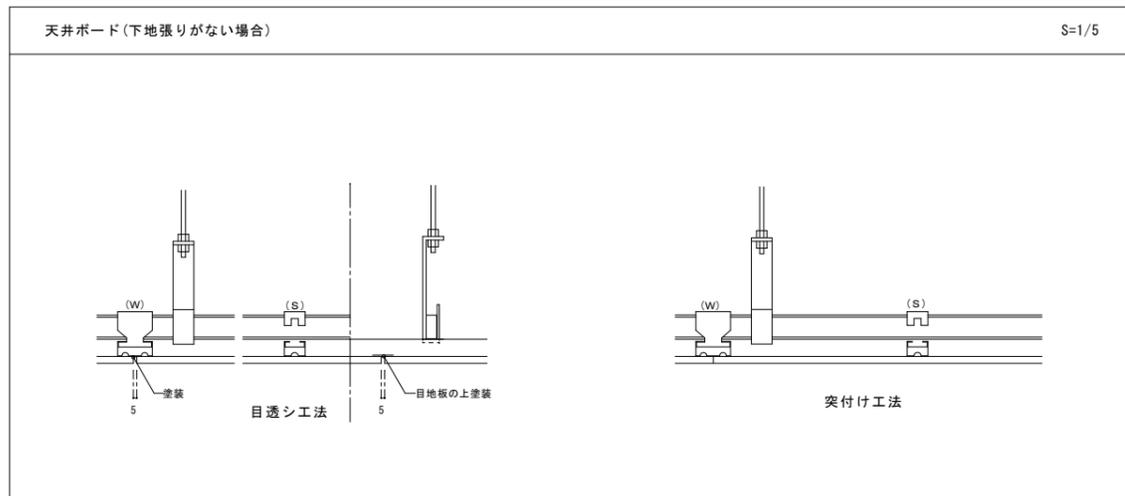
| | | | | |
|---------------|--|-------------------------|--|--------------|
| 各床仕上 | | S=1/5 | | |
| | | | | |
| 床/コンクリート直均し仕上 | | 床/コンクリート直均し仕上 洗い出し仕上 | | 床/磁器質タイル張り仕上 |
| | | 各床仕上(t) コンクリート金ゴテ | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------|-----------|-------|------|-------|------|-------|--------------|-------|
| 内柱・外柱・外梁・外壁等コー面木 | S=1/2 | 打継目地、誘発目地 | S=1/2 | 化粧目地 | S=1/2 | 水切目地 | S=1/2 | 洗い出しコンクリート目地 | S=1/2 |
| 面取り(基準SL、土間FLより H=2,000まで) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|-------|------------------|-------|--------------------------|-------|
| ビニル幅木 | S=1/5 | 木製幅木 | S=1/5 | 天井仕上、廻り縁納まり | S=1/5 |
| | | | | | |
| 壁/コンクリート打放し補修の上EP-G塗り | | 壁/ケイカル板 t=6 EP-G | | 壁/耐水石膏ボード t=12.5 ビニールクロス | |
| R押さえ | | R押さえ | | 幅木/メラビ材 CL仕上 | |
| 床/各床仕上げ | | 床/各床仕上げ | | 床/各床仕上げ | |
| ユニット床組 | | ユニット床組 | | ユニット床組 | |
| | | | | 補修下地の上複数塗材(小粒) | |
| | | | | 廻り縁/メラビ材 CL仕上 | |
| | | | | コンクリート塗装仕上 | |
| | | | | 軽量鉄骨天井下地組 | |
| | | | | 廻り縁/目透かしタイプ | |
| | | | | 仕上/9化粧石膏ボード | |
| | | | | 塩ビ製廻り縁納まり | |

| | | | |
|---------|-------|--------------------|--------|
| ルーフトレイン | S=1/5 | 収納枕断面図 | S=1/10 |
| | | | |
| ルーフトレイン | | 中継ドレイン(φ100用) | |
| 排水管(VP) | | 縦樋: φ100VP | |
| | | ラワン合板 12.5 | |
| | | メラビ CL 45x60 | |
| | | メラビ CL 45x45@450以下 | |
| | | ハンガーパイプ | |
| | | メラビ CL 45x60 | |

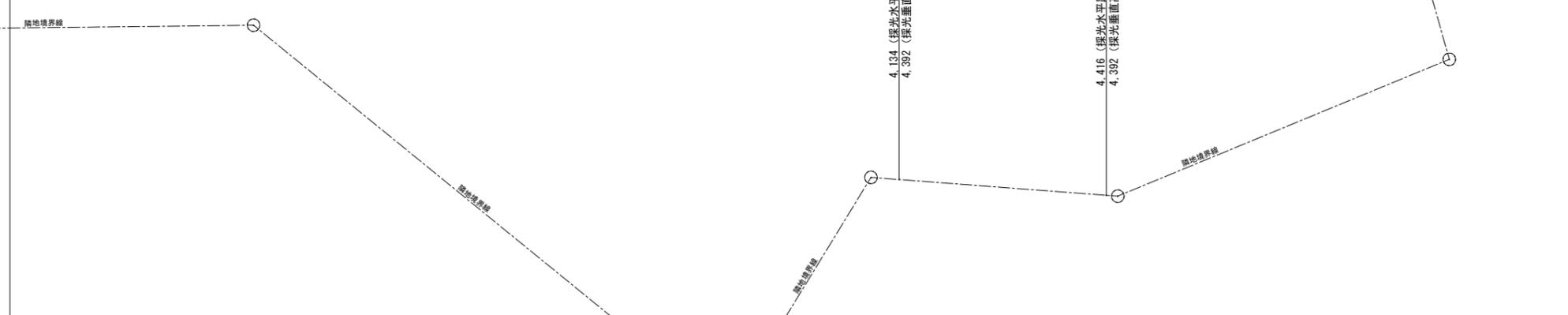
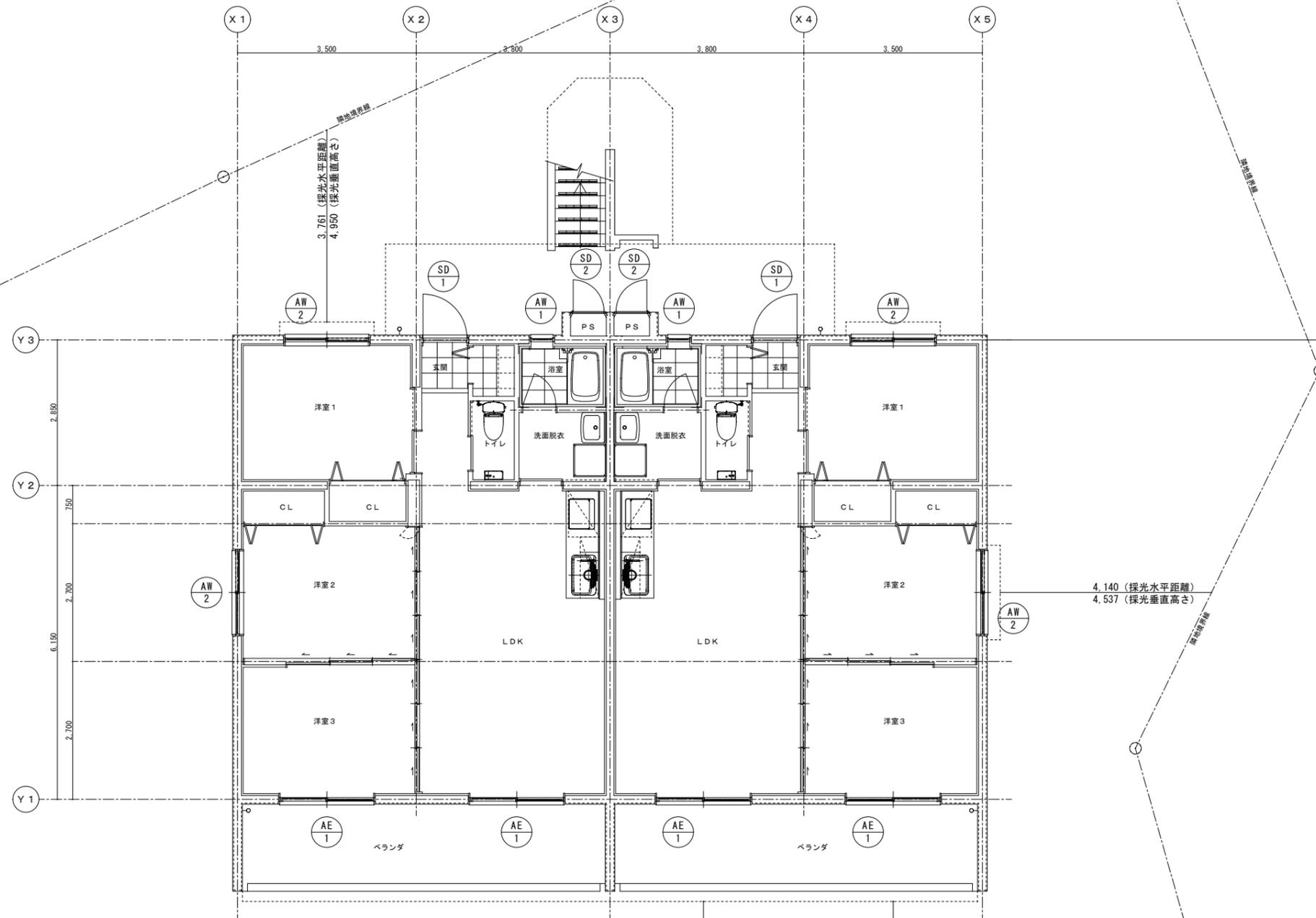
| | | | |
|------|----------------------|---|------------|
| 工事名称 | (仮称)粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 雑詳細図1 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-32 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所(30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

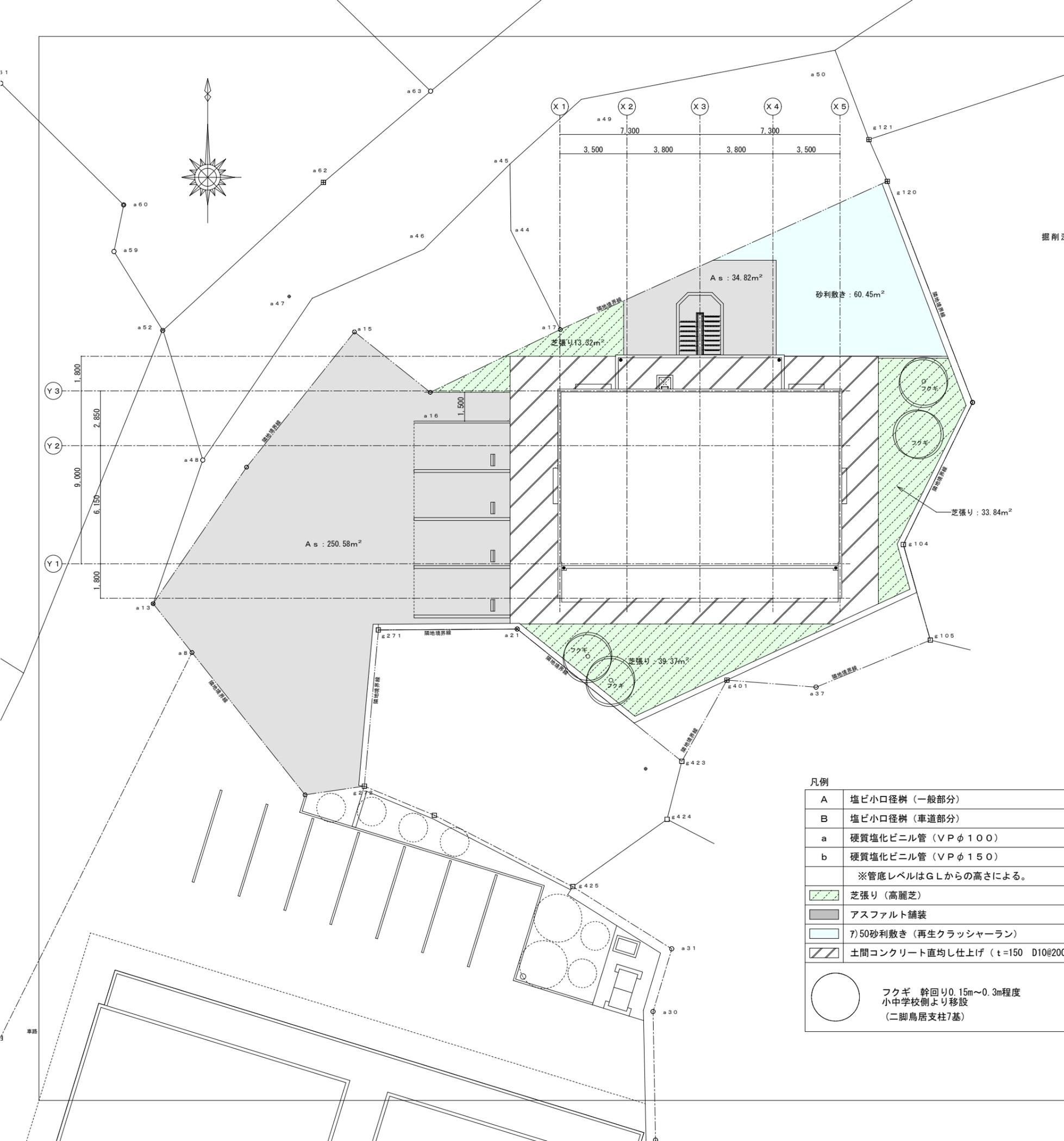


| | | | |
|------|-----------------------|---|------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事(南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地(外1筆) | 図面名称 | 雑詳細図2 (A1) |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-33 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 藤井 隆文 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所(30番) 登録第124-2095号 一級建築士大会登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

| 法規チェック表 | | |
|---------|----------------------|--|
| 洋室 1 | 3.500 × 2.850 | = 9.98 |
| 採光 | 補正係数 | $3.761 \div 4.950 \times 10 - 1.0 = 6.60$ ≒ 3.0 |
| | 採光必要面積 (A/7) | $9.98 \div 7 = 1.42$ |
| | 有効開口面積 | $1.60 \times 1.00 \times 3.0 = 4.80$ |
| 判定 | $1.42 < 4.80$ | OK |
| 換気 | 換気必要面積 (A/20) | $9.98 \div 20 = 0.50$ |
| | 有効開口面積 | $1.60 \times 1.00 \div 2 = 0.80$ |
| 判定 | $0.50 < 0.80$ | OK |
| 排煙 | 建築基準法施行令第126条の2 1項一号 | |
| 洋室 2 | 3.500 × 2.700 | = 9.45 |
| 採光 | 補正係数 | $4.140 \div 4.537 \times 10 - 1.0 = 8.12$ ≒ 3.0 |
| | 採光必要面積 (A/7) | $9.45 \div 7 = 1.35$ |
| | 有効開口面積 | $1.60 \times 1.00 \times 3.0 = 4.80$ |
| 判定 | $1.35 < 4.80$ | OK |
| 換気 | 換気必要面積 (A/20) | $9.45 \div 20 = 0.47$ |
| | 有効開口面積 | $1.60 \times 1.00 \div 2 = 0.80$ |
| 判定 | $0.47 < 0.80$ | OK |
| 排煙 | 建築基準法施行令第126条の2 1項一号 | |
| 洋室 3 | 3.500 × 2.700 | = 9.45 |
| 採光 | 補正係数 | $4.416 \div 4.392 \times 10 - 1.0 = 9.05$ ≒ 3.0 |
| | 採光必要面積 (A/7) | $9.45 \div 7 = 1.35$ |
| | 有効開口面積 | $1.80 \times 2.00 \times 3.0 = 10.80$ |
| 判定 | $1.35 < 10.80$ | OK |
| 換気 | 換気必要面積 (A/20) | $9.45 \div 20 = 0.47$ |
| | 有効開口面積 | $1.80 \times 2.00 \div 2 = 1.80$ |
| 判定 | $0.47 < 1.80$ | OK |
| 排煙 | 建築基準法施行令第126条の2 1項一号 | |
| LDK | 3.800 × 6.150 | = 23.37 |
| 採光 | 補正係数 | $4.134 \div 4.392 \times 10 - 1.0 = 8.41$ ≒ 3.0 |
| | 採光必要面積 (A/7) | $23.37 \div 7 = 3.34$ |
| | 有効開口面積 | $1.80 \times 2.00 \times 3.0 = 10.80$ |
| 判定 | $3.34 < 10.80$ | OK |
| 換気 | 換気必要面積 (A/20) | $23.37 \div 20 = 1.17$ |
| | 有効開口面積 | $1.80 \times 2.00 \div 2 = 1.80$ |
| 判定 | $1.17 < 1.80$ | OK |
| 排煙 | 建築基準法施行令第126条の2 1項一号 | |

| | | | |
|------|------------------------|--|-------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 法規チェック図 1/50 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 1/100 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-34 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 藤井 隆文 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | — 建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 — 建築士大協会登録第26221号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |





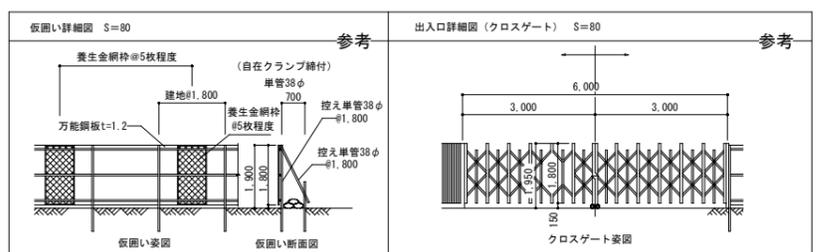
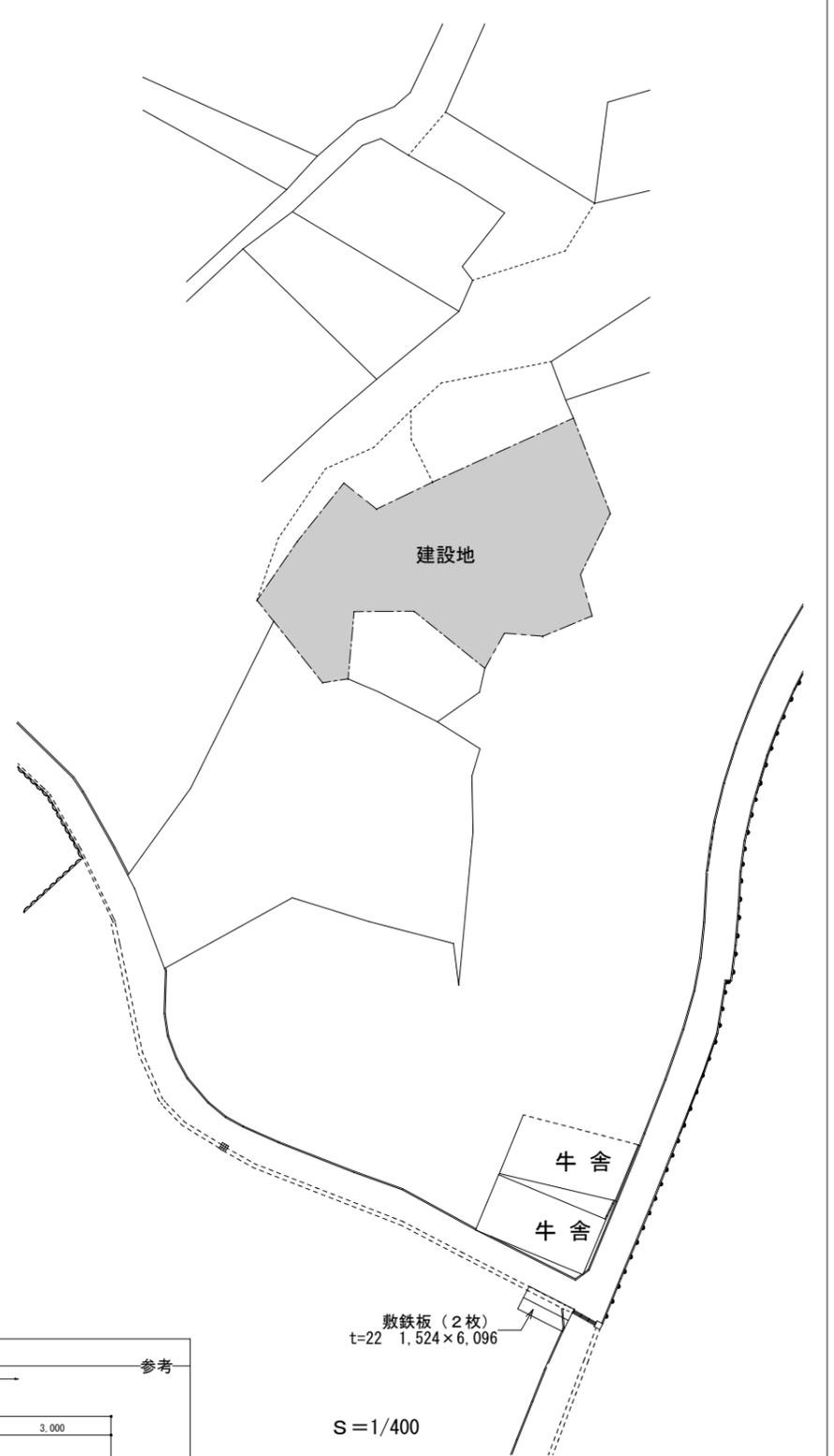
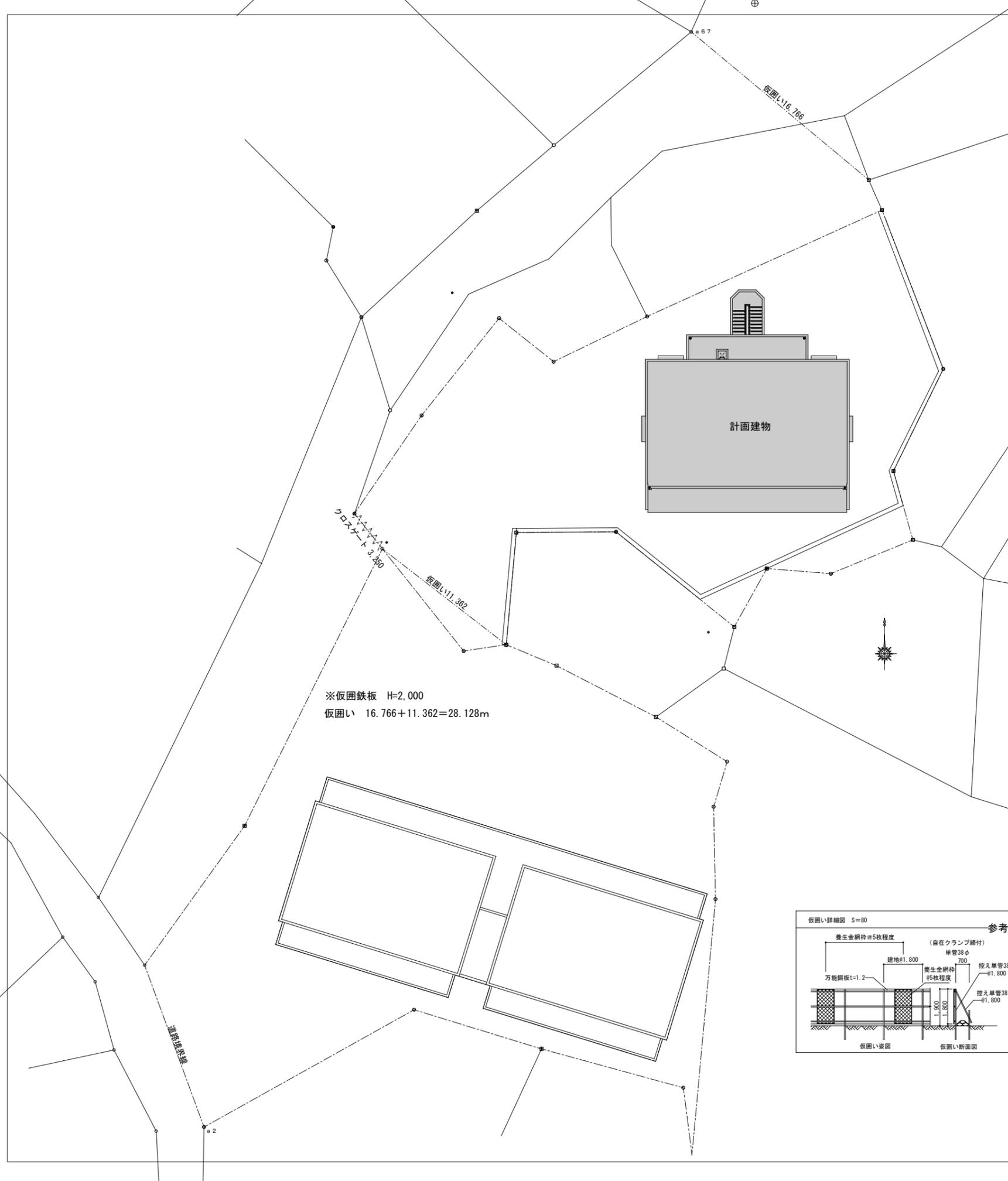
掘削深

凡例

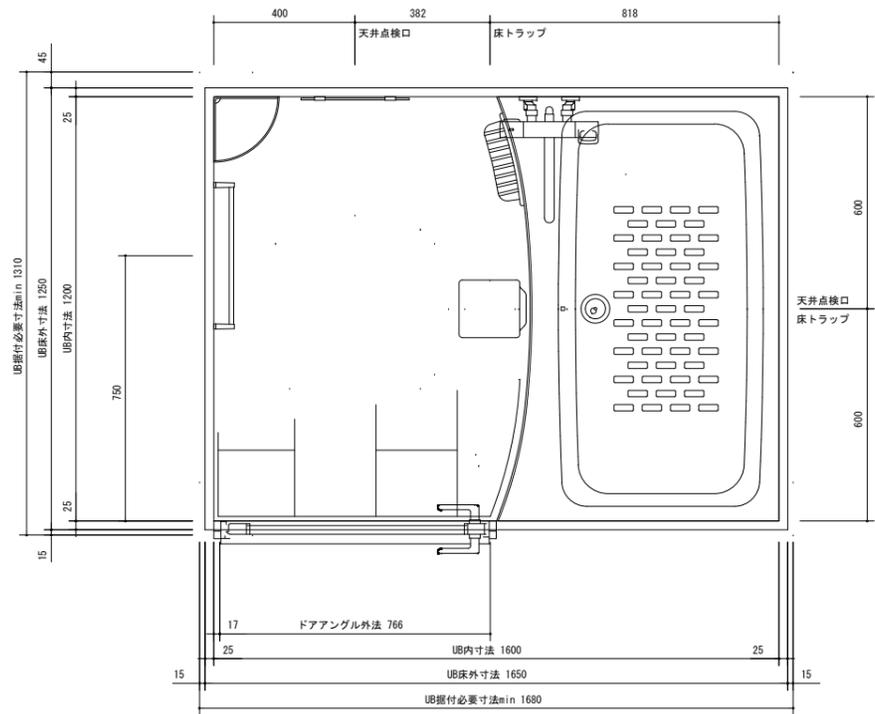
| | |
|--------------------|--|
| A | 塩ビ小口径樹 (一般部分) |
| B | 塩ビ小口径樹 (車道部分) |
| a | 硬質塩化ビニル管 (VPφ100) |
| b | 硬質塩化ビニル管 (VPφ150) |
| ※管底レベルはGLからの高さによる。 | |
| | 芝張り (高麗芝) |
| | アスファルト舗装 |
| | 7)50砂利敷き (再生クラッシャーラン) |
| | 土間コンクリート直均し仕上げ (t=150 D10@200シングル配筋) |
| | フクギ 幹回り0.15m~0.3m程度 小中学校側より移設 (二脚鳥居支柱7基) |

| 樹形・種類 | 分類 | 計算 | 面積 |
|-------|--------------------------------------|-------------------|---------|
| 芝生 | - | 13.32+33.84+39.37 | 86.53㎡ |
| その他 | 高木 | フクギ: 20㎡×4本 | 80.00㎡ |
| 計 | | | 166.53㎡ |
| 緑化率 | 166.53÷746.01×100=22.3% よって22.3%>20% | | |

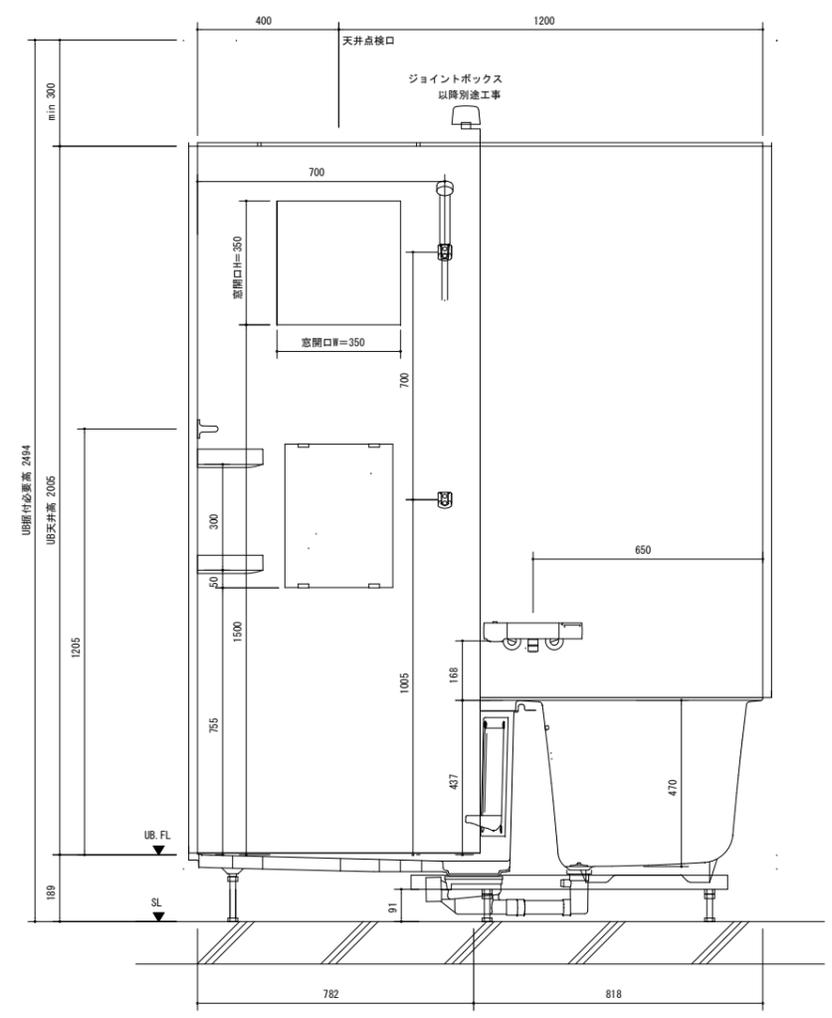
| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 外構図 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/100 (A1) 1/200 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-35 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大格登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 仮設計画図 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | 1/150 (A1) 1/300 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-36 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 設計者 | 名称 | 有限責任 建築設計同人 匠才庵 |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大倉登輝第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

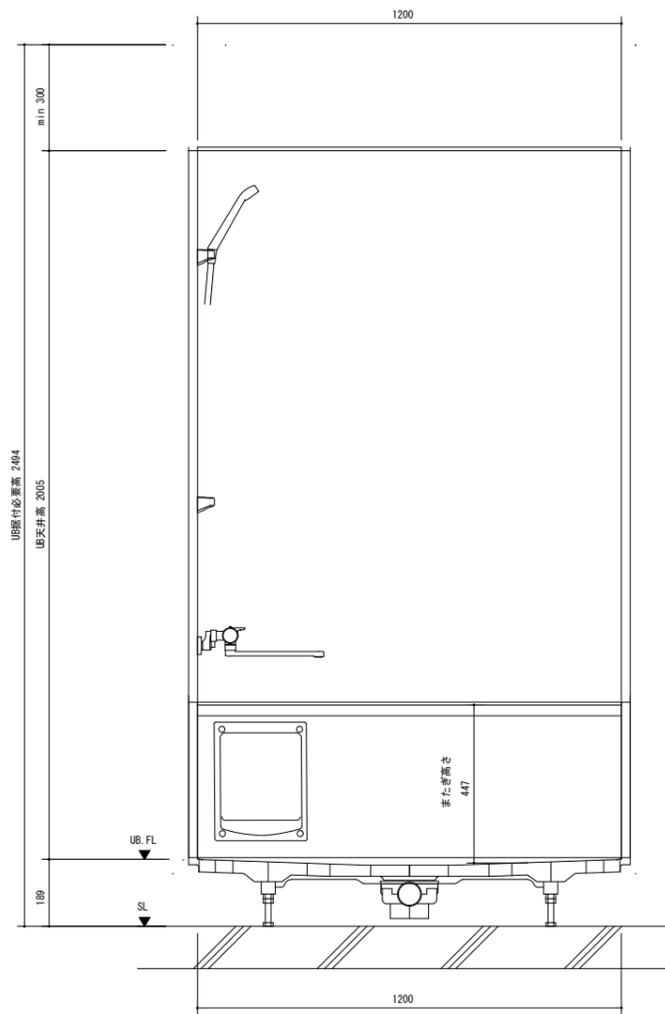


※UB据付必要寸法はドア部の寸法を含みません。ドア部の寸法は詳細図のドア取合をご確認ください。

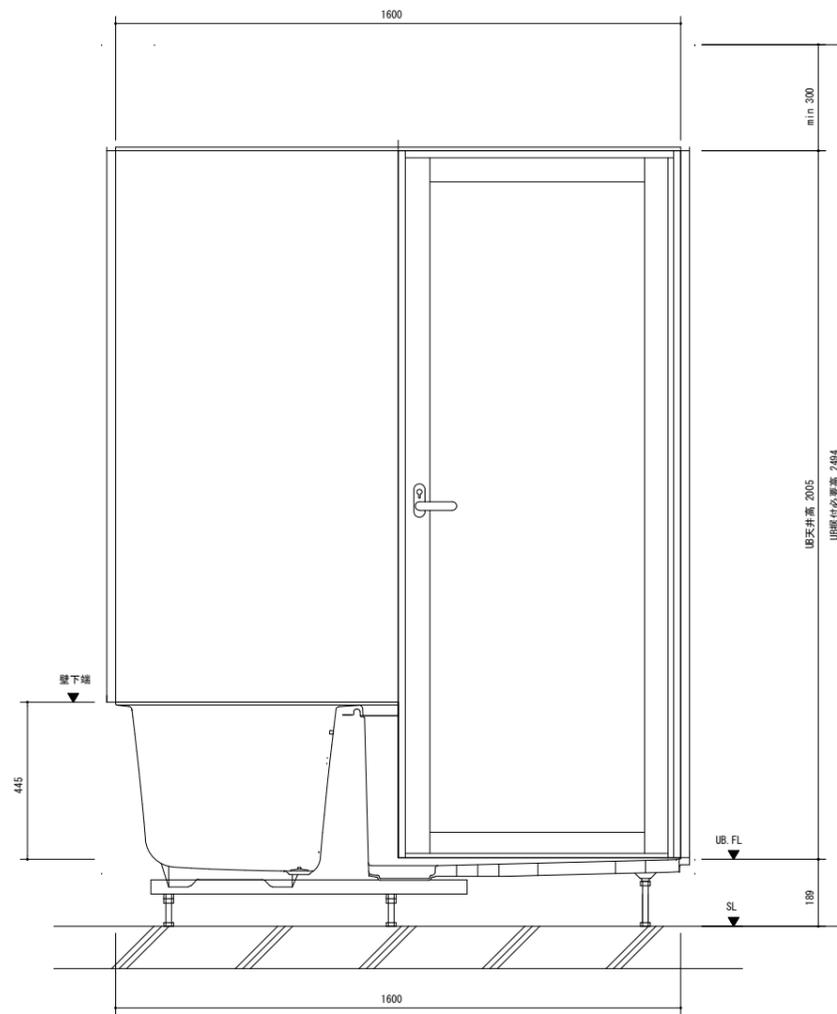


| 部位/項目 | 仕様 (寸法単位: mm) | 備考 (色柄・品番等) | 部位/項目 | 仕様 (寸法単位: mm) | 備考 (色柄・品番等) |
|---------|---|---------------------------------------|-------|--------------------------|-------------------------|
| 据付必要寸法 | 1310D×1680W×2494H | | 鏡 | 防湿型化粧鏡 306W×408H | KGM-3040 |
| 内寸法 | 1200D×1600W×2005H | | 収納 | コーナー棚<ホワイト>2段 樹脂製 | NT-180A/W91 |
| 床 | FRP 模様付 | N86 | トラップ | ABS樹脂製 耐水50mm | |
| 壁 | LPパネル(ベーシッククラス) | LE301 | 給水管 | Rc1/2 めねじ止 | |
| 天井 | 化粧鋼板複合パネル | UE103 | 給湯管 | Rc1/2 めねじ止 | |
| ドア | 開き戸: アルミアルマイト処理 (キレイドア) 面材: 型板調樹脂板 | UDY-8002006UL (33)/W-1 | 雑排水管 | 塩ビ管 VP50 | |
| 浴槽 | FRP (浴槽内寸法 1117W×580D×470H) ゴム排水栓 | N86 | 窓 | フリーサイズ窓枠縁キット 窓開口補強セット | R-1010P-24/W WR-121S |
| 水栓金具 | 兼用: 壁付サーモ水栓 (クロマーレス) シャワー: エコフルシャワー (ホワイト) | BF-KA145TX (250)-F12PU BF-SD6BP-PU | | | |
| シャワーフック | 樹脂製<ホワイト> 2個 | BF-30C-PU | | | |
| 照明 | スリム照明 (防湿型) LEDランプ 1灯 | LDA-C1-2A | | | |
| タオル掛 | アルミバイン L400 ブラケット: 樹脂製 | TB-400E-K | | | |

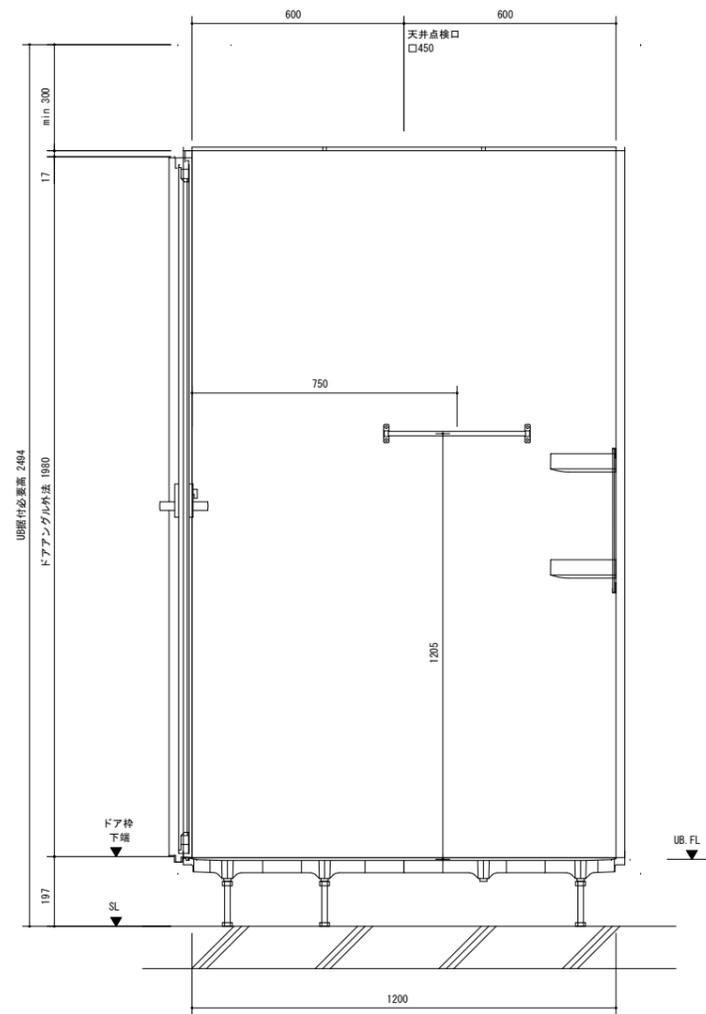
| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | ユニットバス参考図1 A1・1/10 |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | A3・1/20 |
| 摘要 | | 図面番号 | A-37 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2095号 一級建築士大格登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |



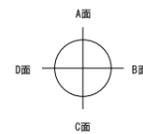
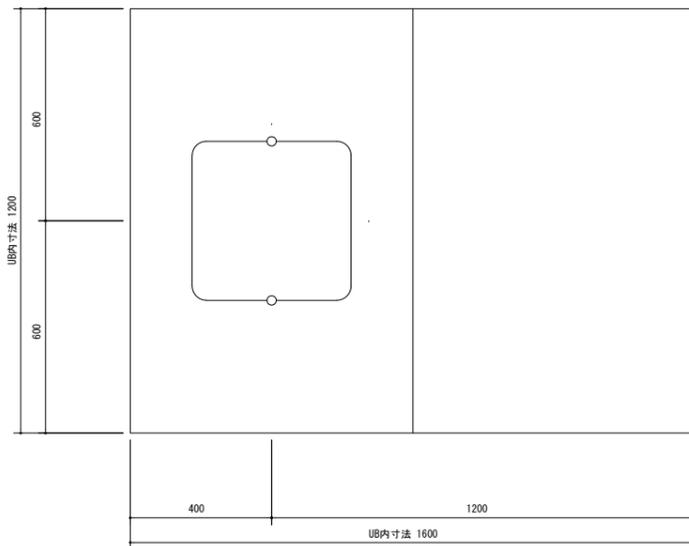
-B-



-C-



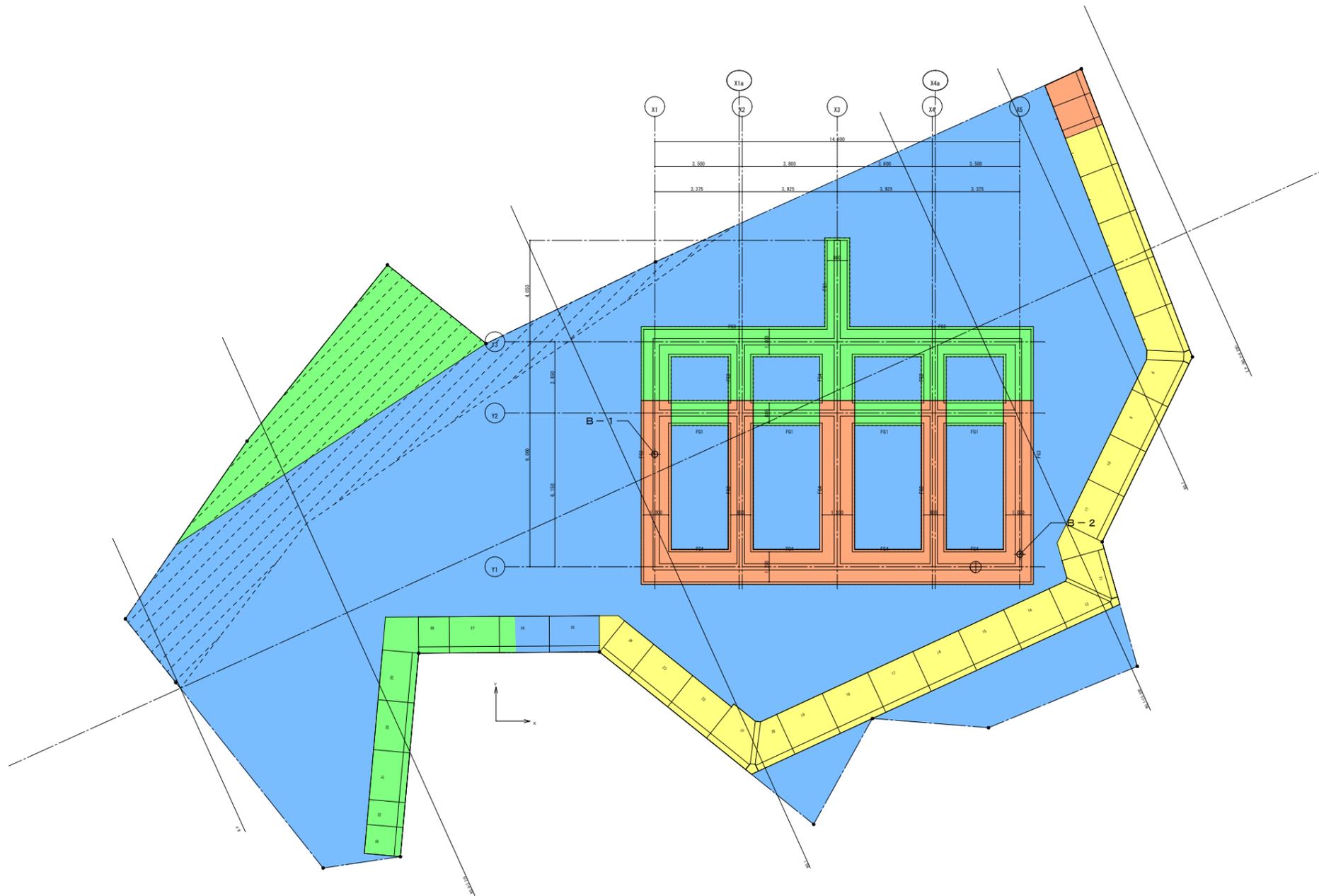
-D-



| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 粟国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 粟国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | ユニットバス参考図2 A1・1/10 |
| 発注機関 | 粟国村教育委員会 | 縮尺 | A3・1/20 |
| 摘要 | | 図面番号 | A-38 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | 株式会社 鹿嶋 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (30番) 登録第124-2094号 一級建築士大格登録第263241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

磁気探査平面図

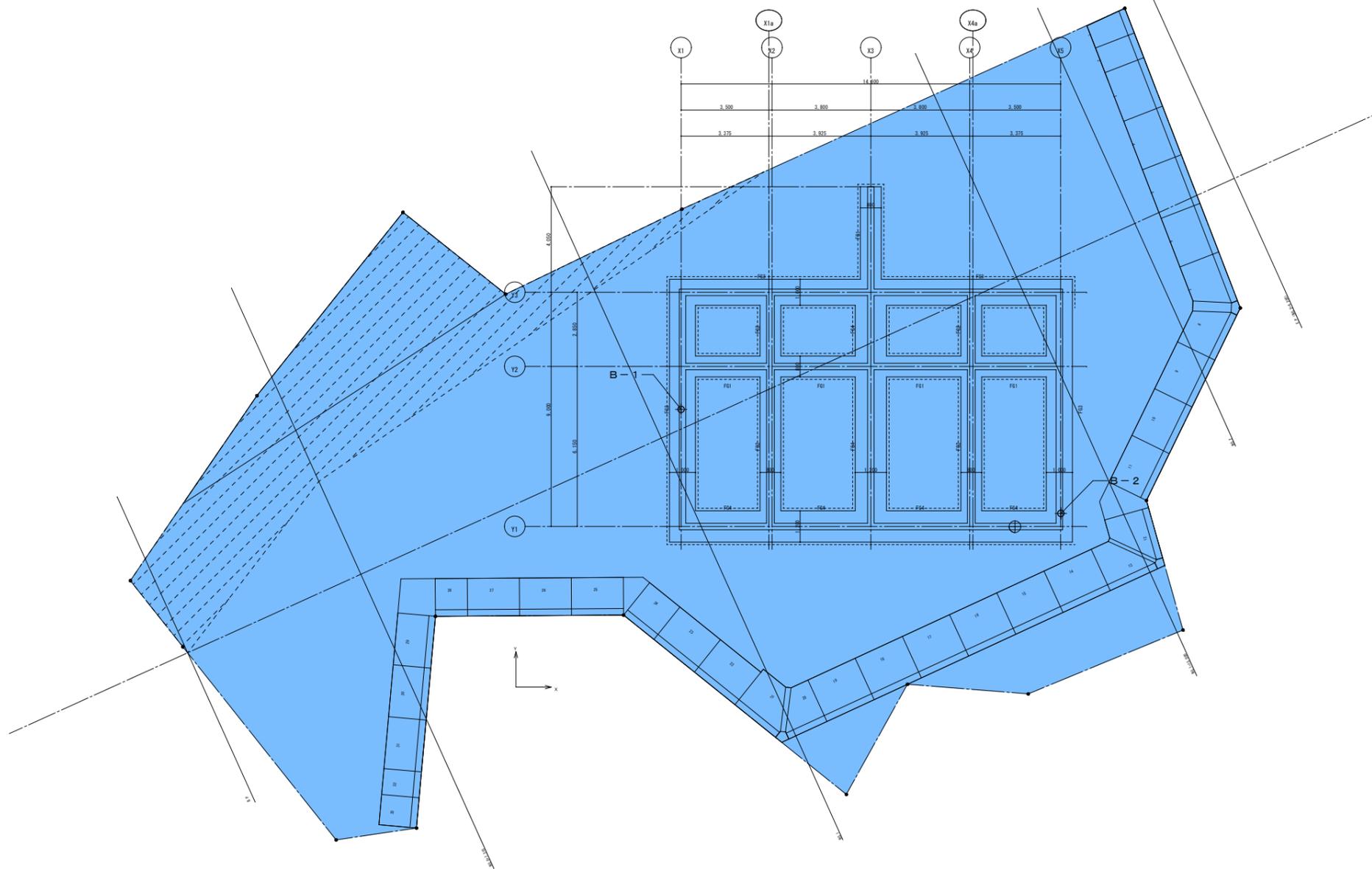
A1 : S=1/100



| 箇所 | 項目 | 面積 (m ²) |
|-----------|-------------|----------------------|
| 敷地全面 | 表層 | 746.285 |
| | 1層目 (-0.5m) | 98.928 |
| 躯体 | 2層目 (-1.0m) | 56.487 |
| | 3層目 (-1.5m) | 56.487 |
| | 切土 | 37.055 |
| 擁壁 | 1層目 (-0.5m) | 92.390 |
| | 2層目 (-1.0m) | 74.876 |
| | 3層目 (-1.5m) | 3.707 |
| 合計 | | 1166.215 |
| 合計 (端数処理) | | 1166 |

| | | | |
|------|------------------------|---|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 1/100 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 磁気探査平面図 1/200 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-41 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | ㈱ 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (国事) 登録第124-2095号 一級建築士大臣登録第363241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

表層探查平面図
A1 : S=1/100

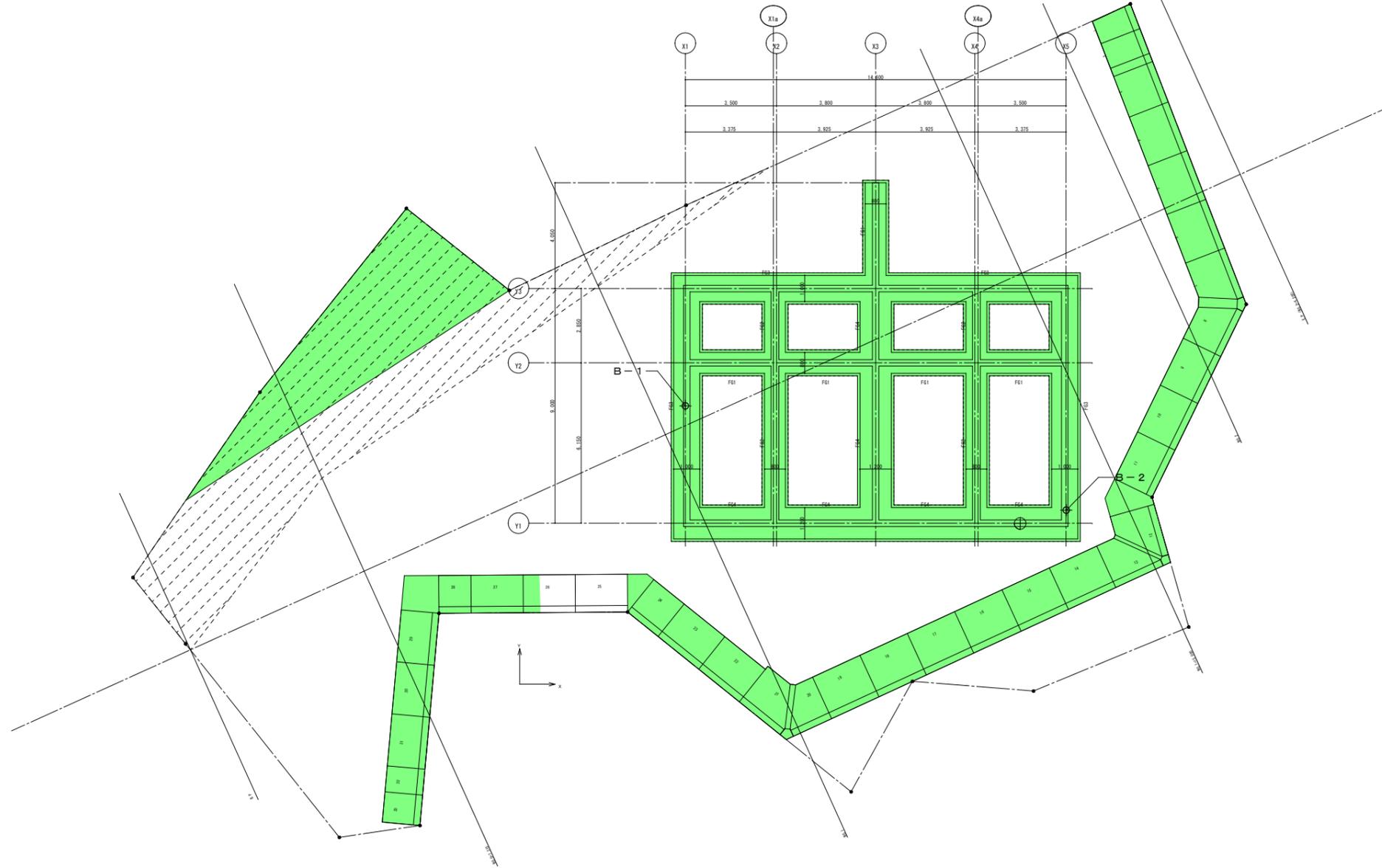


磁気探査面積

| 箇所 | 項目 | 面積 (m2) |
|-----------|-------------|-------------|
| 敷地全面 | 表層 | 746.285 |
| | 1層目 (-0.5m) | 98.928 |
| 躯体 | 2層目 (-1.0m) | 56.487 |
| | 3層目 (-1.5m) | 56.487 |
| | 切土 | 1層目 (-0.5m) |
| 擁壁 | 1層目 (-0.5m) | 92.390 |
| | 2層目 (-1.0m) | 74.876 |
| | 3層目 (-1.5m) | 3.707 |
| 合計 | | 1166.215 |
| 合計 (端数処理) | | 1166 |

| | | | |
|------|------------------------|---|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 1/100 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | 表層探查平面図 1/200 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-42 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | ㈱ 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (国事) 登録第128-2095号 一級建築士大臣登録第363241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

経層探査平面図
1層目 A1 : S=1/100

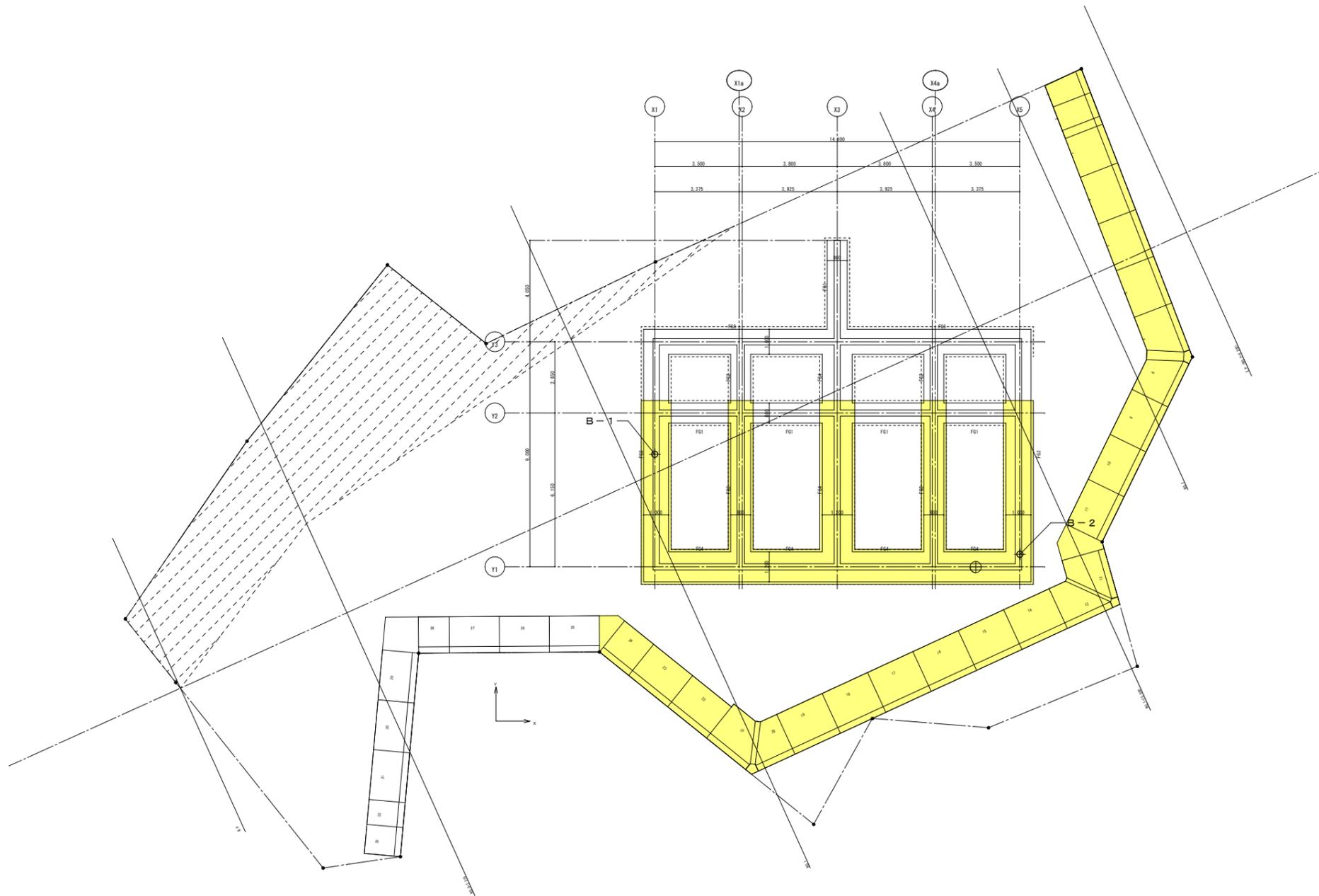


磁気探査面積

| 箇所 | 項目 | 面積 (m2) |
|-----------|-------------|----------|
| 敷地全面 | 表層 | 746.285 |
| | 1層目 (-0.5m) | 98.928 |
| 躯体 | 2層目 (-1.0m) | 56.487 |
| | 3層目 (-1.5m) | 56.487 |
| | 切土 | 37.055 |
| 擁壁 | 1層目 (-0.5m) | 92.390 |
| | 2層目 (-1.0m) | 74.876 |
| | 3層目 (-1.5m) | 3.707 |
| 合計 | | 1166.215 |
| 合計 (端数処理) | | 1166 |

| | | | |
|------|------------------------|---|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 経層探査平面図 1/100 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | (1層目) 1/200 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-43 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | ㈱ 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (国事) 登録第128-2095号 一級建築士大臣登録第363241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

経層探査平面図
2層目 A1 : S=1/100

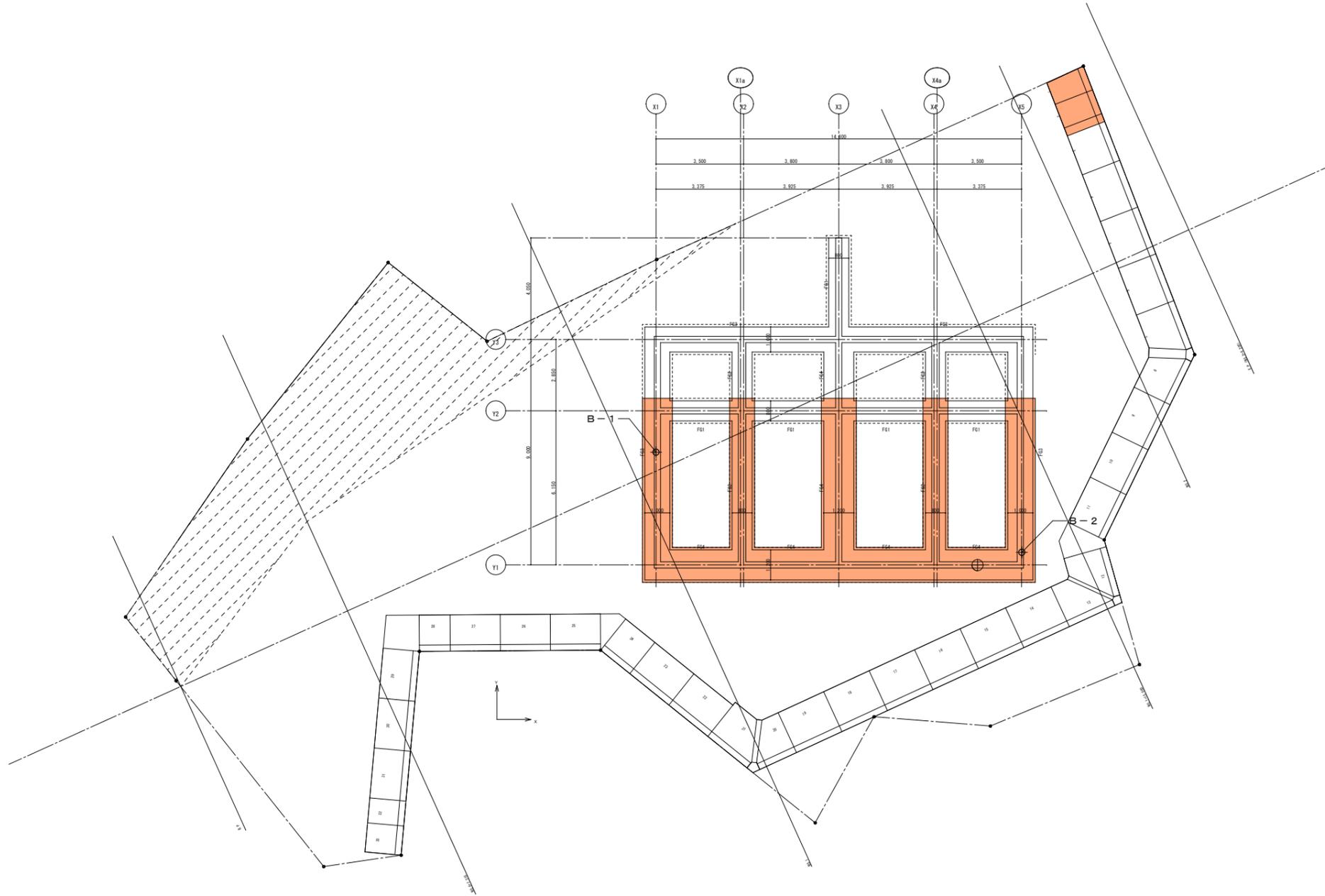


磁気探査面積

| 箇所 | 項目 | 面積 (m2) |
|------|-------------|----------|
| 敷地全面 | 表層 | 746.285 |
| | 1層目 (-0.5m) | 98.928 |
| | 2層目 (-1.0m) | 56.487 |
| 躯体 | 3層目 (-1.5m) | 56.487 |
| | 1層目 (-0.5m) | 37.055 |
| | 2層目 (-1.0m) | 74.876 |
| 擁壁 | 3層目 (-1.5m) | 3.707 |
| | 合計 | 1166.215 |
| | 合計 (端数処理) | 1166 |

| | | | |
|------|------------------------|--|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 経層探査平面図 1/100 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | (2層目) 1/200 (A3) |
| 摘要 | 図面番号 A-44 | | |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | ㈱ 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (国) 登録第124-2095号 一級建築士大臣登録第363241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |

経層探査平面図
3層目 A1 : S=1/100



| 箇所 | 項目 | 面積 (m ²) |
|------|-------------|----------------------|
| 敷地全面 | 表層 | 746.285 |
| | 1層目 (-0.5m) | 98.928 |
| | 2層目 (-1.0m) | 56.487 |
| 躯体 | 3層目 (-1.5m) | 56.487 |
| | 1層目 (-0.5m) | 37.055 |
| | 2層目 (-1.0m) | 74.876 |
| 擁壁 | 3層目 (-1.5m) | 3.707 |
| | 合計 | 1166.215 |
| | 合計 (端数処理) | 1166 |

| | | | |
|------|------------------------|---|--------------------|
| 工事名称 | (仮称) 栗国村教員住宅新築工事 (南棟B) | 工事年度 | 令和 7・8年度 |
| 工事場所 | 栗国村字東527番地 (外1筆) | 図面名称 | 経層探査平面図 1/100 (A1) |
| 発注機関 | 栗国村教育委員会 | 縮尺 | (3層目) 1/200 (A3) |
| 摘要 | | 図面番号 | A-45 |
| 検印 | 管理建築士 | 設計 | 製図 |
| | 名称 | ㈱ 建築設計同人 匠才庵 | |
| | 資格者氏名 | 落合 隆文 | |
| | 登録番号 | 一級建築士事務所 (国庫) 登録第124-2005号 一級建築士大臣登録第363241号 | |
| 所在地 | 沖縄県沖縄市山内3-23-15 | | |